

第七十三回帝國議會
衆議院

重要礦物増産法案外一件委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
石油資源開發法案(政府提出)

會議

昭和十三年三月八日(火曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 森田 福市君

理事寺島 權藏君 理事長野 長廣君

理事中田 儀直君

山田 清君

栗山 博君

松尾 三藏君

森下 國雄君

松山常次郎君

板谷 順助君

金澤 正雄君

朴 春 琴君

川俣 清音君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

商工大臣 吉野 信次君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省爲替局長 中村孝次郎君

專賣局長官 荒井誠一郎君

陸軍少將 町尻 量基君

海軍參與官 岸田 正記君

商工政務次官 木暮武太夫君

商工參與官 佐藤謙之輔君

商工省鑛山局長 小金 義照君

燃料局長官 竹内 可吉君

鐵道省運輸局長 山田新十郎君

臺灣總督府總務長官 森岡 二郎君

厚生政務次官 工藤 鐵男君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍砲兵中佐 中西 貞喜君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

石油資源開發法案(政府提出)

○森田委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、ソ

レデハ山田君

○山田(順)委員 昨日私カラ質問ヲ申上デ

マシテ、之ニ對シ政府ヨリ懇切ナル御説明

ガアリマシタノデ、大要ハ諒承ヲ致シマシ

タ、ソコデ私達ハ、先日來ノ質疑應答ノ中

ニ於キマシテ、ドウモ現在ノ情勢カラ考ヘ

マシテ、勿論將來ニ於キマスル所ノ燃料政

策ニ對シマシテハ相當ノ計畫モ、方針モ立

テ、進ンデ居ラレカラ、將來ニ對シマシ

テハ、或ル程度ノ緩和ガ出來ヨウト思ヒマ

スケレドモ、唯目下ノ場合ドウシテモ長期

抗戰ニ處スル上ニ於キマシテ、國民トシテ

納得ノ行ケルヤウナ燃料對策ヲ講ジテ貫ヒ

タイ、ソレニ付テハ人造石油ヲ昭和十八年

迄ニ各百万卦ヲ精製スルヤウニナッテ居リ

マスガ、是ダケノ長イ年月デ昭和十八年迄

ニソレヲ完成スルト云フコトヨリモ、茲ニ

一段ノ努力ヲシテ、ソシテ三箇年位ニ縮メ

テ之ヲ完成スル、一體最初ノ計畫ヲ變ヘテ

三箇年位ニ縮メテ、成ベク早く其事業ノ遂

行ニ當リタイト、斯ウ考ヘテ居ルノデスガ、

其點ニ付キマシテハドウ云フ風ニ御考ニ

ナッテ居リマスカ

○竹内政府委員 御尤ノ御意見ダト思ヒマ

ス、唯、實際ノ問題ト致シマシテ、人造石油

ノ計畫ニハ原料ノ關係或ハ機械設備ノ關係

技術者ノ關係ト云フヤウニ實際上ノ問題ガ

アリマシテ、極メテ短期間ニ一ツノ數量ヲ

生産シ得ルヤウニ致シマスコトハ、事實非

常ニ困難ナコトデハナイカト、斯様ニ考ヘ

テ居リマス、併ナガラ昨年立テマシタ計畫、

是ハ七年計畫デアリマスガ、之ニ對シマシ

テハ今日ノ情勢ノ變化ニ應ジマシテ、モウ少

シ期間ヲ短縮致シタイト云フ考デ、只今色々

研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、今後ノ情

勢ノ變化ニ依リマシテ、斯様ナ計畫ノ變更

ト云フコトヲ、是非ヤラナケレバナラスノ

デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山田(順)委員 ソコデ政府當局ハ計畫ノ

變更ヲシテ、成ベク短期間ニ之ヲ實現シタ

イト云フヤウナ只今ノ御答辯デゴザイマス

ルガ、元來今日ノ國內ニ於テ消費スル燃料

石油ト云フモノノ大凡ソノ數量ト云フモノ

ハ、モウ長イ間分ッテ居ルノデアル、サウシ

テ今更調査スル必要モナシ、大體輸入スル

ノハ一體ドノ位、揮發油ハ一體輸入スル量

ハドノ位、原油デ輸入スルノハドレダケ、

精製シタモノヲ輸入スルノハドレダケ、サ

ウ云フヤウナコトハ大體ガ適確ナル數字ト

云フモノガ、達觀的ニハ是ハモウ四五年ズッ

ト統計ガ出テ居ルシ、能ク分ッテ居ル、デス

カラサウ云フヤウナ點ニ付キマシテハ、少

クトモ政府ノ諸君ハ、例ヘバ燃料石油ト致

シマシテハ、一年間四億五千万「ガロン」位

兎ニ角消費スル、其中國產ハ今日ニナッテ段

段増産シテ來テ、約三割ニナッタト云フヤ

ウナコトデ、「ガソリン」ハ大凡ソ三億五千

万「ガロン」其中心割シカ國產ハ出來ナイ、

斯ウ云フヤウナコトハ分リ切ッタコトデア

ルシ、サウシテ又大體ガ國際情勢ノ上カラ考ヘテモ、大凡ソドウ云フ風ダト云フコトハ分ッテ居ルノデアル、モウ少シ議論的ノ計畫デナク、實際的ノ、兎ニ角掘ッテ出サナケレバナライ量ヲ、多クシナケレバナライナイト云フコトト、大藏大臣カラ屢、言ハレテ居ル通り、國際收支ノ關係ト云フコトデアルカラ、モウ少シ政府ガ眞劍味ヲ以テ、徹底的ニ一ツ規則ト云フヤウナコトニ餘リ拘泥セズシテ、實際問題トシテ力ヲ入レテヤルト云フヤウナコトニ付テ、モット急速ニ總テノコトヲヤルト云フコトガ、私ハ宜イデハナイカト思フノデス、ドウモ商工省其他官廳デヤルコトガ手溫イヤウナ形デアル、ソレデ私共ハ現在亞米利加ガ中立法ヲ布イテ居ル譯デハナシ、輸出ハドン／＼スルコトガ出來ルシ、日本デモ輸入スルコトガ出來ル、サウ云フヤウナ關係モアルシ、ソレカラ今カラ三四年前ニハ燃料石油モ非常ニ安カッタ「ガソリン」等モ非常ニ安カッタ「ガソリン」僅ニ二三錢デ輸入シテ時代モアル、サウ云フヤウナ時ニ將來ニ備ヘル爲ニ、少クトモ三年、四年、軍自身モ之ヲ將來ノコトヲ考ヘテ、貯油シテ置カクテハナラナイ、私達ハ實ハサウ考ヘテ居ッタ、偶、今度ア、云フヤウナコトカラ三割程度ノ強制貯

藏ト云フコトニナッタ、サウ云フヤウナコトハ、是ハ少クトモ政府ガ昨日説明セラレマシタ通り、アノ程度ノ消費節約ヲ世界ニ發表シテモ、大シテ國際情勢ノ上カラ見テ支障ナク、又日本ノ内地ノ産業ノ上ニモ左シタル損害ハナイデアラウ、惡影響ヲ及ボサナイデアラウト云フヤウナ意味合ノコトヲ、言ハレテ居リマススケレドモ、私達素人カラ考ヘマスルト、ア、云フヤウナコトヲ發表スルト云フコトハ、如何ニモ日本ガ燃料ニ對シテハ非常ニ窮迫ヲ告ゲテ困ッテ居ルト云フコトヲ、是ハ自ラガ世界ニ發表スルヤウナモノデアル、是ハ國家ノ非常ナ弱點デハナイカト考ヘル、出來得ルナラバア、云フヤウナコトハ、ナアニ燃料ハ澤山アル、ドン／＼使ヘト云フヤウナコトデ行クコトガ、日本ノ國力ヲ海外ニ現ハス上ニ於テモ、長期應戰ヲスル上ニ於テモ、一番安全性ガアリ、世界ニ對シテ示ス態度トシテ一番有效デハナイカ、人造石油ヲ造ッテ、人造石油デヤルノダト云フヤウナ氣持、氣魄ヲ見セナクテハナラヌト思フノデアリマスガ、サウ云フヤウナ點ニ付テ政府ノ考ヘ方ト、私達素人ノ考ヘ方ト違フノデスケレドモ、一體其點ハ本當ニ商工省トシテ色々ニ計畫ヲ立テ、ソレハ大藏省トノ關係ハドウカ知

ラスケレドモ、其點ハ一體商工省デハ斯ウ云フ計畫ヲ持ッテ居ルノダ、ケレドモ大藏省ノ方デドウシテモ財政上ノ關係デ旨ク行カヌ、其點ヲ一ツ、私達ハ氣持トシテハドウシテモ、モウ少シヤッテ行カナケレバナライナイト考ヘテ居ル、其コダハリガアルナラバ、ソレヲ一ツハツキリ言ウテ貰ヒタイト思フ

○竹内政府委員 只今御述ベニナリマシタコトハ、大體ニ於テ御同感デアリマス、唯政府ノ部内ニ於テ意見ガ十分一致シナイ、例ヘバ或ルコダハリデモアルノデハナイカト云フノデアリマシタガ、サウ云フコトハナイト思フノデアリマス、液體燃料ノ問題ニ付キマシテハ、各省十分緊密ニ連絡ヲ執テ居リマシテ、必要ナモノニ對スル支出、輸入ト云フコトニ於キマシテハ、大藏省ニ於キマシテモ之ヲ決シテ阻止シテ居ル譯デナイト思フノデアリマス、唯過日モ申上ゲマシタ通り、今回ノ消費節約ハ如何ニモ産業上、社會生活上ニモ、從來ト違ッタクトラヤルノデアリマスカラ、不自由ヲ掛ケルノデアリマス、ソレデ其影響ハ之ヲ緩和シナケレバナラヌト色々努メテ居リマスガ、兎モ角モ斯ウ云フ事變ニ際シマシテハ、此程度ノ節約ハ事實已ムヲ得ナイコトと思フ

ノデアリマス、大體御述ニナリマシタコトハ、液體燃料ノ問題ニ付テ、政府ハ眞劍ニ大イニ努力シテヤラナケレバナラヌデハナイカト云フコトダッタト思フノデアリマシタガ、全然其意味ニ於キマシテハ御同感デアルト云フコトヲ、御答シテ置キマス

○山田(順)委員 陸軍ノ方ガ御出席ニナリマシタカラ、一應御質問申上ゲタイト思ヒマス、併シ或ハ軍ノ作戰用兵、其他ノ點カラ機密ニ屬スルト云フコトデアリマスナラバ、ソレハ強ヒテ御答辯ヲ要求シマセヌガ、併シモウ既ニ新聞ニモ出テ居ルノデアリマスカラ、此點ハ國內デ祕密ニシテモ外國ニハ既ニ發表ニナッテ居ルコトト存ズルノデアリマス、ソレデ私ハ昨日モ一寸質問致シタノデスケレドモ、私達素人トシテ新聞紙上其他雜誌、或ハ多クノ人達ノ話ヲ聞イテ居リマス、モウ既ニ滿洲事變ガ勃發致シマシテ、爾來滿洲國ハ獨立シテ、其後「ソ」聯邦トノ關係ガ段々逼迫シテ來タト云フコトハ、是ハ新聞紙上デ承ッテ居リマスシ、又サウ云フヤウナ可ナリ逼迫シタ狀態ニアッタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、ソコデ此燃料問題ニ付キマシテ、陸軍當局トシテハ、一體若シ「ソ」聯邦ト戰爭ヲシタ場合ニ於テハ、燃料ノ上ニ對シマシテ、相當ナル大量ヲ要ス

ルノデハナイカ、又若シ長キ戦争ニナルトシタナラバ、ソレニ對スル所ノ準備ヲシナケレバナラス、又準備ヲスルトシタナラバ、相當ノ貯油ヲシナケレバナラス、貯油ヲスル上ニ於テハ、一面石油資源ノ開發デ、自給ヲモ計畫シナケレバナラスト云フコトハ、モウ既ニ今カラ數年前ニ、大體常識判斷カラ言ツテモ分ッテ居ナケレバナラス、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、少クトモ軍ガ將來國際情勢カラ見テ、「ソビエト」ヲ對象トシテ色々作戰用兵、軍機ノ方面ニ改良發達ヲサセルヤウナ意味合ニ於テ、相當ニ努力サレテ居ルコトハ存ズルノデアリマスガ、其點カラ考ヘマス、今度要スルニ燃料石油竝ニ揮發油ヲ費消スル各種ノ民間ノ業者ニ向ッテ、三割程度ノ消費ノ節約ヲ強要シヨウト云フコトニナツタト云フコトガ、ソコニ軍ノ立場カラ見マス、サウ云フ點ニ對シマシテハ、少クトモ軍トシテ常ニ用意シテアラネバナライト云フ立前カラ申シマシテ、今度ノ五月一日カラ一般ニ消費節約ヲ強要スルト云フコトハ、洵ニ國際ノ上カラ考ヘマシテ、面白クナイコトト私達ハ考ヘマスシ、又一般國民ト致シマシテ、甚ダドウモ不用意ナコトデハナイカト云フ風ニ、私達ハ想像スルノデアリマス、此點ハヤハリ素

人ノ者カラ考ヘマス、吾々ノ意見ト同ジモノガ多クアルデハナイカ、斯ウ云フ風ニ想像シテ居リマスガ、其點ハ軍當局トシテ、ドウ云フ風ニ考ヘテ居ラレマスカ

ヤウニ、萬全ノ準備ヲ整ヘル必要ガアルト考ヘマシタノデ甚ダ殘念デハアリマスガ、燃料ノ消費節約ニ同意ヲ致シマシタ次第デゴザイマス

云フモノハ、今日マデ七年間兎ニ角相當ノ努力ヲ拂ッテ居ラレルノデゴザイマスガ、其成績ニ付キマシテハ、一體ドウ云フ風ナ状態ニナツテ居リマスルカ、此點ヲ承リタイ

○中西陸軍砲兵中佐 軍ノ機械化、航空兵力ノ増大等ニ伴ヒマシテ、陸軍ノ作戰遂行ノ爲ニ、必要ナ燃料ノ需要額ト云フモノハ、非常ナ莫大ナ數ニ上ルコトニナツテ參リマシタノデ、陸軍ノ燃料政策ニ對シマス關心ノ程度ト云フモノハ、海軍ニ比シテ毫モ少シテ居ナイト云フコトヲ、先ヅ申上ゲテ置キマス、ソレカラ燃料政策ノ重要性ニ付キマシテハ、縷々御述ニナリマシタ通りデアリマシテ、吾々モ昭和八年以來關係各廳ト協力ヲ致シマシテ、研究ニ研究ヲ重ネマシタ結果、曩ニ政府ニ於テ樹立セラレマシタ劃期的ノ燃料政策ト云フモノガ、生レタノデアリマス、ソレカラ先程申サレマシタ燃料ノ消費節約ヲ此際ヤルト云フコトハ、産業ノ見地カラ言ッテモ、又國際的ニ考ヘテモ、遺憾デハナイカト云フ點ハ、全ク御同感デアリマス、甚ダ遺憾デハアリマスガ、國際收支ノ均衡ヲ保チナガラ、長期戰ニ備ヘル有ユル準備ヲ致ス爲ニハ、不要又ハ不急ノモノニ付キマシテハ、出來得ル限り節約ヲシテ、重要ナモノニ對シテハ萬違算ノナイ

○山田(順)委員 今ノ御答辯ニ依リマシテ、諒承致シマシタ、ソレデ尙ホ一點御同致シタイト思ヒマスガ、恐ラク昭和六年ト記憶ヲシテ居リマスケレドモ、撫順ノ炭坑ニ對シテ約一千三百五十萬圓ノ資金ヲ投ジテ、所謂「オイルセール」精製ノ設備ヲシテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、昭和六年カラ今日マデ可ナリノ研究努力ヲサレテ、恐ラク石炭竝ニ亞炭ヲ低溫乾溜デヤルノデハナイカト想像シテ居ッタノデアリマスガ、ソレニ對シテハ軍モ相當ノ努力ト關心ヲ以テ、是ノ製造竝ニ研究ニ關係シテ居ッタノデハナイカト想像シテ居ッタノデゴザイマス、此點カラ考ヘマシテ私共ハ所謂揮發油ノ精製ノ原料ト、竝ニ其製造工程ニ於テ、ドウシテモ「ガロン」六十四五錢ハ掛カルノダ、其「コスト」マデ、所謂外國カラ輸入スル所ノ揮發油ヲ、其値段マデ引上ゲルト云フコトガ、即チ國產ヲ獎勵スル意味ニ於テ、國產燃料ヲ得ル上ニ於テ一番都合デアル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、此一千三百五十萬圓ノ資金ヲ投ジタ所ノアノ設備ト

○山田(順)委員 ソコデモウ一點商工當局ニ御聽キ申シタイガ、サウシマスルト、現在ノ計畫ハ除イテ、例ヘバ人造石油製造ニ付テハ、七箇年計畫デヤツテ居ル、併シマダ其緒ニ就イテ居ナイ、サウ致シマス所謂長期抗戰ヲ目標トシテ、陸軍當局ハドレダケノ長期抗戰ヲ目指スノカ、其年月ノ點ニ於テ私共ニハ想像モ付キマセスガ、サウスルト現在國內ノ人造石油ト申シマセウカ、揮發油竝ニ燃料石油ト云フモノノ製造ノ率、製造ノ能力ト云フモノガ大體ドレ位アリ、サウシテ現在海外カラ輸入シテ居ル所ノ量ト云フモノハ大體分ッテ居ル、其海外カラ輸入サレ

○山田(順)委員 今ノ御答辯ニ依リマシテ、諒承致シマシタ、ソレデ尙ホ一點御同致シタイト思ヒマスガ、恐ラク昭和六年ト記憶ヲシテ居リマスケレドモ、撫順ノ炭坑ニ對シテ約一千三百五十萬圓ノ資金ヲ投ジテ、所謂「オイルセール」精製ノ設備ヲシテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、昭和六年カラ今日マデ可ナリノ研究努力ヲサレテ、恐ラク石炭竝ニ亞炭ヲ低溫乾溜デヤルノデハナイカト想像シテ居ッタノデアリマスガ、ソレニ對シテハ軍モ相當ノ努力ト關心ヲ以テ、是ノ製造竝ニ研究ニ關係シテ居ッタノデハナイカト想像シテ居ッタノデゴザイマス、此點カラ考ヘマシテ私共ハ所謂揮發油ノ精製ノ原料ト、竝ニ其製造工程ニ於テ、ドウシテモ「ガロン」六十四五錢ハ掛カルノダ、其「コスト」マデ、所謂外國カラ輸入スル所ノ揮發油ヲ、其値段マデ引上ゲルト云フコトガ、即チ國產ヲ獎勵スル意味ニ於テ、國產燃料ヲ得ル上ニ於テ一番都合デアル、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ッタノデアリマスガ、此一千三百五十萬圓ノ資金ヲ投ジタ所ノアノ設備ト

テ來ル所ノ量ト云フモノニ對シテ、現在ノ所謂設備ニ於テ、其設備ヨリ出來上ル所ノ燃料石油竝ニ揮發油ニ依ツテ、ドレ位國際收支ノ支拂ノ上ニ圓滑ニ行クト云フコトガ出來ルノデスカ、是ハ細カイ數字ハ要リマセス、凡ソノ極ク達觀的デ宜シウゴザイマス

○竹内政府委員 石油ガドノ位入ッテ居ルカ、又ドノ位ヤレバ石油ノ調節ガ付クノカ、非常ニ大切ナ問題デアリマスルケレドモ、數字ヲ以テ御答ヲ申上ゲルコトハ、此際私共差控ヘタイト思フノデアリマス、唯要スルニ輸入ノ上ニ於キマシテモ、政府ニ於キマシテハ敢テ商工省ダケデハアリマセス、液體燃料ノ軍事上密接ナ關係ガアリ、非常ニ重要ナ資材デアアル點ニ鑑ミマシテ、他ノ品物等ト比較致シマシテ、輸入ノ上ニ於キマシテハ十分努力ヲ致シマシテ、出來ルダケ多量ニ入レ得ルヤウナ考ヘ方ヲ致シテ居ルト云フコトダケヲ、御答申上ゲタイト思ヒマス

○森田委員長 一寸御諮リ致シマスガ、陸軍ノ方ニ對スル御質問ヲスル方ハアリマセヌカ——山田君、マダデスカ

○山田(順)委員 私ハモウ一點デ打切りマス、ソレデ私ハ商工當局ニ、是ハ大藏省ノ關係モアリマセウケレドモ……、私共ハ勿

論國民ト致シマシテ、斯ウ云フ時局ニ際シテハ、身命ヲ賭シテ君命ニ御應ヘスルト云フ國民精神ノ發揚ニ對シマシテハ、人後ニ落チナイ氣持デゴザイマス、所デ私共ハ此度消費節約ヲ強要スルト其結果ニ於キマシテ唯一點憂ヘル點ハ、全國的ニ運輸事業ヲヤッテ居ル人達ハ、此度ノ事變ニ際シマシテモ、先ヅ應召家族ニ對シマシテハ、全部無料デ乗車ヲサセテ居ルコトト信ジテ居ルノデス、私共ノ縣ニ於キマシテハ、サウ云フヤウナ方針ヲ執ツテ、縣當局ト協調シテ、出來得ル限りノ努力ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ點カラ考ヘマスト云フト、最近ニ於キマスル「タイヤ」竝ニ部分品、其他附屬品ノ非常ナル暴騰ノ爲ニ、業者ソレ自體ガ既ニ非常ナ苦境ニ陥ッテ居ル、隨テ消費節約ヲ強要サレタ場合ニ於キマシテハ、恐ラク三割ダケハ營業哩數ヲ短縮シナケレバナラナイト云フヤウナ、實情ニ相成ルノデゴザイマスカラ、其實情カラ考ヘマスト云フト、各會社竝ニ個人ノ經營シテ居ル所ノ業者ニ於キマシテモ、收入ト云フモノハ餘程減ズルコトト思ヒマス、今日非常ナ犠牲ヲ拂ヒ、而モ非常ナ物價ノ暴騰ニ際シマシテ、收入ハ段々減ッテ來ルト云フコトニナリマスト、此點ハ少クトモ一死以テ君國ニ報ズ

ルト云フ、盡忠報國ノ誠ヲ致スト云フ此國民精神ノ上ニモ、或ル程度マデ關係ヲ及ボシテ來ルノデハナイカト、私達ハ轉、深憂ニ堪ヘナイノデアリマス、此點ヲ考察致シマスレバ、長期抗戰ト云ウテモ若シ比較的短時日ノ間ニ於テ、其戰果ヲ收メルコトガ出來ルナラバ、終局ヲ告ゲルコトガ出來ルナラバ率知ラズ、若シ今後長イ間ノ抗戰ト云フコトニナッテ參リマスレバ、恐ラク現在ノ三割ノ消費節約ヲ以テ足レリトシナイダラウト思フ、サウシマス、業者ト致シマスレバ可ナリ澤山ノ業者ガアリ、又之ニ關係シタ所ノ相當ノ家族モアルノデゴザイマスカラ、斯ウ云フ點ヲ少シ考ヘマシテ、今日物件稅ニ於テ、自動車稅程高イモノハ、全國各種ノ業態ニ就テ如何ニ研究シテモ、ナイノデアリマスカラ、此點ヲ少クトモ或ル程度マデ軍當局ハ勿論、又商工當局モ勿論、大藏當局モ、所謂地方自治體ト相當ナ接衝ヲ致シマシテ、此點ニ對シマシテ業者ニ對シマスル所ノ一ツノ方策ヲ立テテヤリマセスト、銃後ノ護リノ完璧ヲ期スル上ニ於キマシテ甚ダ遺憾ノ點ガ出ルノデハナイカト、私達ハ想像シテ居ルノデアリマス、一面ニ於テハ軍需工業ノ爲ニ「インフレ」デ可ナリノ「ボーナス」、或ハ可ナリノ工賃ヲ戴

イテ、不景氣ノ風ハ一體何處ヲ吹クノダト云フヤウナ一部ノ階級、一部ノ業者ガアリ、一部ニ於テハ此事變ノ爲ニ塗炭ノ苦シミヲシテ居ル者ガアルト云コトヲ併セ考ヘマスレバ、是ガ國民精神ニ及ボス影響、實ニ重大ナモノガアルノデハナイカト想像シテ居ルノデアリマス、此點ハ少クトモ皆サン方ニ於キマシテ、十分考慮サレテ行クト云フコトガ、目下ノ場合最モ緊要ノ事ト存ジテ居リマス、私ハ之ヲ要望致シマシテ、私ノ質問ヲ打切ルコトニ致シマス

○板谷委員 私豫算總會ニ行キマスカラ、差支ナカッタ簡單デスカラ、御許ヲ願ヒマス

○森田委員長 宜シウゴザイマス

○板谷委員 私ハ專賣局長官ニ、無水「アルコール」ノ點ニ付テ御伺致シタイト思フノデアリマス、先般商工大臣ハ我國ノ燃料ハ向フ五箇年間ニ、天然石油ト人造石油デ以テ需要ノ半分ヲ供給スル計畫ヲ立テ、居ルト云フ御話デアリマス、ソコデ無水「アルコール」ト云フコトガ、昨年來問題トナッテ居ルノデアリマスガ、現在ドノ程度マデ其仕事ガ進捗シテ居リマスカ、其經過ヲ承リタイト思ヒマス

○荒井政府委員 無水「アルコール」ノ製造

ノ狀況ニ付テ、御説明致シマス、御承知ノ通り、昭和十二年度ノ豫算ニ於キマシテ、無水「アルコール」ヲ製造致シマスル工場ヲ五箇所造ルコト、致シマシテ、二万石ノ工場デアリマスカラ、十萬石ノ能力ヲ有スル工場ヲ造ルコトニ相成リマス、只今九州ニ於キマシテハ熊本縣、鹿兒島縣、宮崎縣、ソレカラ關東ニ於キマシテハ茨城縣ト千葉縣、是等ノ各縣ニ一箇所ヅ、工場ヲ造ルコトニ致シマシテ、目下是ガ建設中デアリマス、時局ニ依リマシテ、資材ノ關係モアリマシテ、多少遅レテハ居リマスガ、出來ルダケ今月中ニモ工事ヲ完了シテ、作業ヲ始メタイト思ウテ居リマス、又遅レマシテモ來月再來月中ニハ、是非作業ヲ開始致シタイ、斯ウ云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ十三年度ニ於キマシテハ、御承知ノ通り、一般會計ノ豫算ニ於キマシテ、六箇所ノ工場ノ建設ト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、是モ各二萬石ノ能力ヲ有スル工場デゴザイマス、馬鈴薯ヲ原料トスルモノ一箇所、甘藷ヲ原料トスルモノ五箇所、之ヲ設置致シマス爲ニ、只今候補地等ニ付テモ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、其外ニ民間ノ工場ニ於キマシテモ、或ル程度之ヲ採ッテ、或ハ製造ヲ委託スルコトニ致シマシ

テ、全體ヲ合セテデゴザイマスガ、大體十八萬石ノ能力ヲ有スル工場ヲ許可致シテ居リマス、十三年度末ニ於キマシテハ、ソレダケノ工場ガ出來ル豫定ニナッテ居リマス、政府工場モ合セマシテ、現在ノ所デハ四十萬石程度ノ能力ヲ有スル工場ヲ建設スルト云フ計畫デ、進ンデ居ル次第デアリマス

○板谷委員 今御話ノ中ニ馬鈴薯ト云フコトガアッタノデスカ、無論北海道デセウガ、北海道ノ計畫ハ何處マデ進行シテ居リマスカ

○荒井政府委員 只今ノ御質問ハ「アルコール」ノ生産費ト云フコトニ承知致シマスガ「アルコール」ノ生産費ヲ決メマスコトハ、中々難シイノデアリマス、各農産物ノ騰貴ニ因リマシテ、原料モ段々騰貴シテ參リマシ、石炭ノ價格モ最近非常ナ騰貴ヲ致シテ居リマス、實際幾ラニ付キマスルカ、今日相當苦心ヲシテ、生産費ノ算定ニ努メテ居ルノデアリマスガ「ガソリン」ヨリモ三十錢近ク高イ生産費ニナルノデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○篠原委員 課稅ヲ包含シテ居ルノデスカ、現在ノ「ガソリン」ノ課稅ヲ包含シタモノニ對シテ、更ニ三十錢高クナルノデスカ

○荒井政府委員 左様デゴザイマス

○篠原委員 ソレハ前回御説明ノ豫定ト、ドレ位ノ開キヲ生ジマスカ

○荒井政府委員 此前ノ時ハ約六十何錢ト承知致シテ居リマスカラ、四割位高クナルコトニナリハセヌカト云フヤウニ記憶シテ居リマス

○森田委員長 陸軍ノ方ニ關聯シテ御質問ガアリマスレバ、御許致シマス

○野中委員 私ハ全體ヲ引括メテ順序ヲ整ヘテ質問ヲ致シマシテ、其間ニ於テ陸軍ノ方ニ御質問ヲ申上ゲヨウト思ヒマシタガ、

色々ノ關係カラ陸軍ノ方ノ出席ノ都合ニ依リマシテ、中途デ御質問申上ゲルノデ、或ハ順序不揃ヒニナル虞ハゴザイマスケレドモ、一寸御伺致シタイト思ヒマス、一ツハ日本ノ陸軍デ御用ヒニナッテ居リマスル國產自動車、竝ニ外國カラ輸入シタ自動車ノ成績ノ狀態デゴザイマス、更ニ進ミマシテ、國產自動車ノ中デモ大型自動車、小型自動車デゴザイマスガ、此大型自動車、小型自動車ヲ北支方面、或ハ南支方面デ御用ヒニナリマシタ成績ナドモ、御分リニナッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、ア、云フヤウナ通路デゴザイマスカラ、必ズ傷ミガアリ、破損ガアリマセウガ、其破損ノ工合ナドハ、ヤハリ陸軍ノ方デ御調ニナッテ居ルノデナイカト思ッテ居リマスカラ、一應其成績ナリ何ナリ御調ニナツタコトガアリマスレバ御聞キシタイ、是ガ第一點デゴザイマス、第二ハ、日本ノ石油政策ノ問題ニ關シテデアリマス、是ハ本會議ニ於テモ私質問ヲ致シタノデアリマスガ、マダ確然トシタル要領ヲ擱ムコトガ出來マセヌデシタ、此燃料國策ノ順序カラ、資源開發ヲスル此法律案ヲ提出ラシタ、是同ジヤウナ意味合ニ於テ——此資源開發ハ主トシテ國內ノ資源開發デアリマスガ、是カラ先ノ重要ナル問題トシテ

○荒井政府委員 馬鈴薯ヲ原料ト致シマス工場ハ北海道デゴザイマス、是ハ道廳ト能ク協議ヲ致シマシテ、是ガ設置等ニ付キマシテ、確定致シタイト云フコトニ致シテ居ル次第デアリマス

○板谷委員 其御計畫ハドレ位御採リニナル計畫デスカ、又何時頃迄ニ出來ル御見込デスカ

○荒井政府委員 ソレハヤハリ二萬石能力ノ工場デアリマス、十三年度中ニハ是非完

○板谷委員 私は是デ宜シウゴザイマス

○篠原委員 今ノ問題ニ一寸關聯シテ……幾ラ位ノ生産費ガ掛ルノデスカ、極ク「ラフ」デ宜シイカラ……

○荒井政府委員 只今ノ御質問ハ「アルコール」ノ生産費ト云フコトニ承知致シマスガ「アルコール」ノ生産費ヲ決メマスコトハ、中々難シイノデアリマス、各農産物ノ騰貴ニ因リマシテ、原料モ段々騰貴シテ參リマシ、石炭ノ價格モ最近非常ナ騰貴ヲ致シテ居リマス、實際幾ラニ付キマスルカ、今日相當苦心ヲシテ、生産費ノ算定ニ努メテ居ルノデアリマスガ「ガソリン」ヨリモ三十錢近ク高イ生産費ニナルノデハナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○篠原委員 課稅ヲ包含シテ居ルノデスカ、現在ノ「ガソリン」ノ課稅ヲ包含シタモノニ對シテ、更ニ三十錢高クナルノデスカ

○荒井政府委員 左様デゴザイマス

○篠原委員 ソレハ前回御説明ノ豫定ト、ドレ位ノ開キヲ生ジマスカ

○荒井政府委員 此前ノ時ハ約六十何錢ト承知致シテ居リマスカラ、四割位高クナルコトニナリハセヌカト云フヤウニ記憶シテ居リマス

○森田委員長 陸軍ノ方ニ關聯シテ御質問ガアリマスレバ、御許致シマス

○野中委員 私ハ全體ヲ引括メテ順序ヲ整ヘテ質問ヲ致シマシテ、其間ニ於テ陸軍ノ方ニ御質問ヲ申上ゲヨウト思ヒマシタガ、

色々ノ關係カラ陸軍ノ方ノ出席ノ都合ニ依リマシテ、中途デ御質問申上ゲルノデ、或ハ順序不揃ヒニナル虞ハゴザイマスケレドモ、一寸御伺致シタイト思ヒマス、一ツハ日本ノ陸軍デ御用ヒニナッテ居リマスル國產自動車、竝ニ外國カラ輸入シタ自動車ノ成績ノ狀態デゴザイマス、更ニ進ミマシテ、國產自動車ノ中デモ大型自動車、小型自動車デゴザイマスガ、此大型自動車、小型自動車ヲ北支方面、或ハ南支方面デ御用ヒニナリマシタ成績ナドモ、御分リニナッテ居ルノデハナイカト思ヒマス、ア、云フヤウナ通路デゴザイマスカラ、必ズ傷ミガアリ、破損ガアリマセウガ、其破損ノ工合ナドハ、ヤハリ陸軍ノ方デ御調ニナッテ居ルノデナイカト思ッテ居リマスカラ、一應其成績ナリ何ナリ御調ニナツタコトガアリマスレバ御聞キシタイ、是ガ第一點デゴザイマス、第二ハ、日本ノ石油政策ノ問題ニ關シテデアリマス、是ハ本會議ニ於テモ私質問ヲ致シタノデアリマスガ、マダ確然トシタル要領ヲ擱ムコトガ出來マセヌデシタ、此燃料國策ノ順序カラ、資源開發ヲスル此法律案ヲ提出ラシタ、是同ジヤウナ意味合ニ於テ——此資源開發ハ主トシテ國內ノ資源開發デアリマスガ、是カラ先ノ重要ナル問題トシテ

ハ、國外ニ於ケル資源開發ヲスルト云フコトガ、最モ日本ノ國策ニ取ツテ爲スベキ事デハナイカト思ッテ居ル、而シテ滿洲方面ニ於キマシテモ、滿鐵デ調査致シマシケレドモ、比較的油脈ガナカッタ、熱河省ノ一部分ニ少シアル位デ、外ニハナイト云フヤウナ様子デアリマスガ、今度ノ陸軍ノ占領ト申シマスルカ、實力デ以テ把握シテ居ル地域内ニ於キマシテハ、可ナリ油脈ガ賦存スルノデハナイカト云フヤウナコトガアリマス、私共ガ榆次ニ參リマシタ時ニ、榆次ノ兵站官ヲシテ居リマシタ佐藤大佐ガ、大谷ト云フ所デ石油ヲ發掘シテ居ル、斯ウ云フコトヲ言ウテ居リマシタガ、サウ云フヤウナ御報告ガ陸軍ニ來テ居リマスカドウカ、石油ヲ山西省ニ於テ發掘シタル事實ニ對スル御報告ガアリマスカドウカ、此點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○町尻政府委員 野中サンノ只今ノ御質問ノ第一點、自動車ノ成績デゴザイマスガ、是ハ詳細ナ報告ハマダ纏ッテ居リマセヌ、只今マデ聞イテ居リマスル所デ、ヤハリ外國ノ大衆車ガ一番成績ハ宜シウゴザイマス、日本デ作りマシタ日産、豐田其他ノ國產車ニ、昔カラ見マスト大變成績ハ良クナッテ居リマスガ、マダ非常ニ惡イ道路デ、相當

長ク使ヒマシタ時ニ、ヤハリ破損其他ガ比較的多クナリマシテ、モウ少シ經驗ヲ積マナイト非常ニ長イ經驗カラ造リ上ゲマシタ外國ノ古い車ニハ、マダ及バナイト云フコトヲ聞イテ居リマス、併ナガラ今度ノ實驗カラ致シマシテ、國產車ト雖モ相當ノ經驗ト更ニソレノ改良ニ非常ニ努力致シマシタナラバ、數年ナラズシテ拮抗シ得ル迄ニ行クダラウト、豫想サレテ居リマス、ソレカラ大キナ車ト小サイ車ノ件デゴザイマスガ、之ニ對シマシテハ、ドチラノ方ガ使ッタ上デ非常ニ工合ガ良カッタト云フ歸納致シマシタ成績ハ、マダ參ッテ居リマセヌ、兩方トモ使フ場所ニ依リマシテ、殊ニ支那ノヤウナ非常ニ道ノ惡イ特殊ナ所デゴザイマスカラ、寧ロ大型、小型ト云フコトヨリモ「スプリング」トカア、云フ方面ノ毀損ガ、非常ニ多イヤウニ承知シテ居リマス、次ニ石油ノ問題デゴザイマス、御話ノ通り滿洲乃至支那方面ニ於キマスル液體燃料資源ノ調査獲得ト云フ點ハ、軍ト致シマシテモ非常ニ只今關心ヲ持ッテ、極力其搜索檢出ニ努力シテ居ルノデゴザイマスガ、只今マデノ所、直接天然ノ液體燃料ヲ搜出シタト云フコトノ報告ハ、マダ何モ得テ居リマセヌ、隨テ今マデノ所ハ、ヤハリ人造石油ヲ造ラネバ

ナルマイト云フ見地カラ、其方ノ研究ヲ進メテ居リマス

○野中委員 今ノ陸軍ノ大型、小型ノ比較ハナイト云フ、實際是ハ比較スルノニ難シイ問題ダラウト思ッテ居リマス、土地或ハ道路ノ關係ニ於テ非常ニ泥濘ノ甚シイヤウナ所ヘハ、小型自動車デスルト或ハ車輪ガ沒スルト云フヤウナ危險性ガアリマス、ソレカラ又非常ニ今度ハ道ノ小サイ所デスト、小型自動車ヨリ外ニハ使ヘナイト云フヤウナ工合デ、一ツノ條件ニ於テ兩方ヲ比較スルト云フコトハ困難ダラウト思ッテ居リマス、併ナガラ大型ガ宜イカ小型ガ宜イカ、更ニ國產ガ宜イカ外國產ガ宜イカト云フコトハ、日本ノ自動車工業ノ發達ヲ圖ルニ對シテハ、相當ニ大事ナコトデアリマシテ、之ヲ檢査スルノニ最モ大量ニシテ多クノ經驗ヲ持ツモノハ、陸軍デナケレバナラスト私共ハ考ヘテ居リマス、サウ云フ關係カラ、ドウシテモ斯ウ云フコトハ産業ニ對スル將來ノ經驗ニナルコトデアリマスカラ、徹底的ニ一ツ御調査ヲ願ヒタイ「ガソリン」ノ消費節約ニ付キマシテモ、大型自動車ノ消費量ト小型自動車ノ消費量ハ、非常ニ違ヒマス、日本ノ國家内部ニ於キマシテハ、私ハ小型自動車ノヤウナモノヲ「ガソリン」節約上使

用スベキモノデハナイカト考ヘマス、現ニ大型自動車デスト、東京ニ於ケル平均乗客率ガ、一人半位シカ乗ッテ居ラナイ、是ナラバ、小型自動車デ十分ニ輸送シ得ル、ソレダカラ交通及ビ運輸ノ上カラ見テモ、相當此問題ハ考究スベキ重大ナ問題デアリマスカラ、而モ其成績ヲ試驗スル最モ良イ所ノ陸軍省ニ於テ、御調査下サイマシテ、所謂國策ヲ御決定下サレバ、非常ニ都合ガ好イト思ヒマスカラ、念ノ爲ニ其御統計ヲ求メタ次第デアリマス、ソレカラ山西省方面ニ於テ、マダ何等ノ特別ナル情報ハナイト云フ御話デシタガ、私共ガ聞イタ耳ガ間違ヒガナイナラバ、是ハアルト云フ話デゴザイマシタ、併シ又其大谷アタリハ漸ク二月ノ末ニナッテ占領シタ地域デセウカラ、隨テ決定的ナ調査ヲシテ報告スルト云フ域マデニハ、ナラナカッタダラウト思ヒマス、併シ若シモサウ云フ資源ガアルヤウナコトデゴザイマシタナラバ、是ハ軍ノ方デ積極的ニ一ツ御活動ニナリマシテ、滿洲ニ於テヤッタヤウナ工合ニ、北支方面ニ於テモ御活躍ヲヤツテ戴キタイト思フ、併シ日本ニ於ケル國防上ト申シマセウカ、自給自足主義ノ域ニ達シナイ最大ノモノハ、寧ロ鐵ヨリモ石油デヤナイカト考ヘル、鐵デゴザイマスレバマ

ダ比較的二國內ニ於ケル有ユルモノヲ動員スレバ、是ハ補充シ得ル餘力ガアリマスガ、所謂「ガソリン」ニ對シテハ、之ヲ補充スベキ何等ノ物ヲ持ッテ居ラナイ、國內產ト云フモノハ僅ニ二割ニナルカナライカデセウシ、又此商工省ノ御計畫ニ依リマシテモ、五箇年後ニ僅ニ人造石油ト合セテ、國內消費量ノ半分ニシカ達シナイト云フヤウナ話デアリマスカラ、中々半分デハ果シテ本當ニ一朝事ガアツタ時ニ、十分ニ間ニ合フカドウカト云フコトハ、疑問ニ思ッテ居ル、サウ云フ點カラ見マス、寧ロ日本ノ最モ重大ナル國策ト云フモノハ、製鐵國策ニアラズシテ燃料國策ダラウト思ッテ居リマス、是ガ而モ十分ニ今日ニ於テハ完成シ得ナイ、否十分デナイト云フ狀態デスカラ、餘程是ハ考ヘナケレバナライ、隨テ石油ノ出ルト云フ見込ノアル、或ハサウ云フ地質ノ所デアリマスナラバ、ドン／＼遠慮ナク調査ヲシテ、本當ニ日本ノ力ニ依ッテ國內デ消費スル液體燃料ヲ、補給シ得ルト云フ程度マデ行カナケレバナラスト思ッテ居リマス、之ニハ今ノ所國策上ニ於キマシテ、商工省ノ連中モ可ナリ活躍シテ居リマスガ、此活躍ニ對シテ十分ニ伸シ得ナイ狀態ニアルノデヤナйкаト思フ、ソレデアリ

マスカラスウ云フコトヲ思切ッテオヤリニナルノハ、却テ軍ノ方ガオヤリニナルコトガ最モ今日ノ場合適正ニシテ、有效ナモノダト思ヒマス、是ハ御意見ハ承リマセヌガ、私共ノ意見ヲ一ツ御參照下サイマシテ、將來ニ對スル對策ヲ御決メ下サルコトヲ、御願ヲ申シテ置キマス

○山田(順)委員 一寸野中サンノ質問ニ關聯シテ自動車ノ問題デ……

○森田委員長 質問デスカ、アナタノ質問ニ關聯シテ野中君ガヤッタノデスガ、簡單ナラ宜イデス

○山田(順)委員 只今野中サンノ考ヘ方ヲ、私一寸聽キマシタガ、要スルニ野中サンノハ「ガソリン」消費ノ關係ト乗車ノ率カラ考ヘテ、小型自動車ガ宜イデヤナイカ、陸軍ニ一ツ考ヘテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウニ私拜承シタノデスガ、途中カラ聽キマシタカラ、ハッキリシタコトハ分リマセヌガ、ソレハ野中サンハ「ガソリン」消費ト乗車ノ率カラ考ヘテ、左様ナ議論ヲ致シマシテ、陸軍ニ考ヘテ貰ヒタイト、斯様ニ言ハレタカモ存ジマセヌガ、私達ノ考ト致シマシテハ、小型自動車ト云フモノハ、國策ノ上カラ申シマスレバ、所謂國產自動車ノ將來ノコトカラ考ヘマスレバ、是ハ三文ノ價值モナイ、私達

ハ斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ何故デアルカト申シマスレバ、一體軍ガ少クトモ今後交通事業乃至戰時ニ於ケル所ノ自動車ヲ、選擇スル上ニ於キマシテ、一體ドウ云フ風ナ方針ニ出ルカト云フト、恐ラク軍トシテモ大キイ自動車ヲ將來使用スルト云フコトハ、是ハ世界列國其趨勢デゴザイマス、小型自動車ト云フモノハ減ビ行ク狀態デアリマシテ、是ハ唯日產ガ小型自動車ヲ造ッテ、サウシテ最近各方面ヘ賣出シテ居リマススケレドモ、是ハ一朝有事ノ際ニ於キマシテ、何等ノ用途ニナラナイ、最近御承知ノ通り、「トラック」自動車ハ百三十一吋ト云フノデアリマシタケレドモ、今日ニ於キマシテハ百五十七吋ト云フコトニナリ、ソレガ將ニ進シデ百八十吋以上ニ相成ッテ來タノデゴザイマス、此情勢カラ考ヘマシテモ「ガソリン」ハ勿論「エンヂン」ノ大キイ小キイ、或ハ「シリンドラー」ノ大キイ小キイ、サウ云フコトニ依ッテ「ガソリン」ノ消費ノ率ハ多少違ヒマススケレドモ、併シ現在ノ普通ノ大型ノ自動車ト致シマシテハ、サウ大シタカラ増シマシテモ、或ハ積載量ヲ増シマシテモ、現在使ッテ居ル六汽笛ヲ標準ト致シマスレバ、ソレハ八汽笛ニナッテモ、十汽笛ニナッテモ、多少ノ「ガソリン」ノ

消費ノ量ニ於テハ違ヒマススケレドモ、併ナガラ大體ニ於テハ、サウ大シタ差ガナイ、併シ性能ノ上ニ於テ、又活動力ニ於テハ非常ナル力ガアリマシテ、積載量ノ上ニ於キマシテモ、非常ナ差ガアルノデアリマシテ、是ハ何ト言ッテモ小型ニ、國家、殊ニ陸軍ガ力ヲ注グナドト云フコトハ、將來自動車製作ノ上ニ大ナル矛盾ヲ來スト私ハ考ヘテ居ル、尙且ツ商工省ガ小型自動車ニ對シテ、現在デハ補助シテ居ナイト私ハ存ジテ居ル、日產竝ニ豐田ニ對スル所ノ補助、アノ補助ノ基準ト云フモノハ、所謂六汽笛、現在ノ大型自動車ヲ基準トシテ國家ハ補助ヲ與ヘテ居ルト存ジテ居ルガ、小型ニ對シテハ何等ノ補助ヲ與ヘテ居ナイ、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ、小型ハ唯便宜的ニ、多少自轉車ノ少シ毛ノ生エタヤウナ形デ、或ル程度マデ利用サレテ居ルカハ存ジマセヌガ、是ハ將來大シタ力ハナイト信ジテ居ルノデアリマス、此點カラ考ヘマシテ、少クトモ軍ノ當局ニ於キマシテハ、恐ラク小型ニ重要ヲ持ッテ考ヘテ居ルコトトハ存ジテ居リマセヌケレドモ、私達ノ意ノ在ル所ヲ一ツ斟酌シテ、サウシテ自動車國策ノ大策ニ對シテ邁進シテ貰ヒタイ、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス

○野中委員 私ノ質問ヲ途中カラ御聴キニ
ナツタ故カ、大分御意見ガ違ヒマスガ、私
ガ又辯駁シマスト討論ト云フコトニナリマ
スシ、政府ノ御意見ヲ伺ハウト云フコトデ、
筋ガ違ヒマスカラ、私ハ文句ハ言ヒマセヌ
ガ、私ハ軍ニ調ベテ戴キタイト云フノデ、
私ノ意見ヲ申上ゲタノデス、能ク調査ヲ願ッ
テ、ドツチデモ宜イカラ、ハッキリシタ所ヲ
決メテ貰ヒタイト云フノガ、私ノ質問ノ趣
旨デゴザイマスカラ、ドウゾ御諒承達ヒノ
ナイヤウニ願ヒマス

○町尻政府委員 中西説明員カラ御答致サ
セマス

○中西陸軍砲兵中佐 先程軍務局長カラ御
答ニナリマシタ小型、大型ハ、チヨット御質
問ノ小型トハ、趣旨ガ違ッテ居ルヤウデゴザ
イマス、先程申サレマシタ小型ト云フノハ、
豊田、日産ノ自動車ヲ指シテ居ラレマス
ノデ、現在市中ニアリマス小型ノ乗用車、
ア、云フモノヲ言ハレタノデハナカッタノ
デアリマス、少シ御話ガ喰違ッテ居ルノデア
リマス

○山田委員 サウデスカ、私ハ途中カラ聴
イタモノデスカラ……

○篠原委員 一寸陸軍當局ニ伺ヒタイ、此
石油資源開發ノ爲ニハ、人ガ必要デアリマ

スガ、其人ノ養成ノ問題ガ一方ニ必要デア
リマスノニ、商工省ノ方デハ一般ノ鑛業技
術員其他ノ養成ノコトガ脱落シテ居リマス、
各地ノ實情ヲ伺ヒマス、此人ガ足ラナク

テ困ッテ居ルノデアリマス、現ニ永年從事シ
テ居リマシタ半バ技術員、半バ従業員デアリ
マスガ、是ガ一社デモ二百數十人召集セラ
レテ居リマス、其結果新ニヤッテ見ヨウト
思ッデモ、容易ニ代リノ人ヲ半年ヤ一年デ
拵ヘ得ナイ、此事ハ陸軍トシテハ、動員全
體ノ關係ノ上カラ致シマシテ、特別ノ技術
者ニ對シテドウスルカト云フ御考ヲ、併セ
テ伺ヒタイト思フノデアリマス、實際新シ
ク開發シヨウト思ッテ急イデヤラウト思ウ
テモ、一番ノ手足ヲ餘計掬ガレテ困ッテ居ル
業態ノ、是モ一ツダラウト思ヒマス、將來
斯ウ云フ問題ハ特ニ御考ヲ願ハナケレバナ
ラヌト思ヒマスガ、是ハ他ノ業態、生産全
體ニ關係スルコトデアリマスカラ、相當御
配慮ヲ戴イテ居ルコトト思ヒマスガ、進ン
デヤラウト致シマシテモ、人ガ足リナイ、
是ハ一方養成ノ點モ多少怠ッテ居ル、現在ノ
商工省ノ計畫トシテモ、此點ハ多少脱落シ
テ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ關
係ト併セマシテ、何カ特別ニ此方面ニ對シ
テ御配慮願ハレマセウカ、ヤッテ見ヤウト思

フガ人ガ不足スルト云フノデ、當業者トシ
テハ非常ニ苦痛ヲ慫ヘテ居ルノデアリマス、
此點一般ノ關係ト併セテ伺ヒマス

○町尻政府委員 只今ノ御質問ノ件ハ、唯
石油ノ問題ニ限リマセヌデ、從來飛行機其
他各種ノ方面カラ、熟練工ヲ引拔カレテ困
ルト云フコトハ、度々伺ッテ居ルノデアリマ
ス、併ナガラ御承知ノ如ク、其業務ニ非常
ニ缺クベカラザル者ハ、豫メ届出ニ依リマ

シテ戰時徵集ハ猶豫スル規定ニナッテ居リ
マス、各種ノ關係カラ其届ガ出テ居リマセ
ヌデ、召集サレテ居ル人モアルト云フノガ
實情デアリマス、サウカト云ッテ之ヲ極端ニ
範圍ヲ擴ゲマスコトハ、動員ノ性質カラ言ッ
テ、ドウモ出來兼ネル、又一面カラ言フト、
動員忌避ト云フヤウナモノニ非常ニ絡ミマ
シテ、當局ト致シマシテハ、サウ範圍ヲ擴
ゲテ何デモカンデモ御許シスルト云フコト
ハ、動員計畫上出來兼ネルノデアリマス、
併ナガラ何トカシナケレバナラヌト云フヤ
ウナコトモ伺ヒマスケレドモ、是ハ作戰上、
準備シテ居ルモノノ中カラ、ドン／＼人ヲ
引抜イテアルト云フコトモ、實際問題ト致
シマシテ出來兼ネル事情モアリマス、サウ
云フ特殊ナヤリ方ト云フモノハ、今出來ナ
イト考ヘテ居リマス、併ナガラ御承知ノ通

リ、逐次前線ニ居リマス人ハ、後送サレツ、
アルト云フヤウナ實情ニ在リマス、甚ダ
御不満足ダト思ヒマスケレドモ、サウ云フ
技術員等ノ需要ニ對シテハ、一方ニハ新シ
イ人ヲドン／＼養成スル、旁、舊イ者ヲ交
替サセ、歸ッテ來タ者ハ之ヲ元ノ所ニ使フト
云フ譯デ、今度ハ何トカナルノデハナイカ、
又ソレデ我慢ヲシテ戴カナケレバナラヌト
考ヘテ居リマス

○篠原委員 御事情ハ私共モ能ク存ジテ居
リマス、單純ナ勞務ニ從事スル者ハ、無論
サウ云フコトハナカラウト思ヒマスガ、一
般ノ熟練工ト云フモノニハ、凡ソノ標準ト
云フモノガアルノデアリマス、訓練ヲ何年
位ヤラナケレバ實際ノ用ニ立タヌトカ、單
純ナ勞力デ濟ムモノハドウデアルト云フヤ
ウナコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○町尻政府委員 熟練工トシテ特殊ナ技術
ヲ要シマスノハ、ハッキリ致シマセヌガ、多
分六年以上勤メテ居リマシテ、其特殊ノ技
術ニ缺クベカラザル者ト云フコトヲ其會社
ノ方カラ申出テ、監督官或ハ内地ノ其方面
デ認メマシテ、サウシテ決定セラレルモノ
ト思ッテ居リマス

○朴委員 私ハ原料國策ノ問題デ御尋致シ
マスガ、是ハ今更始ッタ問題デアリマセヌ

ガ、何レノ政府ニシテモ、目先ノコトヲ考ヘテ居ルカラ、斯ウ云フ場合ニハ此原料國策ノ爲ニ慌デルト云フヤウナ氣分ガ十分アルノデアリマス、例ヘバ石炭ノ如キモ、私共ハ此前カラ政府ヲ鞭撻シ、外地ニ對スル論モ屢言ウテ居リマシタノデスガ、朝鮮滿洲——北支ハ最近ニナッテ問題ニナッテ居リマスケレドモ、石炭ノ如キハ、内地ノ鑛業者ヲ助ケル爲ニ向フカラ來ルノヲ禁止シナケレバナラスト云フヤウナコトガ、屢議會デ問題ニナッテ居ル、私共ハ左様ナコトヲ何時マデモ考ヘテ居ルノデ、何時モ慌デルト云フ結果ニナルノデヤナイカト、非常ニ心配ヲシテ居ル、例ヘバ撫順ノ炭坑ノ如キモ、朝鮮ニ於テハ咸南北ノ炭坑ノ如キモ、豐富ナルモノガアルト思フ、採掘費用モ安イシ、内地ニ移入スルコトハ一般ノ消費者ノコトヲ考ヘルナラバ、大イニヤラナケレバナラスト思フ、唯一組合トカ、一鑛業者ヲ助ケル爲ニ、向フカラノ移入ヲ禁止スルコトニナルト、何時モ内地ノ消費者ハ高イ物ヲ使ハナケレバナラスト云フヤウナコトニナッテ、是ガ私共今マデ日本ノ國策上誤ッテ居ル點ガ、大分アルト思ウテ心配シテ居ル、北支ノ如キハ殊ニ石炭ナリ或ハ石油ナリ、私ハ相當アルト思ヒマス、大體今マデノ陸海軍

ノ如キモ、心配セズニ調査セズニ物ヲ得ラレルト云フヤウナ考デ居ラレルコトガ、既ニ誤ッテ居ルノデハナイカト思フ、例ヘバ外國ノ如ク全ク手ガ著ケラレナイナラバ別ダケレドモ、日本ノ力デ得ラルベキモノヲ今日マデ得テ居ナイ、是ハ輸入デモ何デモ構ハナイカラ、日本ガ其豐富ナル物ヲ求メルト云フヤウナコトガアルナラバ、ソレヲ全速力ヲ掛ケテ、多數ノ費用ヲ使ッテモ宜イカラ、研究スルコトガ第一ニ必要デハナイカト思フ、之ニ對シテ今後軍ハ餘程思切ッテヤラスト、今マデノ内地ノ九州方面ノ炭坑ノ如キモ、モウ盡スダケ掘盡シテ居ル、深クナルコトニナルト採掘費用ガ高クナッテ、隨テ高イ物ヲ供給スルコトハハッキリシテ居ル、ソレデアルカラ日本ノ外地ニ對シテ物ヲ求メルコトヲ、動モスルト輸入ト云フコトヲ言ッテ居ル、吾々ハ日本ノ領土カラ持ッテ來ルモノハ輸入トハ思ハナイ、ソレヲ何時モサウ云フヤウナコトヲ言ッテ喰止メル爲ニ、結局高イ物ヲ供給シナケレバナラスト云フヤウナコトガ澤山アルノデアリマスガ、軍務局長ノ知ッテ居ラレル通り、滿洲ノ如キモ十分石炭ガアリ、朝鮮ニモアルノデスカラ、私ハ之ヲ思切ッテ採掘サシテサウシテ内地ニドン／＼移入スルコトハ、

私ハ國家的見地カラ非常ニ宜イデハナイカト思フ、餘程今後考ヘナケレバナラストハ、北支ニ於ケル内地人ニ對シテ軍部ガ非常ニ虐待シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、外地ニ内地人ガ行ッテ朗ラカナ生活ヲスルトノ出來ルヤウニ、軍部ハ總テノ便宜ヲ與ヘナケレバナラスト、今マデ戰爭ヲシテ戰ハ勝ツケレドモ、得ル所ハ何モナイト云フヤウナコトヲヤッテ居ル、例ヘバ日本人ガ上海トカ北支方面ニ行ッテ居ル者ニ對シテ、不良ダカラト云ッテ内地ニ追ヒ還ヘスト云フコトヲ屢、聞イテ居ル、果シテ斯ウ云フコトガ日本ノ移民政策上宜イノカ惡イノカト云フコトハ、軍當局モ餘程考ヘナケレバナラスト、成程向フヘ行ッテ居ル人ハ、眞面目デナイカモ知レスケレドモ、日本デ安樂ナ生活ヲスルコトノ出來ル人間ハ、ア、云フ氣候ノ寒イ所ヘ危險ヲ冒シテ行クト云フ人ハ、恐ラク私ハ少イト思フ、併シサウ云ツヤウナ人間ガ向フヘ行ッテ、其所ノ地盤ノ基礎ヲ作ッテ、是カラ段々日本人ガ行カナクテハナラスト時ニ、資源開發其他ノコトヲ先ニ行ッテヤッテ居ルコトガ、道案内ニモナルト云フコトハ、ハッキリシテ居ル、ソレヲ最近ニナッテ不良デアルカラ追還ヘスト云フコトヲ聞イテ居リマスケレドモ、併シソナ事ヲヤッ

テ、果シテ今後北支滿洲ナド、日本ノ所謂國策上ノ運用ガ出來ルカドウカト云フコトヲ、吾々ハ非常ニ疑問ニシテ居ル、支那人ニ對シテ御機嫌ヲ取ル爲デアルカドウカ、左様ナコトヲ最近ヤッテ居ルト聞イテ居リマスガ、軍務局長ドンナモノデスカ、聽カシテ貫ヒタイ

○町尻政府委員 只今朴サンノ最初ノ石炭竝ニ石油ヲ、滿洲若クハ北支カラドン／＼取レ、内地ノ當業者ヲ壓迫スルコトナド考ヘルカライカスト云フコトハ、是ハチヤント政府ニ於キマシテモ、思切ッテ掘ル積リデヤッテ居ルノデアリマス、唯輸送機關、殊ニ北支ノ方ナドハ、御承知ノ如ク、只今鐵道ノ方ガ運ビ切レナイノデ、ソレガ直ラナケレバ幾ラ山程石炭ガ一杯溜リマシテモ、持ッテ來ラレスト云フ實情ニアルノデス、併シ出來ルダケ現在足リナイモノハ、北支、滿洲ノ方カラ、或ハ朝鮮カラドン／＼持ッテ來ルト云フコトニハ、大體ノ方針ヲ樹テヤッテ居リマスカラ、御心配ガナイヤウニ逐次進ムト思ウテ居リマス、ソレカラ第二段目ノ北支其他ニ出テ行ク同胞ヲ追ヒ還ヘシテ居ルノハ、イカスデヤナイカト云フ點デアリマスガ、是ハ軍ト致シマシテハ、今度ノ聖戰ノ目的ガ御詔勅ニモゴザイマス如ク、日

支永遠ノ提携ヲ圖リ、本當ニ日滿支共存共榮ノ爲ノ聖戰デアルト云フ見地カラ致シマシテ、飽マデ此戰爭ノドサクサ紛レニ、何等カ特殊ノ利權ヲ此際取ラウトカ、或ハ權カヲ以テ押付ケテデモ此際儲ケヨウトカ云フヤウナ、所謂不良分子ハ、現地ニ行クコトハヲ希望致シマセヌ、隨テ現地ニ於テ、サウ云フコトヲ非常ニヤラレル方ハ、是ハ軍ト致シマシテモ、或ハ外務當局ト致シマシテモ、相協力致シマシテ、永遠ノ日支親善ノ目的ニ反スル、斯ウ云フ人達ハ現地ニ行ッテ戴キタクナイ爲ニ、歸還ヲシテ戴イテ居ルト云フ實情ハゴザイマス、併ナガラ善良ナル國民ガ本當ニ日支親善、或ハ日滿支、東洋ノ永遠ノ平和ニ目覺メマシテ、現地、デ色々ノ仕事ヲヤラウト云フト時ニハ、無論歡迎モシ、御便利モ與ヘルノデアリマシテ、決シテ無理解ニ感情的ニ、サウ云フ特殊ノ差別ヲシテ居ル譯デハアリマセヌ、其點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○朴委員 今ノ鐵道ノ問題モアリマスガ、私ハ此前ノ議會デモ申上ゲマシタガ、安奉線鐵道デ非常ニ内地ノ品物ヲ壓迫シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、併シ滿鐵デアラウガ朝鮮鐵道デアラウガ、私ハ國策上物ヲ運ブト云フコトナラバ、調停ガ出來ルモノト思フノデス、デアリマスカラ非常ニ澤山山程掘ッテ居リナガラ、内地ニ運搬ガ出來ナイト云フコトバ、今ノ鐵道ノ所謂運賃其他ノコトガ、關係シテ居ルノデナイカト思フ、ソレニ對スルニハ陸軍當局ト鐵道當局トノ話合デ、解決ガ出來ルノデナイカト思フ、只今ノ軍務局長ノ日支親善ト云フコトハ、洵ニ結構ナ話デアリマスケレドモ、併ナガラ私共不安ニ思ッテ居ルコトハ、今日マデ肚ノアル政治家ガナイト云フコトヲ、私ハイツモ議會デ言ッテ居リマスガ、今軍務局長ノ言フ通りニ、眞面目ナ日本人ヲ日本人ガ壓迫スルト云フコトハ、私申上ゲテナイノデアリマス、併ナガラ私ノ申上ゲルコトハ、内地デ食ベテ餘リアルヤウナ人ハ、決シテアンナ危險ナ所ニハ行カナイ、多少内地デ生活ニ困ッテ居ル人間ガ、實際ニ於テ彼地ニ行ッテ、サウシテ多少危險ガアルニシテモ、本當ノ自分ノ努力ヲ以テ將來ノ樂ミデ行ッテ居ル、此人間ニ直チニ軍部ナリ其他ノ人ガ、不良ニ見ルト云フコトハ、私ハドウカシテ居ルノデナイカ、斯ウ見テ居ル、私之ヲ申シマスノハ、既ニサウ云ウタ人ガ澤山歸ッテ來テ居ル、行ッテ見ルト日本人ガ日本人ヲ壓迫スルカラ、彼ノ地ニ居ルコトガ出來ナイト言ッテ居ル、デアリ

マスルカラ、私共ノ言フノハ、是ハ軍務局長ハ百モ御承知デアルガ、斯ウ云フコトデハ幾ラ日支親善ヲ叫ンデモ困難デアル、日支親善ハ洵ニ結構デアル、併ナガラ此日本ノ移民ト云フコトモ、日本人ガ彼ノ地ニ澤山行カナケレバ、日支親善ハ出來ナイ、眞面目ナ人ヲ向フニ持ッテ行ッテ植付ケルト云フコトハ、幾ラ軍務局長ガ骨折ッテモ出來ナイ、内地ニ暴力團狩リトカ何トカ云フコトガアツタガ、サウ云ツタヤウナ者ハ日本ノ國內ニ置クヨリ、寧ロ向フヘ行ッテ生活サセルト云フコトガ、私ハ國家的見地カラ言ッテ宜イデヤナイカト思フ、其點ハ軍務當局モ餘程考ヘナケレバイケナイ、ソレニ又張作霖デアラウガ、張學良デアラウガ、初カラ日本ノ反對者デヤナイ、日本ガ助ケテヤッテ、己レノ力ガ付クト日本ヲ裏切ッテ來ルト云フヤウナコトハ、軍務局長モハッキリ知ッテ居ラレル、私ハ以前豫算總會デ、日本ノ國內ニ全部ノ師團ヲ置ク必要ハナイ、外地ニ於テ二箇師團デモ三個師團デモ師團ヲ設置シナサイ、事アツタ場合ニ日本カラ運ブヨリ、近イ所デ間ニ合ハセタ方宜イト云フコトヲ質問シタノデアリマス、アノ廣イ所ニ日本人ガ百万ヤ五十万行ッテ所デ、一向差支ナイト思フ、サウ云フヤウナ危險ナ所

ニ日本人ガ行ッタカラト云ッテ、之ヲ不良分子ダカラ日支親善ヲ破壊スルト言ッテ、追ヒ還ヘスト云フヤウナコトデハイイカヌト思フ、サウ云フ人ノ中ニハ今ノ燃料國策ノ方カラ、向フノ地ニ行ッテ事情ヲ能ク知ッテ居ル者モアル、恐ラク軍務局長ハ表向キハ日支親善ト云ッテモ、其裏ニハ中々言ヘナイコトモアルデセウ、アナタノ肚モ僕ノ肚モ變リハナイト思フ、今後軍部ハ日本人ノ移民ニ對シテ不良ト云フコトデ追ヒ還ヘスヤウナコトナク、出先ノ軍部ニ言付ケテ、行ッテ者ヲ歡迎シテ、是カラ北支邊リニ植付ケルト云フコトニ盡力シテ貫ヒタイト思フ、是ダケ私ハ軍務局長ニ申上ゲテ置キマス

○土倉委員 主トシテ私ハ海軍ノ關係ヲ承ッテ見タイト思フ、此非常時局、殊ニ事變下ニ於キマシテ、液體燃料トシテノ石油ノ重要ナルコトハ論ズル迄モナイノデアリマス、殊ニ國內資源トシテ極メテ貧弱ナル我國ノ立場ニ於テ、悉ク外國資源ニ俟タナケレバナラスト云フコトハ、現實目前ノ事變對策トシテハ、相當ノ用意ト確信トヲ持ッテ居ラレマスコトハ、疑フ餘地ハアリマセヌガ、併シ更ニ此事變ノ擴大或ハ國際情勢ノ變遷等ニ依リマシテ、國家百年ノ立場カラ現在此日本ノ貧弱ナル所ノ狀態デ甘ンジテ居ラ

レルカ、ドウカト云フ點デアリマス、何人モ是ハ甘シテハ居ラレナイガ、然ラバ之ニ對スル所ノ對策ト云フモノヲ如何ニスルカト云フ問題ガ、殘サレテ居ルト思フ、此點ニ於テ先ヅ現實ノ安全ナルコトハ疑フ餘地ハナイガ、近キ將來或ハ遠キ將來ニ互ル所ノ海軍トシテノ見透シ如何ト云フコトヲ、先ヅ第一ニ伺ッテ置キタイ

○岸田政府委員 此問題ニ付キマシテハ屢、御質問ヲ受ケルノデアリマスガ、御承知ノ如クニ燃料ニ付キマシテハ、比較的ニ天然資源ニ恵マレテ居ラナイ我國ト致シマシテハ、特ニ時局ノ前途ヲ考慮致シマスルト、餘程此燃料問題ノ解決ニ當ッテハ、軍當局トシテモ遺憾ナキ對策ヲ講ジナクテハナラヌト思ヒマスノデ、商工省トモ協力シ、之ニ當ルト云フコトニ付テハ深キ決意ヲ持ッテ居リマスルガ、現在ノ情勢ニ於テノコトハ擬テ措キ、將來ハドウ云フ風ナ考ヘ方ヲ持ッテ居ルカト云フ御質問ノ御趣旨ト承リマシタ、此事ハ前回モ他ノ方ガ觸レタノデアリマスガ、要スルニ今日相當油ヲ貯藏シテ居リマスルガ、是ノミニ依頼シテ居ル譯ニハ行キマセヌノデ、國策ノ著々實現ニ俟チマシテ、出來ルダケ人造石油ノ製造ヲ擴張シテ行クト云フコト、竝ニ御承知ノ如クニ帝國

内外ニ互ッテノ資源ヲ開發ト云フコトニ付キマシテハ、一層之ニ力ヲ入レテ、以テ此方面カラノ供給ヲ潤澤ニスル、是等ノ政策ト相俟チマシテ今後ニ處シテ行カナケレバナラヌト思ヒマスレドモ、此コトハ餘程經濟的ニ或ハ技術的ニ、幾多ノ困難ヲ伴フモノデアルト云フコトハ、言フ迄モナイ次第デアリマスカラ、餘程國民一致ノ協力ニ俟ッテ、相共ニ此對策ニ遺憾ナキヤウニ、努力ヲ續ケテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○土倉委員 只今承リマシタ點ニ付テハ、正シク私ハ左様デアラウト思フ、又左様デナケレバナラナイト思ヒマス、ソコデ茲ニ本案ヲ提出ニナリマシタ趣旨ニ付テ、更ニ進ンデ御伺ヲ致シテ見タイト思ヒマス、商工省ガ出サレマシタ此計畫ハ、極メテ貧弱ナモノデアアル、今遠キ將來、近キ將來ニ向ッテノ不安ガ、海軍當局ニモアルシ、國民ニモアル、陸軍モ固ヨリ此點ニ付テハ、ヤハリ重大ナル牽聯ヲ持タレテ居ル、國內ノ資源ニ對シテスラモ軍當局ハ頗ル熱烈ナル理解ヲ持ッテ、今日此議會ノ中ニ現ハレタ重要法案ニ於キマシテモ、極メテ積極的ナ意思表示ヲサレテ居リマスニ拘ラズ、モット大切ナ海外資源ニ仰ガナケレバナラヌ此液體

燃料ニ對シマス商工省ノ此貧弱ナ態度ニ對シテ、果シテ満足サレテ居ルノカドウカ、微々タル、殆ド爲サザルニ如カザル此助成或ハ補助、而モ我が日本ノ含有地域ノ地質調査ハ、開闢以來政府トシテ金ヲ出サレタモノハ僅カ百十萬圓カ百二十萬圓デアアル、又試掘助成ニ對シテ爲サレタ政府ノ犠牲タルヤ、是亦微々タルモノデアアル、然ルニ液體燃料トシテノ重要性ハ、國防ノ見地カラモ、平時産業ノ見地ノ上ニ立チマシテモ、閑却スベカラザル重大問題デアアル、國際情勢ノ立場ニ於テモ、經濟的立場ニ於テモ、

每年三億圓、今日デハ或ハソレ以上支拂ッテ居ルカモ知レマセス、コト程左様ニ大キナ經濟的關係ニ伴ヒマス所ノ、而モ國防上ニ重大ナル關聯ヲ持チマス液體燃料ニ對シテ、商工省ノ此吝ナ案、微々タル對策ハ、豫算關係等ニ於テ、或ハ商工省自體ノ無力ノ致ス所、大藏省ニ對スル或ハ政府全體ニ對スル無力ノ致ス所トシテ、是ハ已ムヲ得ザルトスルモ、絶對的ノ立場ニ立タナケレバナラナイ海軍及ビ陸軍トシテ、之ニ満足ヲ表セラレテ居ルカドウカト云フコトモ、此際一寸承ッテ置カナケレバナラヌト思ヒマス

ル政策或ハ補助ノミヲ以テシテ、將來ノ日本ノ燃料問題ノ解決ニ當ッテ、十分事足リルトハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、今日ノ情勢ニ於キマシテハ、財政其他ノ關係モアリマスルシ、又幾多ノ技術的、經濟的ノ點モ關聯スルコトデアリマスルカラ、此法案ニ對シテハ軍當局トシテハ、多大ノ期待ヲ懸ケテ居ル次第デアリマス

○土倉委員 御趣旨ハ言葉ニハ、ハッキリ承リマセヌガ、腹ノ中デハ御諒承ノ上ニ言葉トナッテ現レテ來ナイト云フ憾ヲ、私ハ持ッ者デアリマスガ、是ハ或ル限度マデハ諒トシナケレバナラナイ、一體之ニ期待ヲサレルト云フ程ノ何モノガアルノデスカ、其期待スベカラザル商工省ノ液體燃料、國策トシテノ對策ニ於テ、過去ニ於テ爲サレタル成績ニ於テ、私ハ非常ニ得ル所ノモノガアルト思フ、茲ニ政府ノ出サレタ資料ノ中ニモアルガ、昭和十年度ニ二十四萬圓ノ補助ヲ與ヘラレテ居ル、然ル所是カラ二ツノ井戸ノ收穫ガ齎サレテ居リマス、更ニ十一年度三十八萬二千圓ノ補助ニ對シテ、是亦相當見ルベキ油田及ビ井戸ガ數箇所發見サレテ居リマス、收穫モ亦十分ナリト此資料ノ中ニ報告サレテ居ル、然ラバ僅カ一年二十萬圓或ハ三十八萬圓位モノニ於テサヘモ、

相當ノ見ルベキ成績ガアルトスレバ、人造石油或ハ液化等ノ不經濟ナ手段ヲ考ヘル前ニ、豫メ内地ノ含有地帯及ビ油田ト認メラレマス地點ニ對シテ、相當ノ犠牲ヲ拂ヒ、大規模ノ補助ヲ與ヘテ——又補助ヲ與ヘルコトヲ主トセズトモ、商工省自ラ、或ハ海軍當局自ラ犠牲ヲ拂ッテ爲サレテモ、ソレハ此際不經濟ナモノデハナイ、人造石油或ハ石炭液化ト云フモノハ、技術ノ上ニ於テモ經濟ノ上ニ於テモ、甚ダ面白カラヌコトデアアル、出來ルナラバ天然ノ重油、石油ト云フモノガ考ヘラレルノデアアル、微弱ナリト雖モ油田或ハ含有地帯ハ、我が日本ニハアルノデアアル、而モ政府ハ過去ニ於テ僅カノ試ミニ於テサヘモ、相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ル、然ルニ現時ノ重要ナル此燃料ニ對シマシテ、商工省ノ僅カ一箇年百七十萬圓限度ノ補助ヲ満足サレテ、而モソレニ期待サレテ居ルト云フ御答辯ハアルマイト私ハ思フノデアリマス、ソレ程此液體燃料ニ於テ海軍當局ガ重要視セラレナケレバナラナイト思ッテ居ルニ拘ラズ、ソレダケノ樂觀ガアルト云フコトハ、私ハ實ニ不可思議デアアル、唯財政ノ都合上已ムナシトセラレルノデアアルカ、微弱ナリト雖モ本案ニ對シテ期待サレテ居ルト斯ウ仰セニナルナラバ、聊カハ

分リマスルケレドモ、ソレニシテモ私ハ満足デヤアリマセヌ、ト云フノハ國家經濟財政ノ立場カラ、是ダケシカナイカラ仕方ガナイト言ッテ、默視セラルベキ性質ノモノデナイ、經濟ヲ超越シテ採算ヲ度外シテモ徹底的ニヤラナケレバナラナイモノヲヤラナイ、不經濟ナル人造石油ノ見地ニ立タレテ、更ニ海外資源ノ輸入ニ俟タレル、斯ウ云フヤウナコトハ經濟上カラ言ッテモ、排撃シナケレバナラナイシ、技術ノ上カラ言ッテモ排撃シナケレバナラナイニ拘ラズ、只今ノ御答辯ハ實ニ私ハ要ヲ得マセヌ、但シ現實ニ本案ハ商工省カラ此限度ニ於テ提出セラレテ居ルノデアアルケレドモ、來年度ハ更ニヨリ以上軍當局モ熱意ヲ持タレ、商工省ニ勸告ナサルカ、或ハ大藏省ニ直接談判ナサルナリ、又自ラガ其衝ニ當ル其御決意ヲ、今日ニ於テ持ッテ居ラレテ、本案ニ期待サレ、満足サレテ居ルカト云フコトヲ、改メテ一應此點ニ對シテ、念ヲ押シテ承ッテ置キタイト思フ

○岸田政府委員 御趣旨ノ通り、固ヨリ現在ノ狀況ノミヲ以テ、海軍ト致シテ満足シテ居ルモノデハアリマセヌガ、今日ノ實情ニ即シマシテハ、此法案ニ期待ヲ掛ケルコトモ亦已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、仰セノ通り將來ニ於テハ一層海軍ト致シマシテモ、商工當局トモ協力シ、又此法律ノ徹底シタ國策樹立ノ實現ノ邁進ニ期待致シマシテ、將來ニ互ッテ遺憾ナキ燃料問題ノ解決ニ進ンデ行キタイト思ッテ居リマス

○土倉委員 稍、私ノ期待スル所ト近寄ッテ來タヤウナ氣持ガ致シマスガ、何卒此點ハ其場限りノ御決意デハナク、強ク——是ハ主張シテ戴カナケレバナラナイ、技術上相當困難ナ立場カラ、更ニ經濟的ノ立場カラ、毫モ是ハ失フ所ノモノガナイノデアリマス、業者ニ補助シテヤルトカ、或ハ民間ニ之ヲ助成シテヤルト云フヤウナ見地ニ立タナイデ、政府自ラ爲サレテモ、決シテハ損ガ行ク仕事デヤナイ、今申上ゲタ僅カ今日マデニ政府ガ犠牲ヲ拂ハレタ二三百萬圓程度ノモノニ於テモ、十分ナル效果ト成績ヲ擧ゲテ居ル、ソレヲ態、海外ニ正貨ヲ流シテヤル、而モ國際上困難ナ立場ヲ無理遣リ算段ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ爲サル必要ガ何處ニアル、而モイザトナレバ大切ナル缺クベカラザル決意ニモ等シイモノデアアル、茲ニ幸ヒ陸軍ノ軍務局長モ御顔ガ見エテ居ラレマスカラ、可ナリ陸軍ガ今日マデ所謂廣義國防ニ對スル強キ熱意ガアリ、又或ル一面ニ於テハ吾々ト相反撥スルガ如キ御議論モ吾々ハ承ッテ居リ、或ル意味ニ於テ刺戟ヲ受ケタコトモ多々アリマス、ノミナラズ進ンデ吾々傾聴シ、敬服スル點モ多々アッタノデアリマス、排撃スル點モ多々アッタノデアアルガ、敬服スル點モ多々アッタノデアリマス、コト程左様ニ廣義國防ノ見地ニ立タレテ居ル熱意ヲ私ハ認メル、此點ニ對シテ此燃料資源ニ對シマスル所ノ御感想ヲ、此機會ニ於テ承ッテ置クコトモ、私共ノ非常ニ參考ニナルコトト思フノデアリマス

○田尻政府委員 土倉委員ノ只今ノ非常ニ御熱心ナル燃料問題ニ對スル御意見ハ、陸軍ト致シマシテモ非常ニ心強く、實ハ大變有難ク思フモノデアリマス、陸軍ト致シマシテモ實ハ兩三年前ヨリ特ニ強ク此問題ニ關心ヲ有シテ參リマシテ、將來ノ國防ヲ考ヘマスル時ニ、ドウシテモ此問題ハ徹底的ニ解決ヲ要スルト云フコトヲ考ヘマシテ、國內ノコトハ只今ノ所商工省ニ御一任致シテ、軍ハ寧ロ滿洲ナリ北支方面ニ於テ、出來得ルダケ此資源ノ捜査開發ト云フコトニ、モット思ヒ切ッタ努力ヲ要スルノダト云フコトヲ、ツクツク感ジテ居リマス、ソレデ私共モ寄り——關東軍其他ト密ニ連絡致シマシテ、此上トモ舊ニ倍シマシテ、資源ノ搜

在或ハ人造石油ノ製造ト云フモノニ、モウ一步燃リヲ掛ケテ御期待ニ副ヒタイト考ヘテ居リマス、一言陸軍ノ只今考ヘテ居リマス極ク概要ヲ、甚ダ抽象的デアリマスガ申上ゲマス

○土倉委員 軍務局長ノ非常ナル熱意ヲ持タレタ御所見ニ對シテハ、國家ノ爲ニ是ハ敬意ヲ表シマス、進シテ尙ホ其熱意ノアル所ヲ本案ニ對シマシテモ亦商工省ニ鞭撻指導ヲ與ヘラレマシテ、來ルベキ機會ニハ斯ノ如キ貧弱ナル計畫ヲ二度ト爲サラナイヤウニ、十分ノ御警告ガ願ヒタイト思ヒマス、私ハ敢テ本案ノ貧弱ナルヲ以テ之ヲ排撃セントスルモノデハアリマセヌ、所謂爲サザルニ優ル、毫モ此點ニ於テ私ハ一字一條モ改メル必要ハナイ、改メ得ルトスルナラバ、數字ノ所謂「ポイント」、桁ヲ引上ゲテ修正スレバ修正スルダケノモノデアリマスガ、議會ノ權能ハ左様ニハ行キマセヌ、故ニ本案ハ私ハ修正スベキ點ハナイ、但シ助成金ノ中カラ是ハ本會議議デモ申述ベタルガ如ク、百分ノ二ノ納入金、或ハ深度ノ關係ノ點ト云フヤウナモノニ對シテ、考慮スレバ考慮スルノ餘地ガアルカトモ思ヒマス、是モ敢テ營利業者、民間業者ノ爲ニ加擔ヲスルト云フ意味デハナイ、即チ國策ノ大ナル見地

カラ見テ、大乗的ニ考慮サレコトガ、ヤ

ハリ本液體燃料解決ノ上ニ、何等カノ齎スモノヲ私ハ期待スルガ故ニ、此言ヲ爲シタ次第デアリマス、ドウカ此點ハ陸軍當局、又此機會ニ商工當局ニ於テモ、今少シク眼

孔ヲ開キ、國際情勢ノ微妙ナル動キヲ注意サレマシテ、此液體燃料關係ニ於テハ善處シテ戴キタイト思フデアリマス、現ニ國際情勢ノ點カラ見マシテ、之ニ關聯スル重要ナル問題ハ各委員ノ御質問ノ中ニ或ハアツタカモ知レマセヌガ、私ハ不幸ニシテ承ハルコトガ出來ナカッタカラ、私ノ感想ヲ申上ゲテ御參考ニ供シテ置キタイ、歐洲ノ國際情勢ノ險惡ナルコトハ、今日ヨリ大ナルモノハナイ、是ガ我ガ日本ノ國際關係ノ上ニモ影響スルコトハ勿論デアリマス、殊ニ一昨年ノ伊太利ガ「エチオピア」ヲ征服シタ、英吉利ノ大艦隊ガ地中海ノ霸權ヲ握ッテ「エチオピア」援助ノ「ゼスチュア」ヲ使ヒマシタ時ニ、伊太利ノ空軍ニ依ッテ此英吉利ノ艦隊ガ又一重大脅威ヲ受クルニ至ツタ、爲ニ流石ノ英吉利モ後退スルノ已ムナキニ至ツタ、遂ニ完全ニ伊太利ノ目的ガ貫徹セラレマシタガ、此際ニ重要ナル其背面ノ事實ハ何デアッタカト云フト、即チ此液體燃料デアリマス、石油デアリマス、此「ガソリン」關係デアリ

マス、從來國際關係ニ於ケル所ノ折衝ハ、

伊太利ヲ國際聯盟カラ排撃スベク、即チ經濟壓迫ヲ加ヘントシタ所ノ第一ノ題目ハ、勢ヒ此「ガソリン」ノ問題デアッタノデアリ

マス、伊太利ハ元來石油ヲ有シマセヌ、我ガ防共協定ノ相手方伊太利モ、亦獨逸モ之ニ對シテハ安定ヲ得テ居リマセヌ、サリナガラ是等歐洲ノ吾々ノ仲間ハ、本案、政府ヨリ只今頂戴致シマタ資料ノ中ニ於テモ、我ガ日本ヨリハ相當ノ助成ト犧牲ヲ政府ハ拂ッテ、此燃料解決ニ資シテ居リマス、是等獨逸、伊太利ヨリモ遙ニ重要性ヲ持タナケレバナラヌ海國日本ガ、太平洋上ニ於ケル所ノ霸權ヲ握リ、東亞ノ絕對的主權ヲ確保セント致シ、又自ラ平和基礎ノ確保ノ重キニ任ジテ居リマスル所ノ日本ノ強味ト云フモノハ、全ク海軍ニナケレバナラヌ、又陸軍ニ吾々ハ俟タナケレバナラヌ、此國防上ノ見地ニ對スル最も重要ナル所ノモノガ、此石油デアアル、「ガソリン」デアアル、更ニ一轉致シテ、亞米利加ガ我ガ日本ノ海軍ノ優秀ナルニ驚キ、又國民性ノ強靱ナルニ舌ヲ捲イテ居ルコトハ固ヨリデアリマスガ、數量ノ上ニ於テハ、亞米利加艦隊ハ當然有力デアリマス、量ニ於テハ多キヲ持ッテ居ル、然ルニ尙ホ國防力ヲ増大

シ、海軍力ヲ擴張シ、非常ナ犧牲ヲ支拂ハ

ントシテ居ル所ノモノニ、即チ我ガ日本ノ國體及ビ國民性ニ對スル所ノ一大脅威ヲ感ズルカラデアリマス、サリナガラ軍當局ハ如何ナルコトヲ言ッテ居リマスルカ、日本艦隊恐ル、ニ足ラズ、彼ノ抑、血液トモ言ヒ、

或ハ食糧トモ看做サレル所ノ燃料ニ於テ、血液ヲ有セザル、食糧ヲ有セザル所ノ日本艦隊ハ、何ノ恐レル所ガアルカ、斯様ナ即チ放言ト申シマスカ、或ハ信念ト彼等ハ言フカモ知レマセヌ、放言デアラウガ、彼等ノ底カラ發スル信念デアラウガ何デアラウガ、斯ノ如キコトヲ吾々が透過セラレテ居ルト云フコトハ、日本國民トシテ實ニ是ハ閑却スベカラザル一言ナノデアリマス、之ニ對シテ本案ノ如キ微弱ナル所ノ對應策ト云フモノハ一體何デアリマスカ、國家ノ財政ノ窮乏ト云フ點ハ何デアリマスカ、ソコトハ考慮スル餘地ハアリマセヌ、コト程左様ニ重大ナル問題デアリマス、百七十万圓、更ニ五箇年繼續ノ千數百萬圓、何タル微々タル兒戲ニ類スル案デアアルカ、併ナガラ兒戲ニ類スルトモ爲サザルヨリ優ル、斯ウ云フ意味ニ於テ贊成ノ意ヲ表スルダケデアアル、斯ノ如キ、即チ亞米利加ノ軍ガ無責任ト申シマセウカ、或ハ彼等カラ言ヘバ

心核ヲ貫ク體ノ意味ニ於テ爲サレタル一言
 デアルカハ知りマセヌケレドモ、吾々日本
 國民トシ、又軍當局ト致シマシテハ、閑却
 スベカラザル所ノ重大ナル液體燃料ニ對シ
 テ、此微々タルノ案ハ爲サザルニ優ルノデ
 アルカラ仕方ガナイトスルモ、更ニ來年度、
 其次年度ニ於テ十分ナル用意ト對策ヲ爲
 サル、コトハ、財政ノ見地カラ立チマシテ
 モ經濟ノ見地カラ立チマシテモ、敢テ私ハ
 損ヲ見込シテヤル、採算ヲ度外視シテモヤ
 ラナケレバナラスノハ當然デハアルガ、決
 シテ是ガ損ニナルノデハナイ、又經濟的ニ
 見テ不經濟ニナルノデハナイト云フコトヲ
 強ク申上ゲ、又強ク熱意ヲ以テ善處サレン
 コトヲ切望致シマシテ、私ノ質問ヲ終リタ
 イト存ジマス

云フコトヲ想定シタ場合ニ於テノ關係デゴ
 ザイマスガ、申ス迄モナク我國ノ石油ハ現
 在ニ於テ殆ド需要量ノ一割ヲ國防以外ノ分
 ニ於テ供給シテ居ルニ過ギナイノデアリマ
 シテ、九割ハ外國カラ輸入致シテ居ルノデ
 アリマス、ソコデ年々數億ノ金貨ガ外國ニ
 流レテ行ク、隨ヒマシテ石油ヲ國內ニ於テ
 増産スレバ、其増産ノ金額ダケハ外國ニ金
 貨ヲ支拂フ必要ガナイ譯ニナルノデアリマ
 ス、國內油田ノ開發ト云フコトハ財政上ノ
 見地カラ見テ極メテ喫緊ノコトダト思ヒマ
 ス、商工當局モ御認メニナツテ、斯ウ云フ法
 令ヲ出サレテ居リマスルガ、是等ノ實現ヲ
 圖ル上ニ於テ、相當積極的ナ試掘ヲヤルト
 云フ場合ヲ想定致シテ見マスルト、國內ニ鐵
 管ガ足ラナイ、ソコデ方法トシマシテハ國內
 ニ於テ鐵管ノ大增産ヲヤルト云フ必要ガア
 リマスガ、是ハ差當リ明年ト云フコトニ付テ
 ハ、實際色々調査致シテ見マシタガ困難デ
 アリマス、尤モ是ハ今日出サレテ居ル商工省
 ノ豫算面カラシタナラバ、外國ヨリ買入云
 タト云フコトハ必要ナイ譯デアリマスガ、積
 極的ニ試掘ヲ考ヘル場合、外國カラ鐵管ヲ
 輸入スルト云フコトハ、ソレニテ直チニ石油ヲ
 増産シ金ノ流出ヲ抑ヘル譯ニナリマスカラ、
 詰リ金ノ増産ニ對スル施設ト見テモ差支ガ

ナイヤウナ意味ニナルト考ヘマス、隨ヒマ
 シテ此増産ニ必要ナル鐵管ヲ外國カラ輸入
 スルト云フコトニ付キマシテハ、爲替管理
 ノ關係ニ於キマシテモ、勿論御心配ニナル
 點ハ從來ノ行懸リカラ、又爲替管理ト云フ
 コトダケカラ見タナラバアルカモ知レマセ
 スガ、石油増産ト云フ大乗的ノ見地カラ見
 マスルト、寧ロ此際鐵管ニ限ッテハ外國ヨ
 リ輸入ヲ許ス、獨逸アタリカラ買入レルト
 云フコトガ、一面ニ於テハ金ノ増産ニ相當
 スル結果ヲ生ムヤウナコトニナルト同時ニ、
 他面ニ於テ石油ハ國防上、交通上、産業上、
 各方面ニ於テ極メテ重要ナ使命ヲ持ッテ居
 リ、金ノ具備シテ居ナイ特別ナ效用使命ヲ
 持ッテ居ルノデアリマス、カラシテ此ノ其二
 ツノ點カラ考ヘテ、此際思切ッテ、大藏省ト
 シテハ其輸入ヲ御許シニナルト云フコトガ
 必要デハナイカ、又極メテ是ハ賢明ナ方法
 デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソ
 コデ色々行懸リモアリマセウカラ、私ハ先
 ヅ第一ニ純理ノ方カラ致シマシテ、全ク純
 粹ナ見地カラドウデアルカ、ソレカラ第二
 ニ、ソレガ若シ純理デハサウデアルケレド
 モ實際上ハドウモ工合ガ惡イト云フコトデ
 アリマスレバ、其實際上工合ガ惡イト思ハ
 レル理由ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○中村政府委員 御答致シマス、只今石油
 ノ増産ノ必要ヲ御述ベニナリマシテ、自然
 ソレニ伴ヒマスル鐵管ノ輸入デアルトカ、
 或ハ其材料タル鐵ノ輸入デアルトカ、斯ウ
 云フモノガ極メテ必要デアル、之ニ對スル
 爲替管理上ノ考ヘハドウデアルカ、斯ウ云
 フ御質問ノ御要旨カト存ジマスルガ、如何
 ニモ目下ノ我國ト致シマシテハ、多量ノ石
 油ヲ外國ノ輸入ニ俟タナケレバナラナイト
 云フコトハ、國防其他ノ關係カラ見マシテ
 モ勿論、國際貸借ノ關係カラ考ヘマシテモ、
 甚ダ遺憾ナ次第デアリマス、若シ國內ニ於
 テ増産ガ出來ルト云フコトデアラナラバ、
 國際貸借上ノ關係ニ於テモ、洵ニ望マシイ
 次第デアリマス、其爲ニ必要ナル鐵管若ク
 ハ其原材料ト云フヤウナモノガ、輸入ニ俟
 タネバナラスト云フコトデアレバ、直チニ
 ソレダケノモノヲ許シタイト云フ氣持ヲ持ッ
 テ居ルコトハ、申上ゲル迄モナイコトト存
 ジマスルガ、唯一面爲替資金トノ關係モア
 リマシテ、如何ニ望マシイコトデアッタニ
 シモテ、之ヲ無制限ニ許スト云フコトガ出
 來ナイ現状デアリマス、其邊ニ付キマシテ
 ハ、商工當局トモ能ク連絡ヲ取リマシテ、
 爲替資金ノ許ス限度内ニ於テ、必要ナル鐵
 管等ノ輸入ハ相當ニ認メテ行カネバナラ

午後零時二十分休憩
 午後一時四十九分開議
 ○森田委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キ
 マス——爲替局長ガ御見エニナリマシタカ
 ラ、大藏省ニ對スル質問ノ方ハアリマセヌ
 カ

○長野委員 爲替管理ノコトト、ソレカラ
 外國カラ鐵管ヲ輸入スル必要ガアル、斯ウ

詰リ金ノ増産ニ對スル施設ト見テモ差支ガ

管等ノ輸入ハ相當ニ認メテ行カネバナラ

スカト思ッテ居ル次第デアリマス、本年ノ鐵管ノ輸入量ニ付キマシテハ、私茲ニハッキリ記憶シテ居リマセヌガ、相當量ノ輸入ヲ豫想シテアツカト存ジマス、其用途ニ付キマシテハ、無論商工當局ト能ク聯繫ヲ保チマシテ、石油増産ノ爲メ必要デアルトスレバ、其方面ニモ相當行渡ルヤウニ處理シタイト存ジテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○長野委員 洵ニ御親切ナ、又色々其點ニ付テノ御配慮ヲ戴イテ居ルト云フコトハ、欣幸ニ考ヘル次第デアリマスガ、其額ハ一體ドレ位デアリマセウカ、私共トシテハ之ヲ極メテ實體ニ基キマシテ、油田其他鋼管生産、狀態等各方面ノ實情ニ基イテ計算シテ見マスト、五百萬圓カラ一千万圓位ノ間ニ於テ、初年度ニ於テ輸入ヲスルコトガ出來マスト、目今ノ實情カラシテ痛切ニ感ゼラレル石油生産上ノ要望ヲ満足セシムルコトガ出來ルト思ヒマス、勿論ソレ等ノコトハ商工當局ノ色々御意見モアリマセウカラ、私ノ獨斷ノミデハイカヌノデスガ、私トシテハ商工當局ニモ奮發ヲシテ戴イテ、ソレ位ノ程度ニ一ツ輸入ヲシテヤッテ戴キタイト、斯ウ云フ感ジヲ持ッテ居ル次第デアリマス、ソコデ現ニ豫想セラレテ居リマス額

ハ、ドレ位デアリマセウカ、又一千万圓程度位マデニ付テハ、ドウ云フ御考ヲ持タルルデゴザイマセウカ

○中村政府委員 只今ドノ位本年ニ於テ輸入ヲ認メル積リデアルカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、私ハ實ハ數字ヲ記憶シテ居ラナイノデアリマスガ、此點ニ付テハ嘗テ大藏大臣カラモ屢、御話ガアツカト存ジマスガ、何品ヲドノ位輸入セシメ得ルカト云フヤウナ數字ニ付テハ、斯ウ云フ現下ノ國際關係モアリマスノデ申上ガ兼ネルト、斯ウ云フコトニ相成ッテ居リマスカラ、惡カラズ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○長野委員 現下ノ各般ノ狀況カラシテ、數字ノ御明答ヲ戴ケナイコトハ已ムヲ得マセヌ、唯私ハ希望トシテ申上ガタイノハ、只今マデニ申上ガタヤウナ理由デゴザイマシテ、此點ハ何等ノ論議ヲ要セザルコトデアリ、又今マデ委員諸君モ相當増産ニ付テハ主張セラレテ居ル關係モアリマシテ、旁、此鐵管問題ト云フコトハ、ヤカマシイ問題ト相成ッテ來ル次第デアリマス、ソコデ詰リ普通ノ勘定カラ行キマシテモ、國ノ要望ヲ充タスニハ當然一千万圓程度ノ鐵管ハ輸入シテ貰ハナクテハナラスノデアリマスガ、茲ニ特ニ私ノ大藏當局ニ御願申上ガテ置キ

タイト云フコトハ、斯ウ云フ時局デアリマスシ、又斯ル重大ナル問題デアリマスルカラ政府ハドウカ國際貸借關係上特別ナル困難ノ伴フベキ限度、是レ以上ハ絕對ニイカスト云フ特別ナル限度マデハ、思ヒ切ッテ一ツヤッテ貰ヒタイ、又ソレニ付テハ特ニ御研究ヲ願ヒマシテ、色々御調査モアリマセウカラ、ソレ等ノ點ニ付テノ御準備ヲ御願シタイノデアルト云フコトヲ、率直ニ御願ヲ致ス次第デアリマス

○森田委員長 松尾君、厚生省モ鐵道省モ出テ居ラレマスカラ、質問願ヒマス

○松尾委員 私ハ商工省ト厚生省ト鐵道省ニ關聯シタコトデ、一言御尋シタイト思ヒマス、私ガ御尋致シマスルコトハ、二月二十五日ニ金澤君ガ産金ノコトニ付テ御尋ニナッテ、御答辯ニナッタ所モアリマスルシ、本日山田君ガ質問シ御答辯ニナッテ居ル所モゴザイマスガ、其方ト幾分關聯スルト思ヒマスケレドモ、其コトヲハッキリト御答ラシテ戴キタイノデ、今質問申上ゲル次第デゴザイマス、本法案中石油ノ原料ニ、石炭ヲ用キルト云フコトニナッテ居リマスノデ石炭増産ト云フコトニ付テ、御尋ラシタイノデアリマス、我國ハ油田ガ不十分ノ爲ニ第七十一議會ニ於キマシテ、人造石

油——帝國燃料興業株式會社ト云フ會社ガ創立ニナリマシタコトハ、洵ニ結構ナコトト存ジテ居ル次第デゴザイマス、併シ現状ノ如ク石炭ガ不足デハ、何年經過致シマシテモ此會社ノ目的ヲ達スルコトガ、洵ニ困難デハナカラウカト思フヤウナ次第デゴザイマス、今日油ヤ石炭ヲ使用シテ居ル所ノ業者ノ一部ニ對シマシテ燃料ノ節約ヲサセテ居ラレマスガ、山田君モ申サレマシタ通りニ、自動車業者ノ如キハ、相當ナ高價ノ金ヲ出シテ車ヲ買入レ、ソレニ依ッテ營業ヲ致シテ居ル者ニ、燃料節約ノ爲メ、其業ヲ休マセルト云フコトハ、今日ノ銃後國民ニ對シ、國防上ノ關係カラトハ言ヒナガラ、洵ニ氣ノ毒ナコトト思フヤウナ次第デアリマス、此狀態デハ何時マデ經過致シマシテモ、石炭ヤ油ヲ使用スル業者ニ對シマシテ、不安ヲ與ヘルバカリデ、安心ヲサセルヤウナ時期ハ參ラスノデハナカラウカト思フノデアリマス、尤モ石炭ヲ相當出スト云フコトニナリマスノデ、御承知ノ通り、非常時局ノ場合ニ石炭不足ノ爲ニ、軍需工業ニマデモ差支ヘルヤウナコトニナレバ、最モ大變ナコトトナリマスノデ、勞働力ノ不足ナ時デハゴザイマスガ、業者側ニ於キマシテハ、勞働者ニ對シ今日ノ非常時局ヲ認識サセマ

シテ、時間増シヲサセ、十時間労働ヲ致サシテ、出来得ル限りノ出炭ニ努力ヲサシテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレニ依リマシテ労働力ガ不足デハアリマスルガ、相當出炭ヲ致シテ居リマスケレドモ、鐵道省ノ貨車ノ不廻リノ爲ニ貯炭ガ激増致シマシテ、二月二十日ノ調ニ依リマスト三十五万噸ト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、只今デハ四十万噸以上モ山元ニ貯炭ヲ致シテ居ルト思ヒマスルガ、是以上山元ニハ貯炭ヲスルコトガ出来マセヌノデ、若シ今迄ノ通り貨車廻リガ惡イト云フコトニナリマスレバ時間増シヲサセテ居ル所へ、却テ時間ヲ縮少シテ、其爲ニ減産ヲ致サネバナラスト云フヤウナコトニナリハセヌカト思フノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ鐵道省ノ貨車ニ對スル御答ヲ、ハッキリト御願シテ置ク次第デゴザイマス、尙ホ出炭増産ヲ致スニ付キマシテハ、掘進ヲ致サネバ石炭ト云フモノハ一塊モ出スコトハ出来ナイシ、此掘進ヲ致スト云フコトニナリマスレバ、二三間毎ニ「レール」ヲ張ツテ行カナケレバ先ニ進ムコトハ出来ナイト云フコトニナリマスルガ、此「レール」ガ各炭坑デ所有シテ居ル所ガ甚ダ少イノデ、「レール」ヲ商人ニ注文致シマシテモ、今日デハ何箇月スレバ「レール」

ガ出来ルカ、其日ニチヲ定メテ契約スルコトハ出来ナイト云フヤウナコトモアリマスノデ、其「レール」ガ間ニ合ハザル爲ニ採掘ガ出来ズニ、増産下コロカ縮少、甚シキ所ニ至ツテハ事業モ中止ヲセネバナラスト云フヤウナ所ガ、出来ルト思ヒマスノデ此「レール」不足ニ付キマシテハ如何ナル御考ヲ御持チ下サルカ、是ハ商工省ノ方ニ御尋シタイト云フ考デゴザイマス、更ニ厚生省ニ御尋ヲ致シマスルガ、昨十二年度出炭豫算數ガ四千四百九万二千噸デゴザイマシテ、之ヲ石炭聯合會ト中小礦業ト分割致シマシテ、石炭聯合會ハ其分割高ヨリ十五万五千噸ノ出シ不足ヲ致シタノデゴザイマス、是ハ設備ノ不完全ナ爲デハゴザイマセズ、労働力ノ不足ノ爲デアッタノデゴザイマス、所ガ本年度ノ出炭豫算ハ五千九百九万三千噸ト云フコトニナツテ居リマス、是ダケ出サネバ一般石炭使用者ニ對シテハ満足ナル配給ガ出来ナイト云フコトニナツテ居リマシマス、十二年度ト十三年度ノ出炭ノ差額ガ本年度七百万一千噸モ増産ト云フコトニナツテ居リマシテ、聯合會側ガ之ヲ六百三十八万五千噸、中小礦業側ガ六十一万六千噸増産スルト云フコトニ話合ッタノデゴザイマス、所ガ中小礦業ノ側ニ於キマシテハ、需要者

側ニハ洵ニ申譯ノナイコトデアルガ、今日ノ労働力デハ到底増産ニ應ジ兼ねルト云フノデ、此聯合會側ニ斷ツタノデゴザイマス、然ルニ石炭聯合會側ニ於キマシテモ、十二年デサヘモ十五万五千噸モ出シ不足ヲシテ居ルノニ、到底此儘ニテハ増産不可能デハナイカト思フノデゴザイマス、故ニ一般石炭使用者側ニ満足ナ石炭ヲ與ヘルト云フコトニ致シマス、之ニ對スル労働力ガ必要デゴザイマス、此増産ニ對スル労働力ガドノ位要ルカト申シマスルナラバ、今マデノ労働者一人ニ付キマシテ毎年ノ平均出炭ガ二百噸ト云フコトニナツテ居リマスノデ、本年度増産七百万一千噸ヲ出シマスルニハ、労働者ノ一箇月ニ對スル働キ日ヲ二十日間ト定メマシテ計算スレバ、坑夫、労働者ガ五万二千五百八人トナリマシテ、其外之ニ伴フ役員及ビ坑外夫ヲ一割ト見レバ、總人員デ五万七千七百五十人トナルノデゴザイマス、此労働者ヲ雇入ル、ニ付キマシテ、厚生省ニ於キマシテハ如何カ適當ナ御考ガアルカドウカラ御伺シタイ次第デゴザイマス、尤モ此外ニ人造石油燃料興業株式會社ガアリマシテ、愈、石炭ヲ使用スルト云フヤウナコトニナリマスレバ、是ハ別デゴザイマスガ、其使用數ニ依ツテ労働力モ増進シテ行カ

ネバナラスト云フコトニナリマスノデ、是モ如何ナル御考デゴザイマスルカ詳シク御説明アランコトヲ御願シタイ次第デゴザイマス

○工藤政府委員 昨年ノ本院ニ於キマシテモ、松尾委員ハ今日ノ如キ労働力ノ不足ニ對シマシテハ、頗ル御心配セラレテ、ソレ相當御活動ニナツテ其善後策ニ御奔走セラレタコトモ、私ハ記憶致シテ居ルノデゴザイマシテ、只今親シク其實情ヲ拜聴致シマシタガ、非常ノ際デアリマスカラ、各方面ニ異常ナ變動ガアリマスルノデ、其中ノ一ツトシテハ恐ラクハ労働力ノ供給不足デアラウト云フコトハ、厚生省ニ於テモ頗ル心配シテ居ル點デアリマス、只今ノ實情カラ判斷シマシテ、五万以上ノ労働力ヲドウ云フ工合ニシテ之ヲ補ヒ得ルカト云フコトハ、マダ十分調査ハ致シマセヌカラ、詳シイ具體的ナ御答ハ申上ガ兼ねマスケレドモ、厚生省トシテハドウシテモ成ベクハ熟練シタ労働者モ亦半熟ノ労働者モ、礦山ノ方ヘ集マツテ行クヤウナ途ヲ、政府モ努力スルガ又當業者モ其點ヲ一ツ御考ヘ願ハナケレバナラス、ソレハ即チ労働條件ノ改善デアリマス、只今デモ相當改善シテ居ルト云フ事實ハ認メテ居リマスルケレドモ、ヤハリソコニ

勞働者ヲ招來スルト云フコトデアレバ、ドウシテモ第一條件ト云フモノハ勞働條件ノ改善、例ヘバ從來ニ比シテ低イ者ハ上ダテヤルト云フヤウナコトモ、一ツノ方法ダラウト思ヒマスカラ、是ハ本省ニ於テモ努力ハ致シマスケレドモ、此點ハ特ニ此機會ニ於テ政府ト協力ヲシテ、特ニ御配慮ヲ戴キタイ、此勞働條件ノ改善モ出來ルト、然ラバ厚生省トシテハドウスルカト言ヘバ只今ノ職業紹介所ハ總テ國營トシテ相當規模ノ國營紹介機關ガ出來ルノデアッデ、隨テ全國的ノ——是マデハ地域のデアリマシタガ、全國的ニ勞務ノ需給ヲ調節スル所ノ方針モ立ッテ居リマシテ、豫算モ現ニ取ッテ居リマス、隨テ此紹介事業ノ活動ニ依ッテ、出來ルダケ當業者ニ必要ナ勞働力ヲ供給スルヤウニ、盡力シタイ積リデアリマス、大體大礦山デハ男ノ坑夫ヲ必要トシマセウガ、ヤハリ是モ出來ルダケハ青年男子ヲ募集シテ、之ヲ補ッテ行カナケレバナラスガ、全體カラ見マシテ、ドレダケノ割合ニナルカ知ラスガ、薄層殘炭ノ處理ナドニ付テハ、必シモ一人前ノ男デナクテモ、婦人デモ出來ルモノガ澤山アルヤウニ認メテ居リマスカラ、先ヅ其補ヒトシテ、若干ノ程度ノモノハ斯ウ云フ方法モ採ッテ見タイト云フノデ、是ハ昨年本

院ニ建議案ガ出マシテ、松尾委員モ頗ル御心配ニナッタアノ方法ヲ、政府モ採リタイト考ヘマシテ、現在モ例外トシテ許ス規定ニナッテ居リマスカラ、此範圍ヲ擴張シマシテ、出來得ルダケハ例外デアリマスケレドモ、今日非常ノ際デアルカラ、當業者竝ニ國策ニ順應スル必要上カラ、此例外範圍ヲ擴メテ女工モ認メタイ、斯ウ云フ考デアリマスカラ、昨年地方長官ニ對シマシテ、又ソレノ關係方面ニ對シテ、其例外ヲ擴張スルト云フコトニ付テ、通牒ヲ發シテ居リマス、大體ノ方針ハサウデアリマスガ、具體的ノ事ニ付テハ御質問ガアレバ又御答シマスケレドモ、其方針ニ則ッテ現在ノ場合、當業者ニ若干デモ満足ノ行クダケノコトヲシタイ、此點ニ對シテ厚生省ハ誠意ヲ以テ努力シテ居ルト云フコトヲ、御諒解願ヒタイノデアリマス

○松尾委員 只今御答辯ヲ戴キマシタ中ニ、昨年吾々ガ政府ニ對シマシテ陳情致シマシタ時ノ事ヲ、仰セ戴キマシタノデ、其時ノ事ト今日ノ狀態トヲ參考迄ニ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、昨年政府各省ニ吾々ガ婦女子ノ入坑禁止ノ猶豫方及ビ半島人移入許可ヲ陳情ニ廻リマシタ時ニ、半島人ノ移入許可ハ困ルガ、今帝都ニ住ッテ居ル

所ノ半島人デ良ケレバ、三千人バカリ世話ヲシテヤッテモ宜イト云フコトヲ、其際近藤サント言フ課長サンカラ承リマシタノデ、私共モ非常ニ喜ビマシテ、是非一ツ御世話ヲ願ヒタイト云フコトニ致シマシタ、所ガ取敢ズ千人ダケデハドウカト云フ御話ガアリマシテ、洵ニ結構デゴザイマスト言ウデ、是デ下リマシテ、縣當局トモ色々手續ノコトヲ打合セテ、御世話ヲ願ヒマシタ結果ガ、相當費用ハ使ヒマシタガ、是ハ別ニ不足ヲ言フ譯デモ何デモナイ、實情ヲ御話申上ゲルノデゴザイマスガ、東京デ十五人、大阪デ九人、京都デ一人ガ出來タ譯デゴザイマス、千人ト言ハタレノガ都合二十五人シカ出來ナカッタ譯デゴザイマス、併シ是ハ課長サンモ、内地ニ來テ居ル半島人デアルカラ、マア吾々ガ世話シテヤッタラ、直グ出テ來ルダラウト云フヤウナ考デノ御親切カラ言ハレタモノトハ思ヒマスケレドモ、中々半島人モ、サウ容易ク寄セルコトガ出來ズニ、今申シマシタヤウナ譯デアッタノデゴザイマス、更ニ今日ノ坑夫勞働者ガ勞銀ノ點ニ付テモ、幾分カ寄りガ惡イノデナイカト云フ方面カラ調べテ見マシタ所ガ、吾々業者ノ方デハ坑内外ヲ通ジマシテノ一人平均ノ勞銀ガ、二圓強位ニナッテ居ルノデゴザイ

マス、所ガ承リマスレバ、軍需工業等ニ於キマシテハ、勞働賃銀ガ三圓位ニハナッテ居ルト云フヤウナ話モ聞キマスルノデ、ヤハリ坑内ノ幾分カ危險ヲ冒シテ働ク者ハ二圓位、坑外デ働ク者ハ三圓餘ト云フコトニナルノガ、結局勞働者ヲ傭フコトガ出來ナイヤウナコトニナルノデハナイカト云フコトデ、色々話合ヒマシテ、是非軍需工業ニ近イヤウナ勞銀ヲ出シタイト云フコトヲ話合タノデゴザイマスケレドモ、中々今ノ炭價デハ左様ナ勞銀ガ支拂ガ出來スノデゴザイマス、世間デハ此石炭ノ價ガ非常ニ高値ノヤウニ言ハレテ居リマスケレドモ、無論ソレハ昭和八九年頃カラ見レバ、相當ニ上ッテ居ルト思ヒマスガ、又外ノ品物ガ著シク上リマシテ、其中デモ「レール」ノ如キハ昭和九年デハ一哩二千二百五十圓致シテ居ッタノデゴザイマス、所ガ今日デハ五千圓近イ値段ガ致シテ居ルノデゴザイマス、此五千圓ヲ出シマシテモ、先程申シマシタ通りニ、中々買入レルコトガ出來ズ、註文致シマシテモ、何箇月經ッテ品物ノ受渡ガ出來ルカ分ラナイト云フヤウナ狀態ニアルノデゴザイマスシ、又他ノ品物モ大變上ッテ居リマスノデ、今ノ所デ業者ガ今ヨリ以上ノ勞銀ガ拂ヘナイト云フヤウナコトガ、結局原因ヲ致シテ居ル

ノデハナイカト思ヒマスノデ、御参考迄ニ申上ゲタ次第ゴザイマス

○森田委員長 本會議決採決ニ入ルサウデスカラ、暫時休憩致シマス

午後二時二十六分休憩

午後二時四十分開議

○森田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——山田政府委員

○山田政府委員 只今石炭輸送ニ對スル貨車ノ配給ノ不足ニ付テ、御質問ガアリマシタ、最近非常ニ輸送貨物が輻湊致シマシテ、御希望通り貨車ノ配給ノ出來ナイコトハ、吾々ノ非常ニ遺憾ト致シテ居ル所デアリマス、尙ホ石炭ニ對シマシテハ、石炭業者カラモ屢々陳情ヲ受ケテ居リマシテ、關係ノ鐵道局ニ其意味ヲ傳ヘマシテ、出來ルダケ輸送ニ努力スルヤウニ通知ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、何分御承知ノヤウニ、只今事變下デアリマシテ、色々鐵道トシテモ其他ニ輸送シナケレバナラス貨物がアリ、又貨車、機關車ナドヲ外地ニ轉出ヲシテ居ルヤウナ状態デアリマシテ、非常ニ其點ハ吾々トシテモ配給上苦心ヲ拂ッテ居ル點デゴザイマス、尙ホ來年度ニ於キマシテハ、此状態ニ鑑ミマシテ、只今御協賛ヲ願ッテ居リマスル豫算ノ中ニ、大體貨車ハ本年申請ヲ

致シマシタモノノ倍額ノ豫算ヲ要求シテ居リマシテ、例ヘバ石炭車ノ如キ、九州方面ニ於キマシテハ、來年度ハ五百五十輛増備ノ計畫デアリ、北海道方面ニ於キマシテハ百五十輛増備ノ計畫ヲ持ッテ居リマシテ、尙ホ其他線路、容量ノ擴張、或ハ停車場ノ配線ノ改良ト云フヤウニ、輸送能力ヲ擴大スル爲ニ色々計畫ヲ致シテ居リマス、以上御答ヲ致シマス

○松尾委員 一寸今ノコトニ付テ御尋ヲ致シマス、來年度五百五十輛増備ノコトニナッテ居リマスレバ、來年ハソレデ行ケルト思ヒマスルガ、本年度ハ此儘デゴザイマセウカ、其事ヲ承リタイト思ヒマス

○山田政府委員 本年度モ豫算トシテハ四百輛増備ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、今年度内ハモウ餘日モ少イ爲ニ、急ニ石炭專用ノ貨車ヲ増スト云フコトハ、恐ラク至難デアラウト思ヒマスカラ、現在ノ貨車繰リヲ出來ルダケ早くシマシテ、貨車ノ足ヲ早くシマシテ、輸送力ノ増加ヲ圖ルヨリ外ニ方法ガナイト存ジテ居リマス

○小金政府委員 石炭ノ増産計畫竝ニ其資材ニ付キマシテノ部分ヲ、私カラ御答申上ゲマス、石炭ノ増産計畫ハ、大體松尾サンガ既ニ御承知ノ通りデアリマシテ、世界的

ニ見マシテモ相當ナ増産率ヲ目標ト致シテ居リマス、現ニ昭和十一年ノ石炭ノ生産ノ狀況ヲ見マスト、内地デ約四千八百十萬噸ト云フモノヲ昭和十一年ニ生産シテ居リマス、之ヲ基準ニシテ毎年相當ナ増産ノ計畫ヲ、數年後ニ互ッテ立テ、居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテハ既ニ御案内ノヤウデアリマスカラ、又數字ハ申上ゲラレナイ筋合ニナッテ居リマスノデ、御容赦ヲ願ヒマスト致シマシテ、私共ノ方デハ相當地域別ニ互リマシテ、具體的ニ計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、例ヘバ九州、北海道、常磐、宇部、其他ト云フ風ニ分ケマシテ、昭和十三年度以降ノ石炭ノ生産額ノ見込ヲ付ケテ居ル次第デアリマス、ソレニ必要ナル色々準備モ併セテ進メツ、アリマス、御案内ノ通り、石炭ノ増産トロニ一言デ申シマスガ、之ニハ必要ナル人的要素、即チ技師、従業員ト云フヤウナモノガ極メテ大切デアリマシテ、之ニ付キマシテハ文部省竝ニ厚生省トノ關係ニ於キマシテ、具體的ニ必要ナル人員ニ付テ、ソレゾレノ施設ヲ講ジテ貰フヤウニ相當話ヲ進メテ居リマス、ソレカラ第二ノ問題ト思ヒマスガ、先程炭坑用ノ「レール」ガ不足シテ居ルノミナラズ、非常ニ値段モ上ッテ居ルト云フ御説デアリマシタ、尤デゴザイマ

シテ、單ニ石炭ヲ運ブ爲ノ「レール」ノミナラズ、炭坑ニ必要ナル所ノ坑木、ソレカラ採炭用ノ機械器具ト云フヤウナモノニ付キマシテモ、十分考慮ヲ拂ッテ進ミツ、アル譯デアリマス、是ハ鐵ノ方ノ増産計畫ニモ關聯致シマスコトデアリマスノデ、炭坑用ノ機械器具其他ノモノニ付キマシテハ、鐵ノ計畫ニ於キマシテモ十分考ヘル譯デアリマス、尙ホ石炭ノ増産ヲ唯漫然ト前年度ニ比シテ毎年何割ツ、増スト云フヤウナ數字デハナシニ、石炭ノ液化ヲ始メ、主ナル用途別ニ從ヒマシテ、其需要増加ノ趨勢ト今日ノ時局ニ對處シテ必要デアルトセラレ豫想ヲ、ソレノ相當檢討致シマシテ、此石炭増加ノ目標數字ヲ設定シタ次第デアリマス、只今坑木、「レール」等ニ付キマシテノ御尋ガアリマシタガ、此外ニモ炭坑デ使ヒマスル爆藥ト云フガ如キモノマデ、相當注意ヲ拂ッテ居ル譯デアリマス、尙ホ石炭ノ増産ヲ實行致シマスルニ當リマシテハ、得テ災害ガ伴ヒ易イノデアリマス、之ニ付キマシテハ先般來數回申上ゲマシタ通りニ、鑛山ノ監督ヲ嚴重ニ致シマシテ、其災害ヲ未然ニ防グ、豫防スルト云フヤウナ施設ヲ、十三年度ノ豫算ニ相當金額、計上致シテ居ル次第デアリマス

○松尾委員 商工省ノ方ニ於キマシテモ、

只今御答辯ヲ戴キマシタ通りニ、炭鑛方面ニ關スル非常ナ認識ヲ持ッテ戴キマシテ、洵ニ御配慮ニ與ッテ居ルコトハ能ク承知致シ

テ居リマスガ、尙ホ今拜聴致シマシテ大變喜ンデ居ル次第デアリマスガ、坑木等ハ地方ノ山デ伐出シマシテモ、大抵間ニ合ッテ居

ル譯デゴザイマスケレドモ、「レール」ハドウシテモ間ニ合ヒマセヌ、採掘ガ一日ニ三

寸カ五寸進ンデ行キマス所デアレバ「レール」ガ少々間ニ合ハナクテモ、山ヲ中止ス

ルトカ、何トカ云フヤウナコトニ迄ハ至ラヌノデゴザイマスガ、御承知デモゴザイマ

ス通りニ、炭鑛デハ一日ニ何間ト云フヤウナ進ミ方ヲ致シマス、ソレガ一箇處デナクテ、

澤山ノ箇處ニ依ッテ進マナケレバナラヌノデ、今日ノヤウナ風デハ、ドウシテモ「レール」ノ爲ニ減産ヲセネバナラストカ、中

止ヲセネバナラストカ云フヤウナコトニナリハセヌカト思フノデゴザイマス、尙ホ「レール」ヲ注文致シマス際ニ、商人ニ聞キマ

スレバ、商工省ノ認可ガナケレバ「レール」ヲ注文シテモ中々調ベラレナイ爲ニ、一度

東京ニ其書類ガ廻ッテ、其認可ノ書類ガ來デカラデナイトイケナイカラ、コンナニ暇ガ

取レルト云フコトヲ聞キマスガ、萬一是ガ

事實トシマスレバ、何トカ適當ナ方法ヲ以テ、早く造ラセテ戴ク方法ハ出來ナイカト

云フコトヲ、御尋シタイ次第デアリマス

○小金政府委員 「レール」ノ問題ニ付キマシテハ、相當考慮ハ拂ッテ居ルノデアリマ

スガ、何分用途ガ或ル方面ニ相當殖エテ居リマスノデ、鐵ノ需給、鐵鋼ノ需給ト云

フ方面デ、相當色々消費節約等ヲ行ハナケレバナラヌ状態ニ置カレテ居ルノデアリ

マス、唯或ル方面ノ使用ヲ相當制限シサヘスレバ、玆數年ノ間ニ鐵ノ増産計畫ト云フ

モノモ著々現レテ來テ、其ノ效果ガ出テ來ルト思ハレマスノデ、暫クノ御辛抱ヲ願ッテ

居ル次第デアリマスガ、今日ノ状態ニ於キマシテハ、鐵ノ消費ヲ實現センガ爲ノミナ

ラズ、鐵ノ市價ノ騰貴スルコトヲ抑制シナケレバナラスト云フ状態ニ置カレテ居リマ

スノデ、其間ノ關係ヲ考慮致シマシテ、商工省ニ鐵鋼統制協議會ト云フモノヲ最近作

リマシテ、サウシテ各用途別ニ依ッテ適當ナル割當ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマ

ス、ソコデ只今松尾サンカラノ實際ニ即シテノ御質問ノ趣旨ハ能ク分リマシタノデ、

サウ云フ協議會等ニ於キマシテ、鋼材ヲ配分スル際ニ出來ルダケ注意ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松尾委員 私ハ今ノ御答辯デ結構デスカ

ラ、ドウゾサウ云フ風ニ御願シタイと思ヒマス

○森田委員長 次ハ通告順ニ依ルト松木君デアリマスガ、松木君ガ居ラレマセヌ、ソ

コデ青山君ガ代ラレマスカ——野中君ニヤッテ貰ッテ宜シウゴザイマスガ

○青山委員 宜シウゴザイマス

○森田委員長 ソレデハ野中君

○野中委員 私ハ極メテ簡單ニ御質問申上

ゲタイト思ヒマス、元來此法律案自體ニ對シテハ、非常ニ賛成デアルバカリデナク、

土倉君ト同ジヤウナ工合ニ、モウ少シ積極的ニ爲スベキデハナイカト云フ意見ヲ持ッ

テ居リマスカラ、餘リ多クノ時間ヲ私ハ使ハナイ積リデゴザイマス、先ヅ最初ニ私ガ

御質問申上ゲタイト思フノハ、元來石油ヲ増産スル、是ハ日本ニ於キマシテハ最も必

要ナコトデアリ、寧ロ鐵ナドヨリモ以上ニ日本ノ國策トシテハ重要ニ考ヘラルベキコ

トデハナイカト思フ、サレバコソ政府ハ昨年ニ於キマシテ人造石油ニ關スル龐大ナル豫算ヲ提出シタ、是モ已ムヲ得ザルコトデ

アラウト思フ、サウシテ本年モ亦之ヲ出シタ、併ナガラ此法律案ノ骨子ト云フモノハ、過日栗山君ガ質問致シマシタ通り、結

局ハ生産ノ増加デアラウト思フ、ソレデア

ルカラ、吾々ハ生産増加ノ問題ニ關シマシテハ、全力ヲ擧ゲテ、有ユル智腦ヲ搾ッテ、

其目的ヲ達スルヤウナ工合ニシナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ生産ヲ増加セシム

ル方面ハ、一ハ人造石油ノ問題デアリ、一ハ天然石油ノ問題デアリマス、而シテ天然石

油ノ問題ニ關シマシテモ二ツニ分レテ居ル、即チ内地ノ石油ノ問題及ビ外地ノ石油ノ

問題デアリマス、此法律案ト云フモノハ、結局ニ於テ内地ノ石油ノ問題デアル、私共

ガ考慮スベキ別ノ問題トシテハ、内地ノ石油ノ問題ト云フモノモ、相當重大ナ問題デア

ルトハ思フ、併シ外地ノ石油ハ日本ノ法律ノ範圍内デアリマセヌ、サウ云フ點カ

ラ所謂商工省ノ行政トシテ、斯ウ云フコトガ爲サレルカドウカハ疑問デアルト思フノ

デアリマスガ、併シ商工省デモ多少ハ此點ニ對シテ御考ヘアッテ然ルベキデハナイカ

ト思フ、ソコデ私ハ此外地ノ問題ニ付キマシテ、二ツ三ツノ吾々ニ豫定サルベキ所ガ

アリマス、其各所ニ付テ御伺致シタイ思フ、一ハ現在北樺太ノ石油ノ問題デアル、此北

樺太ノ石油ハ、北樺太石油株式會社ガ開發ヲスルコトニナッテ居リマスガ、今日ニ於キ

マシテハ、色々都合ニ依リマシテ、殊ニ露

西亞ノ國內情勢ニ依リマシテ、其北樺太石油會社ノ事業ト云フモノガ頓挫、中止サレテ居ルヤウナ狀態デハナイカト思フ、此會社ニ於キマシテハ、例ヘバ「カタンダリ」ト云フ所ニ於キマシテハ、相當ノ石油ヲ採ッテ保存シテ居リマスガ、之ヲ運ブコトガ出來ナイ、ソコデ運ビマス際ニ——實ハ今カラ一寸前デゴザイマスガ、此石油ヲ運ブ鐵道ニ故障ヲ生ジタ、此故障ヲ中心トシ、機會ト爲シテ、露西亞ニ於キマシテハ、所謂監督課長、之ヲ本國ノ方ニ連レテ行ッデシマヒマシテ、未ダニ歸ヘシテ來ナイ、サウ云フ風ナ實情ノ爲ニ、只今北樺太ノ石油事業ノ開發スラモ本當ニ適正ニ行ハレテ居ナイ、是ハ私共頗ル遺憾ト思ヒマスガ、政府ハ此北樺太ノ石油ノ現狀ニ關シテ、何等カノ御考ヲ御持チニナッテ居リマスカ、積極的ニ露西亞ト交渉シテヤラウト云フ御決心ガアルカ、更ニ進ンデハ日本ノ國策トシテ、露西亞ガ如何ナル情勢デアッテモ積極的ニ、例ヘバ「カタンダリ」アタリノ石油ハ持ッテ來ルト云フダケノ決意ヲ、御持チニナッテ居リマスカ、ソレヲ御伺シタイト思ヒマス

○竹内政府委員 「ソ」聯ニ於ケル我が利權企業ノ現狀ニ付キマシテハ、大體御述ニナリマシヤウニ、極メテ憂慮スベキ狀態ニ

アルト思ヒマスガ、是ガ解決ハ専ラ外交交渉ニ依ラナケレバナラスノデアリマシテ、吾々當局ト致シマシテハ、外務省ト常ニ緊密ナ聯絡ヲ取ッテ、交渉ヲシテ貫ッテ居ルノデアリマス、外務省ニ於キマシテモ、從來モサウデアリマシタガ、又此議會ニ於ケル外務大臣ノ此問題ニ對スル度々ノ御答辯ニ依ッテ、承知致シテ居ル所ニ依リマシテモ、此問題ノ解決ハ極メテ重要ナ點ガアリマスノデ、今後トモ銳意此方面ノ解決ニ努力シテ貫ヘルモノト、私共ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○野中委員 勿論是ハ商工省ノ所謂行政ノ範圍内デハゴザイマセス、國策トシテ解決スベキ問題デアリマスガ、主トシテ主主張シテ行クノハ海軍省ナリ、商工省デアラウト思フ、サウ云フ點カラ積極的ニ此問題ニ對シテ、商工省ノ發動ヲ要求シマス、若シ露西亞ガ聽カナケレバ實力ヲ以テ之ヲ實施スル、若クハ輸送スルト云フ位ノ決心ヲ以テヤラナケレバイカヌト思フ、元來日本ノ外務省ハ生溫クテ、才殿様ノヤウナコトバカリヤッテ居ルノデ、常ニ外國カラ舐メラレテ居ルト云フ形跡ヲ間々吾々ハ見テ居ル、之ヲ默ッテ海軍省ナリ商工省ガ見テ居ルト云フコトハ、同様ノ責任ヲ持タナケレバナラスノデハナ

イカトモ考ヘル、ソレデアリマスカラ、ドウ云フヤウナ情勢デアラウトモ、總テ是ハ積極的ニ出テ、是カラ先ニ本當ニ日本ノ石油資源ヲ確保スルノダト云フ氣持ヲ以テ、進ンデ戴キタイト思ヒマス、是ハ意見デアリマスカラ、更ニ商工省ハ其積リデヤッテ貫ヒタイト云フコトダケヲ申上ゲマス、モウ一ツハ南洋ノ資源デアリマス、南洋ニモ「ボルネオ」、「スマトラ」方面ニ於テ相當ノ資源ガアリマス、此資源ハ例ヘバ、南洋興發會社或ハサウ云フ風ナ會社ニ委セテオイデニナッテ居ルヤウデアアル、南洋廳モ幾分ノ施設ヲ致シマシテ、若干ノ補助ハ計上サレテ居リマスケレドモ、是モ亦十分デアルトハ私共ハ考ヘナイ、是ハ海軍省モ若干ノ補助ヲ出シテ居リマスガ、ドウモマダ不十分デハナイカト思フ、ソレデアリマスカラ此「ボルネオ」、「スマトラ」方面ニ於ケル資源ノ開發、之ニ對シテ商工省ノ積極的ナル御發動ノ用意アリヤ否ヤ、之ヲ御伺致シタイ

○竹内政府委員 「ソ」聯以外ノ海外資源ノ調査ト云フコトニ付キマシテハ、十分デアリマセスケレドモ、從來モ相當助成ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シマシテハ海軍省、拓務省、商工省孰レモソレ／＼ノ方面ニ對スル調査、試掘費ノ助成ヲ致シテ居リ

マス、併シ是ハ只今ノ所デハ、決シテ十分トハ考ヘテ居リマセヌノデ、ドウシテモ海外資源ノ調査ニハ、更ニ一段ノ力ヲ盡サネバナラスト考ヘテ居リマス

○野中委員 サウアラネバナラスシ、アッデ貫ヒタイ、ソレカラモウ一ツノ所謂海外油田——油田ト申スベキ地域ト云フノハ、陝西山西ノ方面デアリマス、最近ノ新聞ニ依リマスルト、露西亞ハ新シク油田ヲ開發シタト云フコトガ言ハレテ居ル、是等ハ恐ラク未ダ知リ得ナカッタ所ニ、新シク油田ヲ得タノダラウト思フ、而モ其油田ハ非常ニ豐富ナモノデアッテ、亞米利加ノ「ロスアンゼルス」附近ノ石油坑ヲ負カス位ダト言ハレテ居ル、サウ云フ工合ニ新油田ノ發見ガアル、而モ其新油田ノ發見ト云フノハ、地層ノ關係カラ或ハ可能性ノアル所カラ、ソレガ出デ居リマス、ソコデ北支或ハ滿洲方面ニ於テ、地質ノ上ニ於ケル可能性ノアル所ハ、例ヘバ滿洲ニ於テハ熱河方面デアアル、ソレカラ北支方面ニ於テハ山西、陝西方面デアリマス、熱河省ハ陸軍ノ方ガ可ナリ滿鐵ノ調査隊ト共ニ調査致シマシタケレドモ、所謂有望ナル油田ノ開發ヲ見ルニ至ラナカッタ、勿論是ハ所謂試掘井戸ヲ掘ルト云フヤウナコトガナクテ、唯表面的ナ地質的

ナ調査デアリマシタカラ、或ハ有望ナ油田ノ發見ト云フコトガ、出來ナイノデハナイカト思ハレル、斯ウ云フモノハ若シ多少ノ資金ヲ投ジマシテ、本當ニ井戸ヲ掘ッテ行クナラバ、或ハ斯ウ云フ有望ナル地質上ノ所ニ於キマシテハ、思ヒノ外ニ油田ガ發見サレルノデハナイカト思フ、ソレデ今日午前中ニ於キマシテ町尻陸軍省政府委員ハ、滿洲及ビ北支方面ニ於テハ、積極的ナ行動ヲ取ルノダ、斯ウ云フヤウナ御言葉ヲ得マシタカラ、私共ハ可ナリ安心ヲ致シテ居リマス、併シ是モ陸軍ダケデハ私共十分デアルカドウカ、疑問ダト思フ、此石油ノ井戸ヲ掘ルト云フコトニ對シテハ、特殊ノ技術ガ要ル、是ハ決シテ一年二年ノ經驗ヲ以テ、井戸ヲ掘レルモノデハアリマセヌ、ソレカラ又地質ソレ自體ヲ研究スルニ當ッテモ、或ハ瀝青土デアルトカ、色々ノコトヲ研究スルニ當ッテモ、決シテ二三年ノ實驗ヲ以テ此方面ガ有望デアルカドウカト云フコトヲ、決定スル譯ニ行カナイ、サウ云フヤウナ關係デ、陸軍省ニ於キマシテハ、ソレノ權威者ハ居リマセウガ、所謂經驗家ト云フ者ガナイ、其經驗家ヲ能ク選拔ヲ致シマシテ、サウシテ調査隊ヲ作ルニアラザレバ、或ハ有望ナ所ニ參リマシテモ、中々發見スルコ

トガ出來スト云フ實情ニ到達スルカモ知レマセヌ、ソレデアリマスカラ是ハ要スルニ商工省ガ積極的ニ活動シナケレバイカスト思フ、ソコデ商工省ハサウ云フ風ナ方面ニ於テ、積極的ニ活動スル意思アリヤ否ヤ、アレバ來年度カ或ハ本年度ニ於テ、ソレヲ爲ス積リガアルカドウカ、御伺致シタイ

○竹内政府委員 液體燃料問題ニ關シマスコトハ、陸海軍省ト燃料局トガ、一ツノ目標ニ向ッテ進ム上ニ於キマシテ、其分野トカ或ハ權限トカ云フ問題ニ付テ、意見ノ上ニ於テ少シモ扞格ハナイノデアリマス、十分緊密ニ連絡ヲ取ッテ致シテ居リマス、隨テ北支ノ石油資源ノ探礦ト云フコトニ付キマシテモ、今朝ホド陸軍省ノ重大ナル關心ヲ持ッテ居ルト云フ答辯ガアリマシタガ、是ハ商工省ト陸軍省並ニ海軍省ノ三省ノ協議ニ依ッテ、具體化スルモノダト思フノデアリマス、私共ノ考ヘテ居リマス所デハ、マダ少シク治安ノ上ニ於キマシテ、完全デナイ部分ガアルヤウニ考ヘマスノデ、ソレ等ノ工作ト相俟ッテ、石油資源ノ探礦ニ力ヲ注ガナケレバナラスダラウト考ヘテ居リマス

○野中委員 ドウカ此點モ積極的ニ進ンデ戴キタイト思ヒマス、山西方面ニ於キマシテハ、私共ノ見ル所デハ、政府ニハマダ報

告ガナカッタサウデゴザイマスガ、現ニ井戸ヲ掘ッテ居ル、而モ「スタンダード」會社ガ掘ッテ居ル、斯ウ云フヤウナコトヲ私共ハ聞イテ居ル、是ハ恐ラク間違ナイコトダト思フ、而モ「スタンダード」會社ノ二年間ノ調査報告ニ依リマス、山西、陝西方面ニ於テハ、ソレ程ノ石油ハ出ナイト云フ報告ヲ齎ラシテ居リマス、併シ私ハ此報告ハ少シ與太ガアルノデハナイカト思フ、兎ニ角非常ニ美味シイモノガアル、美味シイ物デ人ニ食ハセタクナイト云フ場合ニ於キマシテハ、是ハ不味イト言ッテ報告シテ、食ッテシマッテカラ旨カッタ、斯ウ云フヤウナ報告ヲスルコトガ偶、アル、ソレデサウ云フ風ナ不味イモノデアレバ「スタンダード」會社ガ何モ自分デ手ヲ著ケル必要ハナイ、自分デ手ヲ著ケタト云フ事實ハ、私共ニ言ハセレバ相當ニ旨味ノアルモノデハナイカト思フ、ソレデアリマスカラ斯ウ云フ風ナ油田、斯ウ云フヤウナ場所ヲ能ク御調査ニナリマシテ、積極的ニヤッテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、政府トシテ現ニサウ云フ風ナ御話ヲシテ居リマスカラ、特ニ此問題ニ對シテノ事柄ハ申シマセヌ、續イテ液體燃料ノ増加ニ重要ナ役割ヲスルモノハ、人造石油ノ問題、或ハ純粹ノ無水「アルコール」ノ問題デアリ

マス、此無水「アルコール」ノ問題ハ、私ハマダ調査ガ出來テ居リマセヌカラ、申上ゲルコトハ出來ナイガ、人造石油ノ問題ニ關シマシテハ、今ノ模様ニ於テハ、政府ガ考ヘテ居ルヤウナ豫定ヲ超過シ、或ハ初メ決メテ居ルヤウナ數量ガ出來ルカドウカ、決メタ年度ニ於テ其數量ガ採レルカドウカト云フコトハ、非常ニ疑問ダト思フ、ナゼ疑問ダト云フト、第一ニ石炭ノ高價ニナツタコト、石炭ガ高價ニナツテ以來、石炭會社ト云フモノハ液體燃料ノ工場、或ハ液體燃料ニ消費サルベキ原料ノ提供ニモ、難色ガアルノデハナイカト思ハレル、勿論難色ガアツテハナラヌノデアルケレドモ、利ヲ追フニ賢イ鑛山業者ガ、ドウモ液體燃料ノ原料デアルベキ石炭ノ提供ヲ怠ルニアラザルナキヤト云フコトヲ、心配シテ居リマス、是ハ只今北海道ノ方面ニ於キマシテハ、大分北海道廳ガ積極的ニ働イテ居ル、サウシテ工場ニ對シ、或ハ鑛山業者ニ對シテ既定ノ計畫ニ依リマシテ説得シテ居ルニ拘ラズ、鑛山業者ハ其説得ニ應ジナイ、其結果トシマシテ大分豫定ガ御狂ヒニナツテ居ルノデハナイカト云フヤウナ情報ガ入ッテ居リマス、斯ウ云フヤウナ狀態デハ、去年折角巨大ノ國帑ヲ費シテ、人造石油ヲ作ルベクア

ノ法律案ヲ出シテ居リナガラ、所期ノ目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトハ、非常ニ疑問ダト思フ、之ニ對シテ政府ハドウ云フ風ナ御考ヲ持ッテ居リマスカ、若シ更ニ斯ウ云フヤウナ鑛山業者ガアリトスルナラバ、何等カ積極的、具體的ナ御考ヲ御持チニナッテ居リマスカドウカ、御伺シタイト思ヒマス

○竹内政府委員 石炭ノ値段ガ漸次昂騰スル傾向ニアルガ故ニ、人造石油ノ計畫ヲ躊躇シテ居ルノデハナイカト云フ點ニ對シマシテハ、サウ云フコトハ全然ナイト思ヒマス、又石炭工業者ガサウ云フ意味デ躊躇シテ居ルナラバ、之ヲ取締レト云フ御話デアリマスガ、是モ前段御答申上ゲタ通りデアリマシテ、其意味ニ於テ之ヲ取ルト云フヤウナ事態ハ、今日別段ナイト思ヒマス、唯サウ云フコトハアリマセスガ、併ナガラ人造石油ノ生産ヲ計畫通り進メテ行キマスコトハ、極メテ必要ナコトデアリマスカラ、十分其積リデ努力シテ行クコトニ致シマス

○野中委員 今ノ政府委員ノ御言葉デゴザイマスガ、實ハサウデナイ現實ガアルノデアリマス、政府ノ方トシテサウ云フ御報告ヲ、マダ受ケテ居ラスノダト思ヒマス、併シ現實ニ於キマシテハ、餘リ賛成ヲシナイト云フ事實ヲ見テ居リマス、ソレデアリマ

スカラ餘程注意シナケレバナラス、之ヲ行フニ當ッテ斷乎タル決意ヲ以テ當ラナケレバナラスト思ヒマス、ソレデ私共ハ或ハ北支、北滿方面ノ石炭ヲ以テ、之ニ代ヘルト云フコトハ出來得マセウガ、工場ノ工合ニ依ッテ決シテサウ云フコトモ、必ズシモ出來ルトハ明言ハ出來ヌト思ッテ居リマス、ソコデ工場ヲ造リ、ソコデ人造石油ヲ造ルト云フ時ニ當ッテハ、十分注意ヲシテ、若シ鑛山業者ニ今言ウタヤウナ事實ガアルトスレバ、斷乎トシテ之ヲヤル、時ニ依ッテハ鑛山ヲ政府ノ管理ニ移シテモヤルト云フヤウナ決意ヲ持タナケレバ、本當ノ燃料國策ト云フモノハ、行ヒ得ナイノデヤナイカト思ヒマス、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒマス

○竹内政府委員 前段申上ゲマシタ通りデアリマスガ、政府ノ人造石油ノ計畫遂行ニ對スル熱意ハ、當初ヨリモ決シテ劣ッテ居ル譯デハアリマセヌシ、殊ニ事變以來液體燃料ノ重要性ト云フコトハ、是ハ目ノ前ニ見テ必要ヲ感ジテ居ルコトデアリマスノデ、今朝モ御答シタ通り、出來ルナラ年度計畫モ縮メテデモ、所期ノ目的ヲ達成シタイト考ヘテ居リマス

○野中委員 政府ハ前ニ一言言ッテシマッタノデアリマスカラ、アトデ事實ヲ以テ致シ

マシテモ恐ラク變更ハ出來マスマイ、併シ私共ハ事實ヲ見テモ居ル、聞イテモ居ル、サウ云フヤウナコトデアリマスカラ、今ハ現實ノ問題トシマセヌデ、アルナラバ注意ヲスルト云フヤウニヤッテ貫ヒタイ、ソレカラ次ニ私共ガ考ヘナケレバナラスノハ、生産増加ト同ジヤウナ意味ニ於テ、石油資源ノ確保ト云フモノニ對シテ、大事ナモノハ消費節約デアリマス、併シ私ハ本會議ニ於キマシテモ言ウタ通り、此消費節約ヲ實行スルニ當ッテハ、國策ト照ラシテ見テ間違ヒノ

ナイヤウニヤッテ貫ハナケレバナラスト思フ、ソコデ御伺スルノハ政府ハ昨年ノ十二月ノ末ニ於キマシテ、鐵道省ノ布告ニ依リマシテ一割ノ節約ヲ慫慂シタ、ソシテ新車ヲ許サヌヤウナ意味合ノコトヲ言ッテ居ッタ、最近新聞ニ依リマス、政府ノ方デハ自家用自動車ニ對シテ四割、「タクシー」ニ對シテ三割、又貨物自動車ニ對シテ二割ト云フヤウナ節約ヲスルヤウニシテ、其爲ニ切符制度ヲ作ルニアラズヤト云フヤウナコトガ載ッテ居リマス、私ハ此處デ何トハナシニ疑問ガ起ラザルヲ得ナイ、是ハ一體ドウ云フ目的ヲ以テスウ云フコトヲナサルノデアラウカ、國際貸借ノ改善ノ爲ニスウ云フコトヲナサルノデアラウカ、他ニ目的ガ

アツテオヤリニナルノデアラウカ、若シ他ニ目的ガアルトスレバ其目的ニ對シテ教ヘテ戴キタイト思ヒマス

○竹内政府委員 ソレモ今朝御答申上ゲタト思ヒマスガ、十三年度ノ各種物資ノ需給計畫ヲ立テルニ付キマシテ、液體燃料ニ付キマシテモ軍需ノ供給ヲ確保スルト云フコトト同時ニ、國際收支ノ適合ヲ圖ルト云フ此二ツノ目的カラ、消費節約ト云フ必要ガ生ジテ來タ譯デアリマス

○野中委員 其國際收支ダケノ問題トスレバ、餘程考慮シナケレバナラスノデハナイカト思フ、現ニ今モ鐵道ノ政府委員ガ、鐵道省ニ於キマシテハ貨物ヤ客車ヲ殖ヤスト云フヤウナ御計畫ヲ持ッテ居ルト云フ、ソレナラバ日本ノ輸送上ニ於キマシテ、現在ニ於テハ輸送力ガ缺乏シテ居ルト見テモ宜イト思フ、サウ云フ輸送力ノ缺乏シテ居ル今日ニ於テ、更ニ消費節約ヲスルヤウニナッタナラバ、是ハ所謂業者ト云フモノハ或ハ衰ヘテ、遂ニ業者ヲ失ヒ、此輸送力モ更ニ減少スルノデハナイカト云フ結果ニ行カナケレバナラナイノデヤナイカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ此點ニ對シテ單ニ爲替ノ問題ダケデハ、此問題ハドウシテモ私ニハ諒承出來ナイ、爲替ノ關係デ

成程輸入ヲ幾分減少スレバ、ソレダケ利キマセウガ、日本ニ於テ輸送力ヲ良クシテ行ケバ、運賃ダケノ關係カラ對外輸出ノ可能性ヲ強カラシメ、輸出ヲ餘計ニスルコトニナレバ、却テ國際收支ノ關係ハ良クナルノデハナイカ、國策的ニ油ヲ減ラスナラバ、ソレデ日本ノ生産條件ガ良クナルトハ私ハ考ヘナイ、同時ニ爲替ノ關係ガ良クナルトモ思ハヌ、殊ニ是等ハ積極的ニ考ヘテ見テモ運賃ガ安クナル、運賃ガ安クナルトスレバ、海外ニ輸出スル品物ノ數ガ多クナルノデアリマスカラ、積極的ナ政策ヲ私共ハ希望シタイノデアリマスカ、斯様ナ御考ヲ御持チニナルカドウカ

○竹内政府委員 消費節約ノ目的ハ、先程申上ゲタ通りデゴザイマシテ、是モ度々御答シタノデアリマスカ、消費節約ニ依リマシテ産業上ニ對スル影響ヲ出來ルダケ少クシテ行カウ、最少限度ニ之ヲ喰ヒ止メルト云フ意味ニ於テハ、格段ノ注意ヲ拂ッテ居ル積リデアリマスコデ、御心配ニナルヤウナコトノナイヤウニ努力シツ、實施シテ行キタイト思ヒマス

○野中委員 努力シツ、實施スルト云フコトハ洵ニ結構ナコトデス、サウデナケレバナラヌガ、何シロ自家用四割、「タクシー」三

割、貨物自動車二割ト云コトハ、此業者、或ハ其仕事ニ對シテハ相當有力ナル阻害原因デアルト思フ、デアルカラ折角自動車業法ト云フモノヲ作ッテ、斯ウ云フ國產自動車ヲ獎勵シナガラ、逆ノ效果ヲ生ズルノデハナイカト思フ、更ニ又政府ノ施設ノ方トシテモ、是ガ四割、三割ノ節約ヲスルト云フ意向ヲ以テ行キマスモノデスカラ、成ベク新車ハ許サナイ、許可シナイノデハナイガ事實ニ於テ許可シナイト同ジヤウナ狀態ヲ取ル、例ヘバ車體ノ検査ナドハ請求シテモ中々シナイ、ソレデ二箇月モ三箇月モ四箇月モ後ラセル、マダ三箇月、四箇月デ出來ルナラバ宜イガ、半年、一年ニナルコトモアル、サウスルト結局此車體検査ヲ後ラセルト云フコトハ、日本ニ於ケル使用車臺數ヲ減少スル結果ニナルト思フノデ、是ハ餘程注意シナケレバナリマセヌ、之ニ對シテ私共ハ四割、三割、二割ト云フヤウナ節約ヲスルコトハ、私共ハ必要デハナイカト思フ位デアル、此「ガソリン」ノ節約ニ付テ、例ヘバ三割ノ節約トシテ、切符制度ニ依ルト、一自動車二百五十「ガロン」ヲ標準トスルラシイ、二百五十「ガロン」ト云フト一日八「ガロン」デアル、一日八「ガロン」トスルナラバ、通常ノ「ハイヤー」ナラバ宜シ

イガ、「タクシー」トシテ街ニ居ル業者ニハ容易ナラヌコトデアリマス、調べテ見マスト、此所謂「タクシー」ノ業者ト云フモノハ一日ニ晝夜交代ニシテ十四五「ガロン」使フ、少クトモ十二三「ガロン」使フ、此十二三「ガロン」使フ所ノタクシーノ業者ニ對シテ、僅ニ一月二百五十「ガロン」ト云フ風ナモノシカ與ヘナイトスレバ、是ハ或ル意味ニ於テハ其營業ノ禁止デアリ、又失業者ノ増加ト云フ結果ヲ齎ラストモ思ヒマスカラ、餘程斯ウ云フヤウナ消費節約ヲスル場合ニ於テハ他ノモノト睨合ハセテヤラナケレバイカヌ、同時ニ又ソレニ對スル多少ノ特例ト云フ風ナモノモ、認メテヤラナケレバナラスト考ヘマスガ、商工省ハドンナ氣持ヲ持ッテ居リマスカ

○竹内政府委員 油ノ節約ノ結果、民間ノ業者ニ對シテ非常ナ不自由ヲ掛ケルデアラウト云フコトニ付キマシテハ、今朝程モ縷々御答ヲ申上ゲタ通りデアリマシテ、決シテ之ニ依ッテ少シノ不自由モ掛ケナイト云フヤウナ風ニハ勿論考ヘテ居ラヌノデアリマス、而シテ斯ウ云フ問題ニ付テハ各方面ヲ能ク睨ンデヤラナケレバナラヌ、是モ全然御同感デアリマス、國力ノ綜合的ナ發展ト云フコトヲ考ヘナガラ、ヤッテ行カナケレバ

ナラスト思フノデアリマス、而シテ之ニ依テ與ヘラレマス所ノ不自由ト云フヤウナモノハ、例ヘバ經營ノ合理化トカ或ハ無駄ナモノガアリマスカラバ、サウ云フ無駄ヲ排除シテ行クト云フコトニ依リマシテ、只今御心配ニナッテ居ル程ノ影響ヲ與ヘズニ済マシタイト、折角努力シテ居ル次第デアリマス

○野中委員 サウアラネバナラスシ、アッテ戴キタイト思フノデスカ、事實問題トシテ政府ノ御期待通りニ行クカドウカ、非常ニ疑問ダト思フノデアリマス、ソレダカラ實施ニ當ッテハ能クソレヲ考ヘテ、萬間違ヒノナイヤウナ工合ニヤッテ戴キタイト思ヒマスソレカラ御伺シタイト思フノハ、今モ申上ゲテ居ッタノダガ、他ノ國策ト睨ミ合ハス一ツノ問題トシマシテ、所謂小型自動車、是ハ乗用モアルシ運送用モアリマス、是ナドハヤハリ消費節約ト云フ風ナ意味合カラ見ルナラバ、可ナリ重要ナル役目ヲスルノデハナイカト思フ、中ニハ之ニ反對ノ人モアルヤウデアリマスカ、併シ可ナリ重要ナル役目ヲスルノデハナイカト思フ、例ヘバ乗用ノ小型自動車ナドハ、アレデ運轉手ヲ入レテ四人乗レル、東京市内ニ於ケル「タクシー」ノ一車ノ乗車人數ヲ大體ニ於テ調べ

テ見マスルト、一・八人、詰り二人未滿デアル、サウスルト之ヲ輸送スルニ當ツテハ、小型自動車デモ足リルノデハナイカト云フコトニナル、ソコデ其小型自動車ト大型自動車ノ「ガソリン」ノ消費量ハ、大型デアリマサルナラバ一日ニ五「ガロン」デハ精々八十哩デオ終ヒニナルノデスガ、小型ニシマスルト百五十哩位ハ走レル、サウスルト約倍ニ近イ所ノ數字ガ得ラレマス、サウスルト例ヘバ大型自動車ニ代テ小型自動車ヲ運送用トシテ用ヒルコトニ依ツテ、既ニ五割

近イ「ガソリン」ノ消費量ノ節約ヲ得ルノデハナイカ、同ジ品物ヲ持ッテ行キ、同ジ人數ヲ運ブノニ對シテ、所謂五割ノ消費節約ヲスルノト同ジヤウナ結果ニナルノデハナイカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ他ノ國策ト睨ミ合セテ、消費節約ヲ圖ル上ニ於テ適切ナルモノガアルトスルナラバ、政府ハ之ヲ相當考慮シテ、或ハ時ニ獎勵シテ行カナケレバナラヌモノデハナイカト思ヒマス、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 成ベク油ヲ餘計消耗シナイ自動車ヲ使ハシテ行キタイト云フコトハ是ハ燃料問題ノ上カラ申シマスレバ、只今御説ノ通りダト思フノデアリマス、然ルニ他方自動車ト云フモノハ、是亦一ツノ重要

ナル軍需品デアリマス爲ニ、國防上役ニ立タヌヤウナ車バカリニナリマシテモ、是モ困ルダラウト思フノデアリマス、隨テ實際問題トシマシテハ、其兩者ノ要求ヲ滿シ得ルヤウナ適當ナル所ニ線ヲ引イテ行クト云フコトガ、實際ノヤリ方デナクテハナラヌ斯ウ云フヤウナ意味デ、只今陸軍省等ト折角協議ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス

○野中委員 國防上役ニ立タナイ車云々ト云フ御話ガアリマシタガ、役ニ立タナイト云フコトハ少シ私共ニハ腑ニ落チナイ、勿論大型ノ自動車モ必要デアルト同時ニ、時ニ依ツテハ小型ノ自動車モ必要デアル、例ヘバ北支方面ニ於ケル陸軍ノ色々活動ノ様子ヲ見テ居リマスルガ、必シモ大型自動車ダケデハナイヤウデアル、小型ナ貨物自動車ナリ乗用車ガ相當使ハレテ居ル、殊ニ北支方面ノヤウナ、アア云フ風ナ所ニ於キマシテハ道路ガナイ、大型自動車ハ迎モ運ベナイ、戰車ノヤウナ工合ニ無限軌道ノ車デモ著ケテ居レバ何處ニデモ走ッテ行クガ、通常ノ自動車ハ迎モ運ビ得ナイ、其道ニハ砂利モ敷イテ居ナイ、自然ノ土デアルカラ雨ガ降ルト大型自動車ハ没入シテ走レナイガ、小型自動車ハ簡單ニ走レル、斯ウ云フ

風デアリマシテ、必ズシモ小型自動車ガ國防

上益ノナイモノデハナイト思ヒマス、政府ニ用ガナイ武器デアルトスルナラバ、其點ハ考ヘ直シヲ願ヒタイ、同時ニ用ガアルトスレバ是モ國策ノ中ニ入レテ考ヘテ戴カナケレバナラヌ、勿論政府ハ小型自動車ニ對シテハ特別獎勵金ハ出シテ居リマセヌ、國產自動車ニ對シテハ相當ノ補助金ヲ出シテ居ルガ、小型自動車ニハ補助ハシテ居ナイ、小型自動車ハ政府ノ補助ガナクテスラ、一年ニ二萬臺トカ三萬臺ヲ造リツ、アリ、又販賣サレツ、アル狀態デアル、斯ク小型自動車ガ政府ノ獎勵ナクシテサヘ使ハレル事實ハ、民間ニ於ケル輸送ノ關係、又醫者等ガ職業的ニ使フ者ガ多イカラ、相當殖エテ行クノデアアル、是ハ決シテ私ハ等閑ニ附スベキ問題デハナイト思フ、而モ國防上用ヲナサスト云フヤウナコトハ容易ナラヌコトデアル、モウ一度……

○竹内政府委員 先程ノ用語ガ急ギ過ギデ足リマセヌデシタガ、國防上ノ要求ヲ十分ニ滿タシ得ナイト云フ風ニ訂正致シマス、其他ノ點ニ付テハ前段御答申上ゲタ通り、兩方ノ必要ヲ考慮シツ、實際ノ行政ヲヤッテ行キタイト思ヒマス

○野中委員 要求ヲ滿タシ得ナイト云フノデモ、マダ不十分ダ、ナゼナラ各自動車ニ依ッ

テ性能ガ違フ、目的トスル用途ニ依リマシテ自動車ノ車體ナリ、總テノモノガ違フノデアリマスカラ、一ツノ自動車ヲ以テ全部ノ國防上ノ要求ヲ滿タシ得ルコトハ、ドシナ自動車デモ出來ナイ、大キケレバ大キイデ弊害ガアリ、小サケレバ小サイデ弊害ガアル、是ハ要求ヲ滿タシ得ナイノデハナイ、國防上ノ要求ヲ一部分滿タシ得ルト云フ風ニ直シテ戴キタイト思フガ、如何デスカ

○竹内政府委員 國防上ドウ云フ車ガ要ルカ私カラ御答申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマス

○野中委員 私ハサウ云フコトヲ要求シテ居ルノデハナイ、ドウ云フ車ガ必要デアルカト云フコトヲ私ハ伺ッテ居ルノデハナイ、午前中ニ國防上下ウ云フモノガ必要デアルカ、ドウ云フノガ善イカ惡イカ能ク知リタイカラ調べテ貰ヒタイと言ウタ位デアリマス、陸陸省デスラ現在分ッテ居ラナイノニ、商工省デ御分リニナッテ居ルトハ思ハヌ、ソレ程ニ研究ガ進ンデ居ルトハ思ヒマセヌ、ソレデアリマスカラ、ソレヲ私ハ要求シテ居ルノデハアリマセヌ、要スルニ是デモ國防上滿タシ得ルコトハ事實デアル、ソレガ證據ニハ、現ニ北支方面ニ於テ軍ガ使ッテ居

ル、此現状ハ所謂要求ヲ滿タシ得タカラ使ッテ居ルノデハナイカト思フ、ソレデアリマスカラ、小型自動車ニシマシテモ、國防上ニ於テ全部ノ要求ハ滿タシ得ナイデモ幾分ノ要求ヲ滿タシ得ルモノデアリマスカラ、國防トシテノ要求ヲ滿タシ得ナイト云フ點ハ、一ツ御訂正シテ戴キタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマスカ

○竹内政府委員 御尋ノ點ガ初メテ分ッチャウナ氣ガ致シマスガ、小サナ車ハ國防上ノ要求ヲ滿タシ得ナイト私ガ斷定シタト御取リデアリマシタラ、ソレハ訂正ヲ致シマスガ、國防上ドウ云フ車ガ適切ナノカト云フコトハ、軍デナケレバ御答出來ナイト云フコトヲ、後デ申上ゲマシタコトニ依ッテ、實質的ニ訂正ヲシタ積リデゴザイマス

○野中委員 此問題モ商工省トシテハ、是カラ御考置キヲ願ヒタイト思フ、詰リ物ニ依ッテ、所ニ依ッテ多少ノ變化ガアル、是ハ已ムヲ得ザルモノデアル、例ヘバ杓子ヲ以テ耳搔キノ役ハ出來ナイ、併ナガラ耳搔キヲ以テ飯ヲ盛ルコトモ出來ナイ、物ニ依ッテ用途ガ違ヒ、物ニ依ッテ性質ガ違フ、ソレナドヲ能ク考ヘテ見テ、色々ナ方ニ工作ヲシナケレバナライノデハナイカト思フ、今申シタ通り小型ノ自動車ニシテモ、是ハ政府ノ

方カラ何等ノ恩惠モナケレバ獎勵モナイ、ソレデスカラ是ハ年々歳々二万ナリ三万ト云フヤウナ數量ガ、現ニ生産サレテ居ル、此現實カラ見テ相當日本ノ輸送力ノ關係ニ於テ重要ナル役割ヲシテ居ルノデハナイカト思ヒマス、ソレデアリマスカラ、是ハ唯單ニ大型ノ或ハ「トヨダ」ナリ「ニッサン」ナリト云フコトバカリヲ考ヘテ、是等ノ自動車行政ヲ定メテハイケナイノデハナイカト思ヒマス、寧ロ是ハ兩々各々ノ部分ヲ睨ミ合セテ見テ商工省トシテノ國策ヲ樹立シテ行カナケレバナライナイト思ヒマス、此點ニ對シテハ御注意ヲ拂ッテ欲シイト思フノデアリマス、商工省ハ是カラ先キ所謂考慮ノ中ニ入レマスカ入レマセスカ、御伺シタイト思ヒマス

○竹内政府委員 國防上ノコトニシマシテモ、産業上ノコトニシマシテモ、關聯スル所ハ廣イノデアリマスカラ、各般ノ事情ヲ考慮シテ行政ヲシテ行クベキモノナリト云フ御意見ト伺ヒマシテ、全然御同感デゴザイマス

○野中委員 色々マダゴザイマスケレドモ、私ハ根本的ナ問題ダケニ致シマシテ、外ノ問題ハ御聽キ致シマセヌ、要スルニ栗山君ナリ或ハ其他ノ諸君ガ、繰返シ〳〵申サレタ通り、日本ノ國策上ニ於テ最モ、欠缺シ

テ居ルコトハ燃料國策デハナイカト思フ、隨テ此燃料國策ヲ實行スルニ當ッテハ、政府ハ重大ナル決意ヲ以テ、而モ慎重ニ考慮シテ其方策ヲ練ッテ戴キタイト思ヒマス、ソレデ私ノ質問ハ此程度ニ致シテ置キマス

○森田委員長 次ハ長野君デス

○長野委員 第一ニ今回政府ハ十三年度カラ五箇年間ニ約一千三百十八萬圓程ヲ以テ二百四十本ノ井戸ヲ掘ル豫算ヲ計上サレテ居ルノデアリマス、サウスルト五箇年後ニ於テハ幾何ノ増産ヲ見ル御見込デアリマセウカ、又五箇年後ニ於ケル國防以外ノ石油ノ需要量ハ、ドレ位デアルト云フ御見當デアリマセウカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス

○竹内政府委員 此度ノ内地石油資源ノ開發計畫ニ付キマシテハ、二百四十本ノ井戸ヲ試掘シテ見ルト云フノガ眼目ナノデゴザイマス、ソレデ一本ノ井戸カラドノ位ノ油ガ出ルカト云フヤウナコトノ推定モ困難デゴザイマス、又掘リマシタ井戸ノ中ドレ位ノ井戸ガ油ヲ見付ケ得ルカト云フヤウナコトモ、政府ニ於テ確タル見當ヲ付ケ惡イ問題デアリマス、隨テ此試掘計畫ガ完了シタ曉ニ於テ、之ニ依ッテドレダケノ油ガ採レルノダト云フ推定ハ致シ兼ねテ居ルノデアリマス、ソレカラ今後ドレ位油ノ需要ガア

ルカト云フ御尋デアリマスガ、事變ト云フヤウナモノヲ考ヘズニ、從來ノ増加率等ヲ大體ノ標準ニシテ考ヘマス、人造石油計畫ヲ立テマシタ時ノ資料ニ依ッテ此際御答致シマスガ、揮發油ハ二百五十萬「キロ」位ノモノガ需要サレルノデハナイカ、重油ハソレヨリモ少シ多イ位ノモノガ需要サレルノデハナイカ、斯ウ云フ御答ヲ致シタイト思ヒマス、現在ノ需要量ガ非常ニ機微ナ關係ガアッデ申上ゲラレマセヌ爲ニ、隨テ四五年先キノ話デアリマスルガ、其推定ヲ申上ゲマスコトハ、結局現在ノ需要量ヲ想像サレルコトニナリマスノデ、其見當デ一ツ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長野委員 一本ガドレ位ノ増産ヲ爲スカ、又何本位當ルカト云フコトハ、困難デアルト云フコトデゴザイマスルガ、私ハ現在秋田縣ノ院內、雄物川等ニ於テ生産ヲシテ居ル實狀ヲ見テ、是デ大體推定スルコトガ出來ハセヌカト思ヒマス、勿論昨年六月以後ノコトハ、國防上其他ノ關係デ御發表ハ困難ト存ジマスガ、ソレ以前ノ一箇年間ニ於ケル兩油田ノ生産量ヲ見マスルト、二十二萬八千噸ト云フコトニナル、一油田ノ生産額ガ十一萬四千噸ニ相成ッデ居ルノデアリマス、ソレデ將來ノ計畫ヲ立テマスルニハ、

現在ノ實數ヲ基調トスルコトガ理ノ當然デ
ゴザイマス、隨ヒマシテ、現在ノコトハ勿
論御發表出來ナイ譯デアリマスルガ、極メ
テ最近ノ實數ヨリモ増加シテ行クト云フコ
トダケハ、間違ヒナイト私ハ思ヒマス、大
體ニ於テ増加シテ行クモノト見テ差支ナイ
ト思ヒマス、ソレデ一油田十一万四千噸ト
云フ數ヲ基調トシテ考ヘマスルナラバ、相
當ノ數ニナルト云フコトガ分ッテ來ルノデ
アリマス、ソレカラ本數ニ付キマシテハ、
最近九箇年間ニ二百二十万圓程ヲ投ジテ試
掘セラレタ所ノ成績ニ於テ、大體三十本
ニ一本ダケ石油ヲ突キ止メ得ルト云フコト
ハ、數字デ承認致シテ居ルノデゴザイマス、
隨ヒマシテ又此經驗ヲ以テ——實數ヲ以テ
將來ヲトシマスルト、大體茲ニ數量ガ出テ
來ハセヌカト思フノデアリマス、唯私ハソ
レニ依ッテ得マスル所ノ——例ヘバ其虺數
ニ於テ、又其本數ニ於テドレ位ニ見ルカト
云フ、其出來テ來タ實數ノ何割ヲ、先ヅ吾々
ハ推定スルカト云フコトニ於テ政府當局
ノ御見解ヲ御伺シテ居ル次第デアリマス、
私ハ是デ大體サウ差支ナイデヤナイカト思
ヒマスガ、如何デゴザイマス

○竹内政府委員 只今御話ノヤウニ、過去
ニ於テ何十本ノ中何本當ツタ、隨テ今後モ何

十本掘レバ何本當ルデアラウト云フコトガ
先ヅ一ツノ假定デアリマス、ソレカラ一本
ノ油田カラドノ位ノ油ガ出テ居ル、今後モ
サウデアラウ、其二ツノ前提ヲ置キマスレ
バ、アトハ算盤ヲヤリマスレバ出テ來ル譯
デアリマス、併シ商工省ノ現在ノ計畫ニ於
キマシテハ、サウ云フ數字ノ計算ハ致シテ
居リマセヌノデアリマス

○長野委員 私人考トシマシテハ、是ハ議
論ニナツテハナリマセヌカラ、其點ハ御含ミ
ヲ戴イテ置イテ宜シウゴザイマスガ、ドウ
シテモ將來ニ對スル計畫ヲ立テルニハ、空
漠タル基礎ノ上ニ立テルコトハ出來ヌノデ
ゴザイマシテ、過去、現在ニ於ケル實情ニ
立脚スルト云フコトガ必要デアル、唯ソレ
ニ依ッテ得タ數字ト云フモノヲ其通りコチラ
ガ斷定スルコトハ非常ニ不用意デアリマス
カラ、ソコデ或ハ其半分トカ其四割トカ、
或ハ二割六分ト云フ風ニ、出來ル限り確カ
ナ處ヲ少ク見積ッテ行ケバ誤ハナイト思ヒ
マス、ソコデ是ガドチラカト言ヘバ、數字
的ニ見マシテモ、又實際上ノ理論カラ申シ
マシテモ、是ハ當然履ムベキ方途ナリト思
ヒマスルガ、斯様ナ意味ニ於テ私ハ全體ノ
二割六分トカ——出來上ツタ數字ノ二割ト
カ、或ハ三割トカ云フモノヲ勘定シテ行ケ

バ、極メテ穩當ナ數字ガ出來ヘセヌカ、斯
ウ云フ風ニ考ヘマスガ、此上御尋シマシテ
モ一種ノ議論ニナツテシマヒマスカラ、敢テ
御尋ハ致シマセヌケレドモ、將來御計畫ヲ
セラレルニ付テハ、斯様ナ見方ヲ取ラレル
ノガ進歩シタ御考デハナイカ、空漠タル、
見當ナシニ、基礎ナシニ進マレルノハ甚ダ
不意デハナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘル
次第デアリマス、ソレカラ次ニ人造石油ノ
事業モ、ボツ／＼御取掛リニナリツ、アル
コトト存ジマスルガ、此五箇年後ニ於ケル
生産額ハ、凡ソドレ位デアルカ、國防其他
ノ關係上御差支ノナイ範圍ニ於テ、御説明
ヲ願ヒタイノデアリマス

○竹内政府委員 人造石油ノ計畫ハ、昭和
十七年度末ニ於キマシテ揮發油百万軒、重
油大體同ジ位ノ量、ト云フヤウナ所ヲ目標
ニシテ、計畫ヲ進メテ行ッテ居ル譯デアリマ
ス
○長野委員 ソコデ私ハ此二項目ニ對スル
御答辯ニ基キマシテ、第三ノ御尋ヲ申上ゲ
テ見タイト思ヒマス、ソレハ先程モ一寸觸
レマシタガ、過去九箇年間ニ於キマシテ二
百二十万圓程支出セラレテ、六十本或ハ八
十本程試掘セラレタノデアリマス、サウ
シテ雄物川ノ院內、八橋ノ二油田モ發見ヲ

シタ、サウスルト其數ガ三十本ニ一本トカ
或ハ政府御發表ノ如ク八十本デアッタラ四
十本ニ一本、斯ウ云フ譯ニナツテ來ルノデア
リマス、ソコデ政府ノ燃料國策ニ對シテ、
燃料國策研究會ガ政府ニ建議ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、昭和十二年十月頃デアリマ
シタカ、其建議ノ内容ヲ見マス、三億圓
ノ試掘費ヲ五箇年間ニ互ッテ出シテ、之ヲ實
行シタ場合ニ於テハ、百六十万噸ノ產油ガ
確ニアル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデア
リマス、私ハ此會ハ權威者ヲ以テ網羅シテ
居ルノデアリマシテ、専門的ニ觀テモ信用
ノ置キ得ルモノデアルト思ヒマス、其決議
ヲ見マシテ、更ニ最近私ハ同方面ノ油田ノ
實地ノ見學ヲ致シテ見、アチラノ當事者ノ
意見ナドモ詳細承ッテ見タノデゴザイマスガ、
之ニ依リマス、從來ノ掘當テマシタ試掘
ノ成績ニ依ッテ推シマス、五箇年後ニ五十
四箇所ノ油田ヲ得ルコトガ出來ル、一方雄物
川、院內ノ兩油田ノ生産額ガ二十二万八千
噸、一油田平均十一万四千噸故ニ五十四箇
所デハ六百十五万六千噸ヲ得ルト云フ數字
ニナツテ來ルノデアリマス、然ルニ此建議案ヲ
見マス、百六十万噸トナツテ居リマスカラ、
此六百餘万噸ノ二割六分ニ當ル數字ニナツテ
居ルノデアリマス、凡ソ數字程吾々ハ尊

ニ於テ何十本ノ中何本當ツタ、隨テ今後モ何

重シナクテハナラナイモノハナイト思ヒマス、而シテ此數字モ生産ノ事實ヲ基調トシタ數字程有リナモノハナイト思ヒマス、是ノ兩點ヲ綜合シテ考ヘテ見マスルト、此六百十五万六千噸ト云フモノハ相當尊重スベキ數字デアル、而モ其二割六分、約四分の一ヲ採テ居ルト云フ點ニ於テ、私ハ相當是ハ用意周到ノ計數デアルト考ヘルノデアリマス、就キマシテハ、私ハ此建議ノ内容ヲ見、又實地ニ油田地方ニテ當業者ノ説明ヲ聽キ、見聞致シマシタ結果ヲ綜合シテ、此意見ハ尊重スベキモノデアル、實地ニ當テ考慮スル程一層私ハ信奉シテ居ル次第デアリノデアリマス、之ニ對シテ當局ハドウ御考ニナリマスカ、率直ニ御答ヲ御願シマス

○竹内政府委員 今御述ニナリマシタ燃料國策研究會ノ建議案モ、私共極メテ注意深ク見マシテ、非常ニ石油資源ノ開發ノ爲ニ熱心ナ御主張デアルト認メマス、唯只今御述ニナリマシタ數字ノ問題ニ付キマシテハ、ドウ云フ根據ニ依ッテアノ研究會デ出サレタノデアルカ、十分ニ承知致シテ居ラナイノデアリマス、隨テ此處デ之ニ對スル意見ヲ申上ゲルコトハ出來マセス、唯政府ノ從來ノ試掘ノ成績等ニ鑑ミテ、尙又最近科學ノ進歩ニ

依リマシテ、地中ノ埋藏物ヲ探鑛スルト云フヤウナ方面ニモ、從來ヨリハ進歩致シタモノガアルト思ヒマスノデ、地質ノ精査ニ伴ヒマシテ、今日從來ヨリモモット獎勵ノ成績ハ良クナルノデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○森田委員長 商工大臣ニ出席ヲ求メラレタノガ板谷君ト篠原君デアリマス、商工大臣ガ御出マシニナッテ居リマスガ、長野サシ、商工大臣ニアリマスカ

○長野委員 アリマス

○森田委員長 ソレデハ商工大臣ニ對スル質疑ヲ先ニ御願致シマス

○長野委員 只今竹内燃料局長官ニ質問申上ゲマシタコトハ、商工大臣モ御聽取下サタコトト思ヒマスガ、私ハ商工大臣ヨリ今一度此問題ニ付テ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ昭和十一年七月カラ十二年六月マデノ一箇年間ニ、此數字ハ發表シテ差支ナイト思ヒマスガ、院内、八橋ニ於テ生産サレタモノガ二十二万八千噸其一箇所平均ハ十一万四千噸、此數字ヲ基礎ニシテ五年ノ後ニ五十四箇所ノ井戸ヲ掘當テタトシタ場合ニ於テ、六百十五万六千噸ヲ得ル譯デアリマス、其最小限度ト見ル四分ノ一ヲ出シマシテモ約百六十万噸ト云フコトニナル

ノデアリマス、就キマシテハ是ダケノ大キナ事業ヲ敢行スルト云フコトハ、最モ必要ナコトデアルト共ニ、又別ニ危惧ニ値スルコトデハナイト思フノデアリマス、大臣トシテハ如何ニ御考ニナリマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

○吉野國務大臣 數字上ノコトハ、只今政府委員カラ述ベマシタ通りニ、私モ的確ナコトハ御話ガ出來ナイト存ジマス、唯雄物川ノ油田ニ付キマシテモ、最近商工省ガ試掘獎勵金ヲ出シタコトダケヲ以テ考ヘレバ、今言ッテヤウナコトニナリマスケレドモ、是ハ沿革ヲ御承知デアラウト思ヒマスケレドモ、大體アノ油田ハ明治初年ニ一週ヤッタノデアリマス、ソレデ非常ナ損ヲシタノデス、サウ云フ色々ナコトヲヤッタ舉句ニ、ア、云フ所ニ來タノデアリマスカラ、石油油田ノ開發ト云フコトハ、ヤハリ同ジ地質狀態デアリマシテモ、例ヘバ今御示シニナリマシタ、商工省ガ始メテカラ昭和九年以來ノコトダケデ、三十本ニ一本ダナント言ウテモ、是ハ一寸危險ダラウト思ヒマス、ソレヲヤルニハ、ヤハリ地質上ノ調査モシナケレバナラスト思ッテ居リマス、併シ御話ノ通りニ兎モ角モ國內ノ油田ハ、出來ルダケ乏シイナガラモ是ハヤラナケレ

バナラスト思ヒマス、若シ色々ヤッタ上デ、今御話ノヤウナコトガ、モット確實性ヲ持ッテ來ルナラバ、政府ト致シマシテハ、其計畫ヲ改メルニ各カデハナイノデアリマス、其場合ニハ澤山ノ金ヲ出シテ、サウシテ出來ルダケノ油ヲ掘ル、斯ウ考ヘテ居リマス、今日マデノ所ニ於キマシテハ、色々金ノ關係モゴザイマスルシ、技術者ナドノ關係モゴザイマスルシ、油田ノ鑛床ノ調査ニシテモ何ニシテモ、技術ガ今日日進歩デゴザイマシテ、隨分新シイ技術ガ進ミツ、アルノデアリマスカラ、サウ云フヤウナコトニモ絶エズ注意ヲ拂ッテ居リマシテ、今其途上ナンデゴザイマスカラ、數字上ハドウカト云フコトニ付キマシテハ、何トモ申上ゲラレマセス、大體政府委員ノ言ハレタ通りデアリマスガ、御心持ハ餘リ私モ變ラナイ氣持ヲ持ッテ居リマス

○長野委員 只今ノ御説明ニ依リマス、地質調査ト云フコトガ必要デアル、是ハ洵ニ其通りダラウト思ヒマス、然ルニ私ハ、例ヘバ神奈川カラ千葉マデノ油田、是ハ總面積ガ十億坪ト覺エテ居リマスガ、サウ云フモノガアッテ、一方ニ於テ地質調査ガ出來テ居ナイ、詰リ泥棒ヲ捕ヘテ縄ヲ縛フト云フコトヲ言ヒマスケレドモ、其縄ヲ縛フ藁

が無い、斯ウ云フ状態デハ追付イタ話
デハナイノデアリマス、ソコデ縄が無い藁

モ無イト云フ場合ニハ手デ掴ムヨリ途ガ無
イ、今ヤ國際貸借ノ關係ヨリ見マシテモ、
又國防、交通、産業等ノ方ヨリ見マシテ

モ、石油ヲ増産スルト云フコトハ焦眉ノ急
務デアル、此焦眉ノ急デアルト云フ事實ニ

立脚シテ考ヘル時ニ於キマシテ、私ハ既ニ
露頭ハ相當ニ分ッテ居ルコトデアリマス

シ、現ニ政府ノ方デモ見込アル所ナラバ試
驗費全額ヲ交付シテ迄モ試掘ヲ命ズル程ノ

御意見デアアルノデアリマス、今日專問家
ノ話ヲ聽キマシテモ、實地ニ調査ヲ致シマ

シテモ、縄ヲ縛フ迄モナク、手デ掴ヘル程
ノ可能性ガアルノデアルト確信スルノデア

リマス、此意味ニ於テ私ハ此焦眉ノ急務デア
ル所ノ問題ニ付キマシテハ、神奈川、千葉

ト云フヤウナコトハ別ニシテ、秋田、青森、
北陸方面ノアル露頭ノアル確實ナリト認ム

ル地點ニ於キマシテハ、此際速ニ手ヲ加ヘ
テ試掘ヲ行ヒ、從來ハ三十本ニ一本デアッタ

ガ、二十本ニ一本、十本ニ一本ト云フヤウ
ニ成績ヲ擧ゲルヤウニ、特ニ御努力ヲ願フ

必要ガアリハセスカト考ヘルノデアリマス、
ソレニ付テ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○吉野國務大臣 大體御話ノ通りデ宜シイ

ト思ヒマス、出來ルダケノコトヲヤリタイ
ト思ッテ居リマス

○森田委員長 篠原君、商工大臣モ、臺灣
ノ政府委員モ來テ居ラレマスカラドウ

ジ……
○篠原委員 最初ニ簡單ニ商工大臣ニ御伺

致シマス、試掘ト云フノハ大體政府ガヤツタ
ラドウデアラウカト云フヤウナ氣持ガ致ス

ノデアリマス、今マデハ石油業者ガ金ヲ儲
ケテヤルト云フコトガ仕來リデアッテ、ソコ

ニ非常ナ困難ガアルノデヤナカラウカト思
フ、自分ノ會社ニ利益ガアレバヤル、ソレ

ヲ五十万圓損スルカモ知レナイト云フヤウ
ナモノヲ抱ヘテ、營利會社ニ之ヲヤラセル

ト云フコト自體ニ、今マデ無理ガアッタノ
デハナカラウカ、デアルカラ試掘ノ問題ハ

鑛區ニ關係ナシニ、政府ガ隨意ニ掘ッタラ
宜イト思フ、サウシテドノ鑛區ニ油ガアル

ト云フコトガ分ッタラ始メテ之ヲ鑛業者ニ
採油ヲシタラドウダ、モット掘ッタラドウダ

ト云フコトヲ言ヒ得ルノデヤナイカト思
フ、石油資源開發法ト云フヤウナモノヲ御

出シニナルコトモ洵ニ多トスル者デアリマ
スケレドモ、斯ウ云フコトデヤナシニ、モ

ウ少シ進ンダコトヲ御ヤリニナッタラド
ウカト思フ、國自體ガヤルト云フコトヲ決

メナイト、從來ノ井戸ニ依ル方法以上ニ研
究スルト云フヤウナコトハ、相當大キナ金ヲ

要シマセウカラ、多少外國ノ例ヲ見マシテ
モ、相當進ンダ仕事ヲヤルト云フコトニハ

大キナ金ガ掛ルト思ヒマスカラ、之ヲ援助
デヤルガ宜イカ、國自身デヤルガ宜イカ、

又人ノ養成モ國自身ガ政府事業トシテスル
時ニ人ノ養成ガ出來ル、又サウデナイト人

ヲ養成スルト云フコトニモ餘程困難ガアル
ヤウニ思ヒマス、第二ノ御説明ニアリマシ

タ地質調査ヲオヤリニナルト云フコト、是
モ結構デアリマスガ、學問的ニ言フナラ

バ、世界的ニ地質ト云フモノハドウ云フ所
ニドウ云フ油ガアルト云フコトガ分ッテ居

ルノデアリマスカラ、寧ロソレヲ何處ニ適
用スルカト云フ問題デアラウト思フ、私ハ

少シバカリ外地ヲ見テ歩キマシタ經驗ニ依
リマス、ト「ベンドボー」ハ七十二號井マデ

瓦斯モ油モ無い、ソレデ七十二號井マデ出
テ來タ、「クロアン」ガ三十六號井マデ油モ

ノ油ガ出テ來タ、「チエップ」ト云フ所ハ
十九號井ハ一日ニ六百瓩デアリマス、

私ガ行キマシタ時ニハ四十九號井ヲ
掘ッテ居ッタノデアリマスガ、十九號井

以降ハ「ノーガス・ノーオイル」、逆ニ

「ボルネオ」ノ方ハ產額ガ三分ノ二減リ「ス
マトラ」デハ三百六十五萬瓩ニナッテ居ル、

「ルーマニヤ」ニ行ッテ見マシタガ、從來ノ背
斜軸ト云フノハ全ク見當ラナイデ、今デハ

畑ナドヲ掘ッテ居ル、又「デキサス」ヲ見マシ
テモ、今ハ背斜軸ヲ使ッテ居ナイ、河ノ中モ

掘レバ、海ノ埋立地モ掘ッテ居リ、畑モ掘ッ
テ居ル、ソレデアリマスルカラ、結局油ヲ

掘當テル方法ハ、一方ハ學問、一方ハ技術的
ノ研究、一方ハ無茶苦茶ニ掘ル、所謂「ワイ

ルド・キヤテイシグ」デアアル、大キナ油田ノ
出タ沿革ヲ調べテ見マスルト、大抵財産ヲ

蕩盡シタ奴ガ初メテ油田ニ到達スルト云フ
コトデアリマスカラ、短イ年限ニ何百本掘ッ

タラ宜イカト云フコトハ無論言ヒ兼ネマセ
ウガ、ヤラナケレバ分ラナイコトデアルカ

ラ、茲ニ私ハ我國ノ實情ニ合セテ見マスル
ト、之ヲ國家的ノ良心ニ於テヤル會社ハ數

會社シカナイ、一面小サイ信用ノ乏シイ人
ガヤルト云フコトニナルト、上總掘、綱掘

ヲヤラナケレバナラス、ハ相當效果モア
リ掘當デタ例モアルノデアリマスガ、私ハ

日本ノ油ヲ突當テルノニハ、モウ少シ金ガ
儲カッタラオヤリナサイト云フコトデ行ク

ノモ普段ハ結構デアリマスガ、國自身が進
ンデ鑛區ノ制限ナシニ、何處デモ宜イカラ

掘ルト云フ考ニ依ッテ掘ルト云フコトト、一方デハ從來ノ技術ニ固定シナイデ、モウ一步進シテ、横ノ坑道ヲ掘ルトカ、或ハ「オイル・サンド」ヲ掛ケテヤルトカ、方法ハ色々アルドラウト思フ、私ハ單純ナル助成法ニ依ッテヤルト云フノニハ、既ニ今マデ餘リ手數ヲ掛ケ過ギテ居リハシナイカト思フ、進シテ國ガ鑛區ノ制限ナシニ經費ヲ構ハヌデ、一遍油ガアルカナイカ突止メル所マデオヤリニナツタラ如何デアリマセウ、前

ルカラ、是デナシニハ、日本ノ何處ニ油ガアルカラ政府ガ一遍探究ニナルト云フ態度ニ出ラレルコトガ必要デヤナイカ、之ニ依リマスト政府ノ使ッタ金ハ或ハ棒ニ振ルカモ知レマセウガ、之ニ依ッテ當レバ、國內經濟ノ發達ト同時ニ、必要ナ資源ノ獲得ニナルカラ、相當金ヲ使フダケノ理由ガアルノデナカラウカト思フノデアリマスガ、現大臣ハドウ云フ御見解デアリマスカ

無視シテ、出來ルダケ金ヲ使フト云フヤウナコトハドウカ、是モ一ツノ考ヘ方ダト思ヒマス、ソレカラ國營デヤッタラドウカト云フ御話デアリマスガ、是モ亦一ツノ考ヘ方ダラウト思フノデアリマス、併シスウ云フ問題ナラバサウ云フ御議論モ出マセウガ、又總テ國營デ事業ヲヤルト云フコト自體ニモヤハリ官僚的ニ流レ易イト云フ弊ガ伴フノデアリマス、殊ニ地下ノ鑛物ヲ開發スルト云フ場合ニハ、何時カドナタカラカ御話ガアリマシタ通り、ヤハリ前人未踏ノ場所ヲ危險ヲ冒シテヤッタ者ニハ、國ハソレ相當ニ償フノダ、斯ウ云フコトハ一ツノ企業ヲヤラセルトカ、或ハ資源ヲ開發スルト云フコトニ付テハ、一ツノ妙味ニナルデハナイカ、

宜イト云フ考ハ許サレナイと思ヒマス、ヤハリ相當ノ利潤ハ舉ゲルガ、國家的ニ國ガ統制スルノダ、斯ウ云フ經濟思想ト經濟方策ガ段々行ハレテ參ッテ居ル譯デアリマスカラ、私ハ民營、國營ト云フモノノ間ニハ、昔考ヘタ程ノ開キハナイと思フ、ヤハリ今ノ業者ニ對シマシテモ、私的企業デアッテモ國家的見地カラ、斯ウ云フヤウナ法律ニ依ッテ統ベルダケハ統ベル、其代リ之ニ對シテ補助ヲスルナラバ國營ニ代ル所ハナイ、ソレデ兩方折衷シテヤルト云フコトガ、現在ノ下ニ於キマシテハ適切ダト考ヘテ居リマスシ、御話ノ點ハ一ツノ考ヘ方デアルト云フコトハ、平生考ヘテ居リマス

商工大臣ハ何カ特別ナ會社ヲ拵ヘテヤッテ見ヨウ、ソレハ本法案三條ニアリマスヤウニ、助成シタ金ヲ一遍返シテ貰フ組織ニシテ、人造石油ノ會社程大キナモノデナクテモ宜イガ、政府ガ相當ノ資金ヲ投ジテ會社ヲ作り、循環的ニ入ッテ來ル金ヲ以テ鑛區ヲ掘ル、斯ウ云フ仕事ヲヤッテ見タイト云フ御話ガ、多分七十一議會デアリマシタカ、

○吉野國務大臣 御話ノヤウナ考ヘ方モ一ツノ考ヘ方ダラウト思ッテ居リマス、唯現在ノ技術、科學ノ知識ノ下ニ於テ、採算ヲ無視シテデモ國ガ出シテヤルナラバ、ソレダケノ效果ハアラウト思ヒマス、併シサウ致シマスト從來ヨリハ當ル歩合ガ少ナル譯デアリマスカラ、非常ニ金ヲ澤山食フ譯デアリマス、其事ヨリモ兎ニ角代用燃料工業ト云フ一ツノ新シイ方面ガ開ケテ參ッタノデアリマスカラ、若シ何億圓ト云フ金ヲ、

今御話ノヤウナコトヲヤリマス、ドウシテモ鑛業法ト云フモノ自體ノ根本觀念ヲ變ヘナケレバ、石油ニ關スル限り誰ガ見付ケテモ國ノ所有デアッテ、自由ニ國ガ皆ヤルノダト云フ根本ノ問題ニモ觸レル點ガゴザイマスノデ、其點ハドウカト思ヒマス、ソレカラ大體私ノ考ト致シマシテハ、國營、民營ト云フコトニ付テ非常ニ議論ヲ致サレルヤウデアリマスケレドモ、今日ハ、民營デアッテモ營利ノ追求ダケデ、金サヘ儲ケレバ

○篠原委員 私ノ申上ゲ方ガ惡カッタカモ知レマセウガ、鑛業法マデ變ヘルト云フヤウナコトハ私ハ考ヘテ居ナイ、今邪魔シテ居ルノハ鑛區ガ邪魔シテ居ルノダ、今「エー」ト云フ人ガ掘リタク思ッテモ、其鑛區ヲ持ッテ居ル人ガ外ニアレバ掘レナイ、又國ガ自由ニ掘ル代リニ現在鑛區ヲ掘ッタ人ガ持ッテ居レバ、ソレデ宜イノデ、鑛業權ノ方ハ掘鑛スルコトダケ、油ヲ求メルコトダケ國デアルト云フコトニナレバ、是ハ損スルニ決ッテ居リマセウガ、又大キナ利益ヲ得ルカモ知レマセウカラ、其點ハ私ハ觀念論デヤナイ

私ハ此案ヲ惡シト云フノデアリマセウ、此案ノ出來マシタコトハ洵ニ結構デアリマスガ、モウ一足進メテ、此案デ豫算關係ヲ進メルコトモ無論結構デアリマセウガ、是デヤリマス、他人ノ鑛區ヲ掘ルト云フコトハ出來マセウカラ、鑛區ヲ持ッタ人デナケレバ出來ナイ、斯ウ云フ譯デアリマス

結果ガ必シモ得ラレヌモノニ對シテ投資スルト云フコトヨリハ、モウ少シ安全ナコトヲ願フト云フコトガ、國防計畫ノ上カラ言ッテモ、財政計畫ノ上カラ言ッテモ當然デヤナイカ、殊ニ又滾レガアッテモ鑛物資源ハ後代ノ子孫ニ遺シテ置イテモ宜イト思ヒマス、此際此時色々財政上ノ都合ノアルノラ

結果ガ必シモ得ラレヌモノニ對シテ投資スルト云フコトヨリハ、モウ少シ安全ナコトヲ願フト云フコトガ、國防計畫ノ上カラ言ッテモ、財政計畫ノ上カラ言ッテモ當然デヤナイカ、殊ニ又滾レガアッテモ鑛物資源ハ後代ノ子孫ニ遺シテ置イテモ宜イト思ヒマス、此際此時色々財政上ノ都合ノアルノラ

結果ガ必シモ得ラレヌモノニ對シテ投資スルト云フコトヨリハ、モウ少シ安全ナコトヲ願フト云フコトガ、國防計畫ノ上カラ言ッテモ、財政計畫ノ上カラ言ッテモ當然デヤナイカ、殊ニ又滾レガアッテモ鑛物資源ハ後代ノ子孫ニ遺シテ置イテモ宜イト思ヒマス、此際此時色々財政上ノ都合ノアルノラ

ト思フ、モウ一ツハ一定ノ人ガ區切リヲシテ
鑛區ヲ持ッテ居テ、其人ガ頑張ッテ居リマス
カラ、外ノ人ガヤラウトシテモヤレナイト
云フ實例ヲ、臺灣ニ於テ見タノデアリマス、
サウ云フコトト俟チマシテ、一方デ仕事ニ
ナラヌヤウナコトニ對スル技術ハ進ム譯ガ
ナイ、ソレデアリマスカラ其點ダケハヤハ
リ政府ガサウ云フ形デヤルト云フコトデヤ
ラナケレバ、其點ノ技術ト云フモノハ生ジ
テ來ナイ、採算ヲ取ラシテヤッテ行クト云フ
コトモ一ツノ方法デアリマス、モウ一ツ地
質ノ調査ノ點ハ、御話ガアリマシタ二十七
萬圓デヤルト云フコトハ、石油ノ地質調査
ヲ新ニヤルノデゴザイマスガ、サウデナシ
ニ各國ノ石油ノ地質調査ト云フモノガアリ
マス、ソレニ對シテドウ云フ地方ガソレニ
該當スルカト云フコトヲ調べルダケデア
ナラ、私ハサウ大キナ金ト手間ヲ掛ケナイデ
モ出來ルヤウニ思ヒマスガ、如何デスカ

○吉野國務大臣 前段ノ點ハ、詰リ鑛業權
者カラ權利ヲ取ラナイデ、國ガ掘ッテヤッテ、
出タラバ只ヤルノダト云フナラバ、ソレハ
鑛業權者トシテハ願ツタリ叶ツタリデアラウ
ト思ヒマスケレドモ、ソコ迄ノ過當ナコト
ヲ權利者ニヤラナクテモ宜イト思ヒマス、
ヤハリ此程度ニ於テ邪魔スルモノハ其邪魔

ヲ取ルヤウニスルコトガ、私ハ公平ノ原則
カラ言ッテ宜イト考ヘテ居リマス、ソレカラ
地質ノ方ノ關係ハ、學者ノ石油油田ノ調査
ノ分布圖ト云フモノハアリマスケレドモ、
此分布圖ダケデ油ノ出テ來ナイコトハ勿論
デアリマス、ソレデ其地質ノ調査ト云フモ
ノハ、モウ少シ詳細ニドノ深サニアルカト
云フヤウナコトヲ見ルコトガ必要ナノデア
リマスカラ、ヤハリ相當ノ専門ノ技術者ヲ
シテ時ヲ藉シテヤラナケレバ、十分ナコト
ハ出來ナイト考ヘテ居リマス

○篠原委員 今ノ鑛區ヲ掘ッテ、アッタラ其
鑛業權者其モノニアルト云フコトヲ告ゲル
コトハ、斯ウ云フ必須ノ品物ヲ得ル際ニハ
私ハヤッテ宜イト思ヒマス、觀念上惡イコト
ハナイト思ヒマス、鑛業權ヲ「エー」ト云フ者
ニ與ヘテヤル、併シ其鑛物ガ果シテアルカ
ナイカト云フコトヲ本人ガ確カメル資力
ガナイ、或ハ又經濟的ニ割ガ合ハナイ、斯
ウ云ツタ情勢ニアル場合ニ、政府ガ確カメテ
掘ッテ、アルト云フコトガ分ツタ時ニハ、ソレ
ヲ鑛業權者ニヤルト云フコトハ不當ナコト
デハナイト思ヒマス、其爲ニ使ツタ金ガ其時ニ
初メテ取ルト云フ作用ガ働クノデ、此三條
ニアルヤウナ金ノ取り方ハ、私ハ妙ナモノ
デハナイカト思ヒマス、ソレデ利益ガ存シ

タナラ其金ヲ御返ヘシナサイト云フナラ宜
イト思ヒマスガ、利益ノ有無ハ問ハナイ
デ、五箇年間デ取ッテシマフ、利益ガアツタ
ナラ十年間取ッテモ宜イデハアリマセヌカ、
而シテ政府ガ使ツタナラ助成金ノ限度ナラ
助成金ノ限度デ宜シイデハアリマセヌカ、
ソレ以上ニ御取りニナルコトハ一ツノ「ス
ペキュレーション」デアリ、空想ノヤウニ
考ヘル、採油シテカラ五箇年間ハ唯總括的
ニヤレト仰シヤラズニ、利益ガ存シタラ五
箇年ト仰シヤラズデモ宜イ、其代リニ使ツタ
金デヤレト仰シヤレバ、公平デアラウト思
ヒマス、鑛業權者ノ場合モ同様デハナイカ
ト思ヒマス、政府ガヤッテ其鑛區ノ中ニ鑛物
ガアルト云フコトヲ確カメタラ、其金ヲ御
返シナサイ、其代リニ鑛區ノ中ノ品物ヲヤ
ルト云フコトハ不當デハナイ、無理ナコト
デハナイト思ヒマス

○吉野國務大臣 私ノ申上ゲタノハ、鑛業
權ト云フモノハ詰リ鑛物ヲ採掘スル爲ノ權
利デアリマス、一ツノ財産權デアリマス、
ソレヲヤラナイデ國ガヤルト云フノハ、一
切ノ權利全體ヲ國自體ガ取ッテヤッタ方ガ宜
イト思ヒマス、鑛業權ノ本質カラ言ッテモ
是ハ政府ガ持ッテ居ルノデハナイ、山ノ鑛物
ヲ開發スル權利デアリマスカラ、其權利ハ

其儘ニシテ國ガ横カラ出テ來テ、是ハ必要
ナモノダカラト云ッテ掘ッテ、出タ時ニハオ
前ノ方ノ權利ダト云フト云フコトハ鑛業
權、財産權ヲ認メタ一ツノ法律制度トシテ
考ヘル時ニ、現行鑛業法ニ對シテ重大ナ改
正ヲシナケレバナリマセヌ、此點ハ少ク
モ觀念ノ相違ダト思ヒマス、其處ハ見方ノ
違ヒカモ知レマセヌ

○篠原委員 其内容ガ段々豊富ニナツタナ
ラバ、國ニ依ッテ加ヘラレタ力ヲ返ヘシテ
來レバ、國モ損ヲシナイシ、本人モ不當ノ
利得デハナイデハアリマセヌカ

○吉野國務大臣 ソレデアリマスカラ、國
デ開發スルト云フコトハ、一ツノ考ヘ方ダ
ト申上ゲタノデアリマス、第二段デハ、詰
リアナタノ御議論デハ、權利ハ構ハズニ、
國ガ必要ガアレバヤレト仰シヤル

○篠原委員 試掘デス

○吉野國務大臣 ソレハ試掘權ト云フ權利
デアリマス、此試掘ハ鑛業權、試掘權ヲ持
タナケレバ出來ナイノガ現行鑛業法ノ制度
デス、ソレヲ構ハズニ國ガ必要ナモノデア
ルカラト云ッテ、人ノ權利、人ノ財産權ニ立
入ッテ、國家ト雖モ其財産權ノ處分モセズ、
權利ノ讓渡モシナイデ、ソレヲオ前ニ假ニ
ヤッタノダカラト云フコトハイカヌト思ヒ

マス、ソレハ法律制度トシテ、即チ鑛業法ノ根本ニ付テノ見方違フノダラウト思ヒマス、唯ソレダケノ意味デゴザイマス、併シソレハ國ガ全體トシテヤル方ガ宜イカト云フコトハ、一ツノ御考ヘ方デアッテ、其事ハ私ハ只今間違ッテ居ルトハ申上ゲマセヌ、唯財政上ノ考慮モアルシ、此方法デモ兩方ヲ折衷シタ方法ダカラ、宜シイデアラウト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○松山委員 一點御伺シタイノデアリマシマス、此法律直接ノ問題デハナイカモ知レマセヌ、液體燃料ノ問題、具體的ニ言ヘバ石炭液化ノ問題デアリマス、是ハ向フ七年間ニ非常ニ大キナ事ヲヤラナケレバナラスコトニナッテ、國家ノ將來ヲ之ニ託シナケレバナラス大事ナ工業デアリマスガ、ソレニ果シテ適當ナ技術家ガ居ルカト云フ問題デアリマス、私ハ今掛ッテ居ル人ガ不適當デアルトカト云フコトハ言ヒタクナイ、或ハ適當ナ人ガアッテモ必要ナダケノ數ガアルカト云フ問題モ考ヘテ貰ッテ宜シイダラウト思ヒマス、私ノ申スコトハ相當ニ權威アル方面カラ耳ニシタコトデアリマスカラ御參考ノ爲ニ申上ゲタイ、今商工大臣ガ責任ヲ負ッテ居ラレマス産金ノ問題モ、皆同ジコトダト思ヒマスガ、ドウシテモ技術家

ハ今後數ガ澤山要ル、一人カ二人デモ宜イガ、本當ニ天才的ノ偉イ人間ガ其中心ニ居ラナケレバナラス、藝術家ノ仲間デ濫費ノ中カラ傑作ガ現レルト云フガ、大勢人ガ居レバ其中カラ偉イ人ガ一人デモ二人デモ三人デモ出ル、數ガナケレバ例ヘバ許可ヲ急ニ殖ヤサウト思ッテモ、中々今ノヤウナ調子デハ急ニ許可スルコトガ出來ナイ、ソレデ事務ヲ運ブ、サウ云フ人ガ澤山要ルト云フコトモ必要ダシ、本當ニ偉イ人ガ二人デモ三人デモ宜シイガ、斯ウ云フ大事ナ仕事ニ付テハ天才ガ欲シイ、ソレガ今日アルナラ結構デアリマスシ、アッテモ其數ガ足ラスノナラ之ヲ殖ヤスコトヲ考ヘナケレバナラス、ドウシテモ人間ハ無駄ナ位ニ人間ヲ養成シ、拔擢シ、闊ヲ廢シテ貰ハナケレバナラス、斯ウ云フ特殊ノモノハ、役所デハ大抵大學出ハドウトカ、専門學校出ハドウトカ、普通ノ工業學校出ハドウトカ云フ階級ガアラウト思ヒマスカラ、サウ云フモノヲ排撃シテ、本當ニ天才ノ偉イ者ハゲンゲン用ヒルト云フコトモ、人ヲシテ奮發セシメル一ツノ方法ニナルダラウト思ヒマス、此點ハ大イニ注意ヲシテ戴キタイ、サウシナイト非常ニ金ヲ掛ケテ大仕掛ニヤッテ、ソレガ意外ニ好イ結果ヲ得ラレナイコトニナ

ルノデハナイカト云フコトヲ、私或ル人ト會ッテ話ヲシタコトガアルノデアリマスガ、此點ヲ特ニ注意シテ戴キタイ、若シ何カ其事ニ付テ御考ガアルナラ伺ヘレバ結構デアリマス、若シナケレバ御注意戴クダケデモ結構デス

○吉野國務大臣 私全ク同感デアリマス、精々御趣旨ニ副フヤウニ努メタイト思ヒマス

何處ヲ掘ッタナラバ出ルト云フ其探掘ノ場所ヲ突止メテ置クコトガ必要デアル、突止メテ置キサヘスレバ本年ハドレダケ、次ノ年ハ是ダケト適宜之ヲ調節探掘スルコトガ現ニ此法案ニモ規定シテアルノデアリマスカラ、適度ニ制限ヲ加ヘルコトハ出來マス、兎ニ角五十億坪ノ油田地帯ノ「石油タンクデアルト云フ風ナ觀念ヨリスルト、是非探掘箇所」ヲ突キ止メテ置クコトガ必要デアルト思ヒマス、ソレニ付キマシテハ只今ノ計畫ハ甚不徹底デ御話ニナラスト思ヒマスカラ、此一割ヲ二割、三割、出來レバ五割ト云フ風ニ増額スル意味ニ於テ、又御示ノ子孫ニ殘スト云フ慮リニ於テモ、此際探掘ノ場所ヲ突止メテ置クコトガ肝要デアルト試掘ト云フコトハ急務中ノ急務デハナイカト思ヒマス、就キマシテハモウ少シ思切ッタ探掘費ヲ支出セラル、ト云フコトガ必要デハナイカ、最近民間ノ斯種ノ事業ノ勃興傾向カラ鑑ミマス時ニ於テ、私ハ特ニ其感ヲ深クスル者デアリマス、モウ少シ思切ッタ劃期的ナ豫算ノ計上ヲ切實緊要ナリト思ヒマスガ、如何デセウカ

○長野委員 現在石油輸入量ガ國防以外ノ國內消費量ノ九割、國內生産ガ一割位ノ割合デアルト思ヒマスガ、之ヲ國際貸借關係、金ノ輸出問題ト云フコトカラ考ヘマシテ、又石油ノ國防上、交通産業上等ニ於ケル特異ナル重要性ト云フコトニ關シマシテモ、大局ヨリ見テ之ガ國內生産ノ増加ト云フコトハ焦眉ノ急務デアルト思ヒマス、其點ニ鑑ミマス時ニ於テ、段々商工大臣カラハ或ハ財政的ニ或ハ多少ハ子孫ニモ殘サナケレバナラナイト云フ御意見ヲ御述ニナッタノデアリマスガ、私ハ今日ノ國內生産ノ實情カラ見マス、地下ニ眠ッテ居ルモノナラバ之ヲ思切ッテ掘出スコトガ緊急ノ要務デヤナイカト思ヒマス、此點ニ就キマシテ考ヘル時ニ、政府トシマシテハ何シロ是ハアルカナイカハ分ラナイモノデスカラ、御話ノ通り

○吉野國務大臣 私モ大體同ジ考ナンデス、先刻言葉ガ少シ足りナカッタカモ知レマセヌガ、先刻篠原サンノ御尋ハ採算ハ構ハズニ

此際皆何處デモ國デヤッタドウカ、斯ウ云フ御話デアッタノデスカラ、其場合ニ詰リ石炭液化ノ問題モアルシ、色々考ヘマシテ適當ニ計畫ヲ立テタノダ、萬一殘リガアツテモ、ソレハ又後デ掘ツテモ宜イデヤナイカ

ト云フ意味ニ於テ申上ゲタノデアリマス、ソコニ私ノ申上ゲタ重點ハナイノデス、現在ニ於キマシテ、兎モ角御話ノ通り石油掘ト云フコトニ、モウ少シ力ヲ入レナケレバナラスト思ヒマス、ソレデアリマスカラ今度ノ豫算ハ豫算デアリマスケレドモ、十四年度以後ハ精々御趣旨ニ副フヤウニ奮發シテ石油ノ試掘ノ方ニ對シテモウ一段努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○長野委員 大臣ガ私ノ主張ヲ全幅的ニ御認メニナツタコトニ對シ、私ハ満足致シマス、ソコデ之ニ關聯シタ問題ガ起ツテ來ルノデアリマスガ、本年度ヨリモ更ニ明年度ニ力ヲ入レラレルト云フコトニナルト、鐵管トカ技術員ト申シマスカ、サウ云フ高程度ノ能力ヲ有スルモノヲ必要トスル、斯ウ云フ點ニ付テハドウ云フ考デアリマスカ

○吉野國務大臣 全ク御話ノ通りデアリマシテ、現在石油ヲ掘ツテ居ル會社ハ非常ニ少イノデゴザイマスカラ、其現場ノ係員ト云フモノニ付キマシテモ、現在ノ會社ヲ督

勵致シマシテ養成セシムルヤウニシナケレバナラスト、又鐵管ニ付キマシテモ出來ルダケ考ヘテ、國內デ生産ノ間ニ合フモノハ生産シテ事缺カナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○長野委員 此人の要素ニ付キマシテ、先般私が油田地方ニ參リマシテ調べタ所ニ依リマス、嘗テ技術者トシテ伍長格トシテ働キタリシ者ノ大部分ノ者ガ——練達堪能ナ素質ヲ持ツテ從事シテ居ッタ者ガ、一寸石油業ノ趨勢カラ致シマシテ取殘サレテ、商工漁業ト云フモノニ從事シテ居ル者ガアルサウデス、是ハ相當ノ數アリマシテ、其者ガ假ニ一名居ルトスルト其ノ下ニ働イテ居

タ熟練坑夫ガ澤山ニ居ル、サウ云フ者ヲ市井ノ間カラ動員シ召集スルコトガ出來ルト云フノデアリマス、ソレデ人的要素ニ付テハ明年度ニ於テハ相當劃期的ノ計畫ヲ立テマシテモ、事缺クコトハナイ、斯ウ云フコトヲ二三箇所デ私當ツテ見タガ申サル、ノデアリマス、又鐵管ノ方ニ付キマシテハ、先刻大藏省ノ爲替管理局長ノ方カラ御説明ガアリマシタガ、相當ノ輸入ガ出來ル、商工當局ト打合ハシテアルガ數量ハ重大ナ意味デ明示出來ナイト申サレタ、明示出來ナイトコトハ已ムヲ得ナイト思ヒマスガ、サウ云フ

コトデアッタノデゴザイマス、數量ガ既ニ明示ガ出來ナケレバ勢ヒ私ノ立論ハ出來ナイノデアリマスガ、一ニ頼ツテ商工大臣ノ今後ノ御努力ニ俟タナケレバナラスト譯ニナルノデアリマスガ、何分私ハ斯ウ云フ重要ナ資材デアリマスカラ、之ニ付テハ大藏當局ニ

モ十分ニ御折衝ニナリマシテ、明年度ヨリノ劃期的豫算ヲ立テラレル上ニ於テ、鐵管ノ輸入或ハ鐵管ノ製造トカ間ニ合ハナイカラ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマセヌヤウニ、今ノ中カラ一ツ十分ノ御用意ト御努力ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、此點如何デアリマスカ

○吉野國務大臣 全ク御説ノ通りデアリマス、サウ云フ風ニ懸命ニ努力スル積リデアリマス

○森田委員長 長野君ガ御濟ニナリマシタナラバ、ソレデハ川俣君ガ居リマセヌカラ篠原君ニ臺灣ノ方ヲ御濟マシヲ願ヒマス、臺灣ノ政府委員ガ御見エニナツテ居リマスカラ……

○篠原委員 簡單ニ御尋致シマス、一般會計ハドチラカト言ヘバ非常ニ不熱心デアリマス、又私ハ大臣ガ御見エニナツテカラ申ス積リデアリマスガ、大臣モ相當心配ヲシテ居ラレレデアリマセウガ、深甚ノ御心配

ヲシテ戴イタト云フノニハ、少シ輕イヤウニ私ハ思フ、之ニ反シマシテ臺灣ニ於キマシテハ早クカラ石油開發ノ爲ニ盡力ヲシテ戴キマスコトハ、非常ニ感謝致シマスガ、丁度一般會計ト同ジヤウニ、斯ウ云フヤウナ方法ヲ御採用ニナル御積リデアリマセウカ、實ハ石油資源法ト云フモノヲ惡ク申上

グルノデアアリマセヌガ、法律ヲ要スルヤウナ條項ガ甚ダ少イノデアリマシテ、三條ノ如キ或ハ九條、十條ノ如キ——九條ノ如キハ寧ろ是ハ總動員法ニモ反スルヤウナ條文ノヤウニ思ヒマス、又十條ハ政府ハ石油鑛業者ニ對シテ業務及ビ會計マデ監督スル、サウシマススト茲ニ大キナ會社ガアリマシ

テ、助成金ハ僅カシカ貫ヘナイケレドモ、會計ヲ監督スル、斯ウ言ツタヤウナ結果ニナルヤウナ風ニ條文ガ讀メルノデアリマスガ、何カ九條、十條ハ鑛油ノ資源開發等ノ規定デナイヤウニ思ヒマスガ、鑛油ノ資源開發法ノ規定ト云フモノハ、豫算ガアツテ助成スルト云フコトニ止マルノデアツテ、寧ろ何カ三條ノ規定ノヤウナモノガ重要デアアル、斯ウ言ツタヤウナ條文ヲ要スルノデ、其以外ノコトハ何モ要シナイノカモ知レマセヌ、或ハ此石油資源開發法ト云フヤウナ御考ヲ御持チニナツデモ、或ハ法律ガナクテモ出來ルカモ

知レマセヌガ、金ヲ返セト云フコトハ、補助ノ條項デモ出來ルノデハナイカト思ッテ居ル、又現在サウヤッテ居ラシヤルノデハナイカト思ヒマスガ、臺灣總督府ニ於テモ、斯ウ云フヤウナ資源開發法のノ法制ヲ御拵ヘニナル御考デアリマスガ、或ハサウデナシニ、現實的ニ御實施ニナル積リデアリマスガ

○森岡政府委員 臺灣ニ於テハ御承知ノ通り相當石油資源開發ニハ力ヲ致シテ居リマス、今回法制化サレマスルノト、略、内容ハ同ジヤウナコトヲ實際的ニ行ッテ參ッテ居リマシテ、補助ヲ致シテ居リマス、ソレニ對シテ石油ガ湧出シタ場合ニハ補助スルト云フヤウナ規定ヲ設ケテ居リマスガ、之ヲ法制化致シマスルコトハ、臺灣トシテ必要ト存ジマスルノデ、之ヲ法制化シテ成立シタ場合ニ之ニ順應致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○篠原委員 私ハ臺灣全體ノ産業ノ開發上ノ趨勢カラ見マシテ、既ニ農產品、米其他ノ穀類及ビ砂糖ノ獎勵等ハ幸ニシテ我國ノ需要ヲ充スノミナラズ、進ンデ輸出ノ機運ニアリ、或ハ國內需要ヲ十分満足サセル程度ニ迄到達シタコトハ、臺灣ノ統治トシテハ洵ニ結構ナコトデアッテ、慶賀ニ堪ヘナイ

ノデアリマス、殘ッテ居ルアトノ産業關係ヲ通覽シマス、臺灣ニ於テ石油ノ存在ガ確認セラレルカ否カト云フコトハ、單ニ臺灣ノ將來ニ對シテ光明ヲ與ヘルノミナラズ、我國國防並ニ輸出入ノ調整、其他關スル所甚ダ大デアリマス、又隨ヒマシテ帝國議會トシテモ之ヲ臺灣總督府ノ御獎勵ニ俟ツコト洵ニ深キモノアルト存ジマス、十三年度ニ於テモ相當増額サレタサウデアリマスガ十四年度以降ニ對シマシテモ、御方針ト併セテ御經綸ヲ承レバ幸ト存ジマス

○森岡政府委員 臺灣ノ石油ニ付キマシテハ、相當古イ歴史ヲ有ッテ居リマスガ、其資源開發ニハ色々例年相當費用ヲ使ッテ調査ラシ、又盡力シテ參リマシタ、殊ニ御承知ノ通り昭和十一年度カラ十二年度、十三年度ノ三年間引續キマシテ臺灣ニ於テハ、淺イ所ヨリモ深イ所ニ於テ、相當ナ深度ニ於テコソ石油ノ脈ガアルノデハナイカト云フコトカラ致シマシテ、此三年間ニ三千米以上ノ深度ヲ試掘ト云フコトヲ條件トシテ、約三百万圓モ補助ヲ計上シテ居ル次第デアリマスガ、尙ホ今日マダ十分ナ成績ヲ擧ゲテ居リマセヌ、併シ此試掘ニ依リマシテ、大體三千五百米地下ヘ試掘ヲ致シマシタ井戸モゴザイマスカラ、之ニ依ッテ地層ガハッ

キリト分リ得タノデアリマス、尙ホ十三年度ニ於キマシテモ、引續キソレモ繼續シテ三千米以上ノ深度ヲ試掘ヲ獎勵スルトニ致シテ居リマス、併シ一面曩ニ申上ゲマシタ如ク、臺灣ニ於キマシテハ二百米、三百米ト云フヤウナ淺イモノデナクシテ、相當ノ深サデハアリマスガ、千五百米内外ノモノデモ或ハ相當ノモノガアリ得ルノデハナイカト云フコトヲ考ヘマシテ、十三年度ニハ此中程度ノ深サノモノヲ試掘スルト云フコトヲ併セ行フコトニ致シマシテ、十三年度ニ於キマシテハ六ツノ井戸ニ六十萬圓ノ補助ヲ計上致シテ居リマスガ、十四年度以降ニ於キマシテハ、大體十箇所ノ井戸ニ百萬圓計上スルト云フコトニ致シマシテ、一面相當ノ深度ノモノト同時ニ、中途ノ深度ノモノヲ併セテ試掘シテ行クヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

○篠原委員 十四年度以降ヲ成ベク財源ノ許シマス範圍ニ於キマシテ、其援助ノ程度ヲ強化シテ戴クヤウニ希望シテ置キマスガ、天然瓦斯其他ニ付テノ御研究ノ經過ヲ承ルコトガ出來マスレバ幸ヒデアリマス

○森岡政府委員 是ハ石油ハ未ダ成績ヲ擧ゲテ居リマセヌガ、天然瓦斯ハ著シイ噴出

ガアリマシテ、確カナ數ハハッキリ致シマセヌガ、一昨年末位デ約八百億立方呎位ノ瓦斯ガ出テ居リマスガ、是ハ東京ノ瓦斯ノ使用カラ申シマシテ、東京市全體ノ瓦斯ノ使用ノ數箇年分位ニ當ル譯デアリマス、之ヲ徒ラニ發散致シマスルコトハ非常ニ惜シイ次第デアリマスノデ、總督府ニ於キマシテハ、天然瓦斯研究所ニ於キマシテ、是ノ研究ヲ致シテ居ル次第デアリマスガ、大體ニ於テ液化ト云フコトニ付キマシテ非常ニ力ヲ入レテ居リマス、併ナガラマダソレニ對シマシテ是ダケノ成績ヲ得マシタト云フコトヲ、實際的ニ申上ゲルマデノ時ニ達シテ居リマセヌガ、瓦斯ノ研究ハ相當成績ガ進ンデ居ルヤウニ聞イテ居リマス、一方此天然瓦斯ノ利用ハ、會社等ニ於キマシテ工業用及ビ家庭用ニ使ッテ居リマスノデ、是ハ相當利用サレテ居ル次第デアリマスガ、殊ニ熱度ガ高イ關係上、瓦斯、石油ト云フヤウナモノニ付キマシテ、之ヲ利用スルトハ非常ニ宜イノデ、其方面ニ相當進ミ得ルノデハナイカト思ッテ居リマス、又例ノ眞黒ノ粉末ナシカモアリマスガ、アレナドモ相當成績ヲ收メテ居リマス、現在ノ儘デモ天然瓦斯ノ利用ハ相當行ハレテ居リマスガ、併シ現在ノ儘ノ利用デ

ハ洵ニ不十分デアリマスノデ、研究所ニ於キマシテ十分ノ研究ヲ遂ゲマシテ、是非是ノ利用ヲ全ウシタイト存ジテ居リマスガ、唯今マデノ研究ダケデハ、尙ホ此處デ申上ゲル程ニハ參ッテ居リマセス

○篠原委員 何カ海軍ノ御方カラノ御話デハ、臺灣ニ於テノ天然瓦斯ノ水素轉化ノ方法ハ相當成功シテ、サウシテ液化スルコトニ結果付ケラレテ來タト云フヤウナ御話ガアツノデアリマスガ、アレハ現ニ電力ノ關係ノ方モサウ云フ考デ居ラレルヤウデスガ、ソレハ臺灣側ノ御研究デゴザイマスカ、海軍側ノ御研究デゴザイマスカ

○森岡政府委員 ソレハ海軍ノ研究所ノ問題デゴザイマシテ、私ノ今申上ゲマシタノハ總督府ノ天然瓦斯研究所ノ問題デゴザイマス、海軍ノ方ハ相當成績ヲ擧ゲラレタト云フコトヲ言ッテ居ラレテ、大體ソレノ研究ハ一應打切ルコトニシタト云フヤウナコトモ伺ッテ居リマス

○篠原委員 石油ノ掘鑿ノ方法及ビ地質調査、併セマシテ天然瓦斯ノ研究、天然瓦斯ノ液化等、將來ノ問題ヲ考ヘマス、臺灣總督府ニ負フ所ノ使命ガ洵ニ大キイト思ヒマスカラ、切ニ豫算關係ノ御配慮ヲ希望シテ置キマス

○森田委員長 長野君

○長野委員 天然石油關係ノ税金ニ關シマシテ、御尋ラシテ見タイト思ヒマス、御承知ノ通り石油ノ生産ト云フコトニハ相當ノ危險モ伴ヒマスシ、隨テ此企業ヲ促進スルト云フコトニ付キマシテハ、税金ニ付キテ相當考慮シナケレバナラヌ問題ガアルト思ヒマス、ソレデ現在人造石油等ニ付テノ税金ニハ、相當徹底的ナ手心ガ加ヘラレテ居ルト存ジマスルガ、天然石油ニ於キマシテモ度々申上ゲマシタヤウニ、外國ヨリ數億圓ヲ購入シテ居ル事實ニ鑑ミマシテモ、是非其是ノ輸入ヲ防グ意味ニ於テモ是ガ増産ヲ圖ラナケレバナラヌシ、増産シタ事自體ガ直チニ金ノ輸出ヲソレダケ抑ヘ付ケタコトニナルノデゴザイマシテ、是等ノ點カラ考ヘマス、海軍ノ方ハ相當成績ヲ擧ゲラレタト云フコトヲ言ッテ居ラレテ、大體ソレノ研究ハ一應打切ルコトニシタト云フヤウナコトモ伺ッテ居リマス

○竹内政府委員 只今ノ税ノ問題ニ付キマシテ私ガ御答ヲ申上ゲルノモ如何カト思ヒ

マスガ、産業官廳トシテノ考ヘ方ヲ一應申上ゲマス、結局天然石油ニ付テノ税ト云フコトデアリマス、鑛區税、鑛産税ガ其主ナルモノトシテ今御尋ニナツタコトト思ヒマス、人造石油ノ方ニハ色々免除ガアルガト、比較シテノ御話デゴザイマシタガ、人造石油ノ方ハ技術上其他色々困難ノ點ガアリマシテ、中々當初ハ採算ガ取り惡イト思フノデアリマス、其意味ニ於テ成ベク採算ノ取レルヤウニスル爲ニ、事業ノ經營ヲ容易ニナラシムル爲ニ、一定期間税ヲ免除シタノデアリマス、天然石油ニ付キマシテハ、一ツノ井戸ヲ試掘致シマスノニ相當多額ノ金ヲ要シマスノデ、之ニ對シテ政府ハ三分ノ二ヲ助成シ、又場合ニ依ッテハ全額ノ補助モ與ヘルト云フ風ニ、試掘ニ付キマシテハ政府ニ於テ大イニ助成ヲシナケレバナリマセヌシ、又之ニ努メル積リデアルト云フコトハ、先程來大臣ガ御答申上ゲタ通りデアリマスガ、發見サレタ油ヲ採掘スルト云フコトニナリマシテ、ソレモ税金ヲ免除シテヤラナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ人造石油ト比較シテ言フベキモノデハナイト、實ハ斯様ニ考ヘテ居リマス、併ナガラ石油鑛業ノ最モ重要ナ點ニ鑑ミマシテ、會社ガ成ベク利益ヲ澤山擧ゲテ、サウシテ

資力ニ餘裕ガ出來テ、ドン／＼試掘ヲヤツテ行クト云フヤウナコトヲ希望シマスコトニ於キマシテハ、恐ラク長野委員ト私ハサウ違ヒハナイダラウト思ヒマス

○長野委員 會社ノ利益増大ニ付テハ私ノ意見ニ大分近い御考ヲ持ッテ居ラレルノデアリマスガ、此課税ノ問題ハドウカ一ツ商工省ニ於カレマシテモ大藏省ト連絡ノ下ニ、今後十分ニ御研究ヲ願ヒマス、何シロ今日ノ石油事業ハマダ嫩葉ノ時代デアリ、極メテ幼稚ナ時代アルト云フ點ニ一ツ御勘考ヲ願ヒマシテ、之ヲ十分ニ養育スル意味ニ於テ、育テ、行ク意味ニ於テ、徹底的ニ撤廢方御考慮ヲ御願シタイト云フコトヲ申上ゲマス、最後ニ私ハ一言希望ヲ申上ゲタイノデアリマスガ、先般來大臣竝ニ燃料局長官ノ御親切ナ御答辯ニ依リマス、政府ハ相當今後積極的ニ此事業ノ促進ニ當ラレルモノデアルト云フコトヲ諒承スルコトガ出來タノデアリマス、唯問題ハ私共ノ考ヘテ居ル所ト當局ノ御考ニナツテ居ル所トガ、ドレダケノ差ガアルカト云フコトデゴザイマスガ、遺憾ナガラハ是ハ數字等ノ上ニ於テ御明示ガ出來ナイ事情モアルト云フコトデアラカラ此點ニ付テ私ハ十分ニハッキリシタ觀念ヲ私ノ頭ニ感取スルコトガ出來ナカッタコ

トヲ遺憾ト致シマスルガ、併シ私共ハ今日ノ國情ニ對スル私共ノ純真ナル觀念ヨリ致シマシテ、是非共石油採掘ニハ劃期的ノ施設ヲセラル、必要ガアルト思フ、ソレデ先ヅ第一ニ試掘ノ點、即チ採掘ノ箇所ヲ突止メルト云フ點ニ付テ、抜本的ナ飛躍の計畫ヲ樹テテ戴キタイ、ソレカラ更ニソレヲ實行スル上ニ重要ナ條件トシテ、人的問題ニ付テハ是亦現在市井ニ存在シテ居ル人ヲ動員スルト云フコトハ、勿論ノコトデアリマスガ、更ニ進ンデ之ヲ新ニ養成ヲスルト云フコトニ御力ヲ注ガレルト共ニ進ンデ鐵管鋼管等ハ尙ホ五倍ノ増産ヲスル能力ガアル、是ハ各方面ノ調査ヨリ歸納シタ私共ノ數字ガアリマス、恐ラク是ハ間違ヒガナイと思フ位割引シタ數字デゴザイマス、五倍ハ大丈夫アル、隨ヒマシテ此人的物的ノ設備ニ付キマシテハ、何等憂慮セラル、コトハナイト思ヒマスカラ、何卒私共ノ希望トシテハ本議會ニ於テ、出來レバ追加豫算ヲ以テ此欄頭焦眉ノ問題ヲ解決スベク百歩ヲ進メラレコトハ勿論ノコトデアリマスガ、更ニ來年度ニ於テハ積極的ニ、劃期的、飛躍的計畫ヲ御樹テ下サランコトヲ切望致シマシテ、當局ノ御意見ヲ伺フ次第デアリマス

○竹内政府委員 昭和十三年度ノ追加豫算

ノ追加豫算トシテ出ス考ガアルカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、私カラ申上ゲマスノニハ餘リニ問題ガ政治的デアリマシテ、如何カト思ヒマスガ、事務的ニ考ヘマス、是ハ中々困難デアラウト思ヒマス、又助成金ノミ殖エマシテモ、中々試掘事業ト云フモノハ、サウ簡單ニ行カヌデヤナイカ、是ハ少シ事務的過ぎマスケレドモ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、其以外ノ點ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリマシタ意見ニ全然御同感デアルコトヲ附加ヘテ申上ゲマス

○長野委員 事務的ニ御覽ニナッテ困難ト仰セラレタガ、サウ云フヤウナコトハ否定モ何モ致シマセス、ケレドモ此際ニ於キマシテハ餘リ事務ニ囚ハレズニ、鹽枝大葉ト申シマスガ、詰リ斯ウ云フ劃期的ナ問題ノ解決ニ付テハ、大局的ニ見ルヲ要スル、鹽枝大葉のニ決メマシテ、サウシテ細カナ分ハ後カラ肉ヲ附ケ、血液ヲ通ハセルト云フヤウナ式ニ行カレコトガ、是ガ即チ劃期的問題ノ解決ニ處スルノ要訣デアナイカト思ヒマス、洵ニ長官トセラレマシテハ事務ノ範圍ヲ出ラレスノハ或ハ御當然ノ御答辯カモ知レマセヌガ、ドウカ此意味ヲ上局ニモ御傳ヘ下サイマシテ、何レ此委員會カラモ場合ニ依ッテ

ハ適當ノ方法ニ依ッテ希望セラル、コトモアルカト思ハレマス、ソレ程今日ノ時局ハ此石油問題解決ヲ要求シテ居リマスカラ、ドウカ一ツ一面ニ於テハ鹽枝大葉的ニ、政治的ニ之ヲ解決スルコトニ向ッテ、現ニ事務ニ當ラレテ居リマス長官ノ方カラモ、特ニ御考究ヲ願ッテ、上局ヲ動かセラレンコトヲ切ニ御願スル次第デアリマス、之ヲ以テ終リマス

○森田委員長 次ハ社會大衆黨ノ川俣君デアリマスガ、居ラレスヤウデアリマスカラ、民政黨ノ山田清君

○山田(清)委員 私ハ色々質問シタイト實ハ澤山準備ヲ致シテ參リマシタ所ガ、モウ殆ド先輩同僚ニ依ッテ質問ノ要旨ハ盡サレテ、後ニ殘ル所ハ討論ノ問題ダケデアリマス、デアリマスカラ、モウアト道家君或ハモウ一人位質問シテ終ルト思ヒマスカラ、私ノ意見ハ討論ノ際ニ申述ベルコトニシテ、私ノ質問ハ打切りマス

○森田委員長 民政黨ノ松尾君デアリマシテ、私ノ質問ハ打切りマス

○道家委員 私ハツイ外ノ委員會ニ居ッタモノデスカラ、私ノ質問ハ或ハ重複スルカモ知レマセヌガ、簡單ニ一寸伺ヒタイト思

ヒマス、ソレハ日本ノ液體燃料ノ政策デスガ、是ハ重要ナルコトハ言フ迄モナイ、相當ニ前カラ聲ガ出テ居リマシタケレドモ、ドウモ一向進捗シテ居リマセス、最近ヤット燃料局ガ出來テ色々計畫シテ居ルガ、ドウモ其間ノ統合連絡ガ缺ケテ居ルヤウニ思フノデアリマス、石油ノ増産計畫ニ付キマシテモ、綜合的ノモノガ果シテアルカドウカ、多少私ハ疑問ダと思フノデアリマスガ、大體日本ノ消費ニ對シテ、海軍モヤッテ居ルヤウデアリマスガ、海軍ト商工省デドウ云フ政策ヲ大體採ラレテ居ルカ、ドウ云フ生産ノ御見込デアルカ、御差支ナケレバ承リタイ、ソレハ御承知ノ通り、日本ノ生産ハ樺太ヲ入レマシテモ一割五分内外シカナイヤウナ狀態デアッテ、十萬軒内外不足ヲ生ジテ居ルヤウニ私ハ承知シテ居ルノデアリマスガ、臺灣ノ糖蜜デアルトカ、薩摩芋カラ「アルコール」ヲ採ルトカ、或ハ石炭ノ低溫乾溜トカ、臺灣ノ天然瓦斯トカ云フヤウナモノデ補ッテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、其間ノ増産計畫ヲ差支ナイ程度デ大體綜合的ノ御説明ヲ簡單ニ願ヒタイト思ヒマス

○竹内政府委員 前回竝ニ前々回以來只今御尋ノヤウナコトヲ中心ニシテ、可ナリ問

答ガ實ハ繰返サレテ居リマスカラ、成ベク要領良ク御答ヲ致シテ見タイト思ヒマス、只今仰セノ如ク、日本ノ天然石油資源ハ極メテ乏シノデアリマス、隨テ此年々殖エテ行ク需要ニ應ジテ行ク爲ニハ、餘程決心ヲシテ實ハ掛ラナケレバナライノデアリマス、幸ヒ石炭ガ比較的ニ豊富デアリマスノデ、之ヲ原料トスル人造石油製造計畫ヲ

○竹内政府委員 只今ノ計畫デハ、アトノ半分ハ之ヲ外國ノ輸入ニ仰グト云フ計畫デアリマス

石炭ヲ使ッテ行クヤウニシタイト云フノデ、北支ノ炭ヲ色々是カラ調査シナケレバナラスト考ヘテ居リマス

府ハ果シテ天然資源ノ開發ニ全力ヲ注ガレルノカ、人造石油ニ注ガレルノカ、ドウモ方針ガハッキリシナイ、ソレハドチラヲ採ッテキラッシャルノデスカ

○道家委員 今ノ御計畫ノ中ニハ北支ノ石炭開發、最近四箇年計畫デヤラレルト云フコトヲ聞キマシタガ、大同炭ノ液化ナドハ入ッテ居ラナイノデスカ、ソレカラ臺灣ノ瓦斯モ最近十萬坪位探レルト云フコトヲ言ッテ居ラレマスガ、此間海軍ニモ伺ヒマシタラ、ソレハモウ製造ニ著手スル準備ヲシツツアルト云フコトデアリマス、ソレモ入ッテ居リマスカ

○道家委員 サウスルト石炭ノ性質ニ付テ北支方面ノモノハ、十分ニ調査ガ出來テ居ラナイ譯デアリマスガ、ソレカラ朝鮮ノ石炭液化、是ハ宇垣總督ハ相當ヤッテ居ラレタヤウデアリマスガ、ソレハ今ノ半分ノ補給ノ中ニ入ッテ居リマスカ

○竹内政府委員 ドチラニ重キヲ重クト云フコトデナク、兩方ヲドウシテモヤッテ行カナケレバナラス、斯様ニ考ヘルノデアリマス、唯從來ノ例モアリマスガ、私が先程御答ヲ申上ゲマシタ中ニ於キマシテモ、或ハ誤解ガアルノデヤナイカト思ヒナガラ、實ハ御答ヲシテ居ルノデアリマス、ソレハ人造石油ノ方ハ何年後ニ幾ラ造ルコトヲ目標ニスルト云フコトヲ申上ゲマスケレドモ、天然石油ニ付テハソレヲ申上ゲナイノデス、ソレハ掘ッテ見テアルカナイカヲ確カメナイト、ソレガ分ラヌト云フノデ、其數字ヲ實ハ申上ゲテ居ラナイノデアリマスガ、私ノ考ヲ率直ニ申上ゲマス、人造石油ノ如ク、何年後ニハ幾ラ探レルカラ、大體ソレデ自給ガ出來ルノダト云フコトヲ、天然石油ニ付テマデ申上ゲルコトハ非常ニ危險デヤナイカ、斯ウ云フ考慮ノ下ニ天然石油ニ付テハ數字ヲ實ハ申上ゲナイノデアリマスケレドモ、此兩方ニ對スル助成ノ氣持ニ於キマシテハ、決シテ差等ヲ設ケテ居ル譯デハゴザイマセス

昨年樹立致シマシテ、人造石油ノ製造ニ力ヲ盡ス、同時ニ又我國ノ天然石油資源デモ試掘ニ力ヲ入レタナラバ今日ヨリモ、モットモット油ヲ得ルコトガ出來ルデアラウト云フヤウナ此兩方ノ政策ヲ併セ用ヒテ行クト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレデモ尙ホマダ外國カラ輸入シナケレバナラス需給推算デアリマスノデ、「アルコール」ノ混用ト云フヤウナ制度ヲモ更ニ之ニ加ヘマシテ、サウシテ人造石油ハ重油、揮發油ト合セマシテ、昭和十七年度マデニ約「二百万」キロ、ソレニ天然石油竝ニ「アルコール」ノ補給等モ合セマスルト、其時ニ於ケル需要ノ凡ソ半分ヲ國內デ自給スル、斯ウ云フヤウナ計畫デ今日進ンデ參ッテ居リマス

○竹内政府委員 北支ノ方ハ只今申上ゲマシタ計畫ノ中ニハ入ッテ居リマセス、臺灣ノ方ハ入ッテ居リマス、臺灣、朝鮮、滿洲ノ分ハ計畫ノ中ニ入ッテ居リマス、北支ノ分ハ別ニ今申上ゲマシタ計畫ノ外デアリマス

○道家委員 大同炭ハ可能デアリマスガ、開平炭ハ見込アリマセスカ

○竹内政府委員 石炭ノ性質ノ問題ニ實ハ是ハナルノデアリマスガ、石炭ノ問題ハ人造石油ニ適スル炭ハ、製鐵用ノ「コークス」炭ニ適セナイモノデモ、人造石油ノ原料トシテ適當ナモノガアルノデ、兩方ノ用途ヲ睨ンデ成ベク合理的ニソツノナイヤウニ、

○道家委員 サウスルト半分ハ大體是デ自給ハ付キマスガ、アトノ半分ハドウ云フヤウナ御計畫デスカ

○道家委員 大同炭ハ可能デアリマスガ、開平炭ハ見込アリマセスカ

○竹内政府委員 石炭ノ性質ノ問題ニ實ハ是ハナルノデアリマスガ、石炭ノ問題ハ人造石油ニ適スル炭ハ、製鐵用ノ「コークス」炭ニ適セナイモノデモ、人造石油ノ原料トシテ適當ナモノガアルノデ、兩方ノ用途ヲ睨ンデ成ベク合理的ニソツノナイヤウニ、

○竹内政府委員 石炭ノ性質ノ問題ニ實ハ是ハナルノデアリマスガ、石炭ノ問題ハ人造石油ニ適スル炭ハ、製鐵用ノ「コークス」炭ニ適セナイモノデモ、人造石油ノ原料トシテ適當ナモノガアルノデ、兩方ノ用途ヲ睨ンデ成ベク合理的ニソツノナイヤウニ、

○道家委員 大同炭ハ可能デアリマスガ、開平炭ハ見込アリマセスカ

○竹内政府委員 石炭ノ性質ノ問題ニ實ハ是ハナルノデアリマスガ、石炭ノ問題ハ人造石油ニ適スル炭ハ、製鐵用ノ「コークス」炭ニ適セナイモノデモ、人造石油ノ原料トシテ適當ナモノガアルノデ、兩方ノ用途ヲ睨ンデ成ベク合理的ニソツノナイヤウニ、

○道家委員 大同炭ハ可能デアリマスガ、開平炭ハ見込アリマセスカ

○竹内政府委員 石炭ノ性質ノ問題ニ實ハ是ハナルノデアリマスガ、石炭ノ問題ハ人造石油ニ適スル炭ハ、製鐵用ノ「コークス」炭ニ適セナイモノデモ、人造石油ノ原料トシテ適當ナモノガアルノデ、兩方ノ用途ヲ睨ンデ成ベク合理的ニソツノナイヤウニ、

○道家委員 御方針能ク分リマシタガ、私

ハ是ハ例ノ人造石油ノ會社創立ノ時ノ一億圓ト云フモノハ無駄ナモノデハナイカ、補助のモノニシナケレバナラス、資源ノ方ヲ考ヘテ北支事變ノ進展等ヲ考ヘマス、天然デ以テ十分ニ行クノデハナイカ、寧ロ其一億圓ヲ石油資源ノ開發ノ方ニ注込シテ行カレタラドウダラウト思フタノデアリマスガ、其機會ヲ得マセヌ、今度ノ法案ナドモ、モウ少シ徹底的ニ思切ツテ援助ヲナサレバ——今ハシヨウガアリマセヌガ、アノ一億圓位ノモノヲブチ込シテオヤリニナレバ、天然資源ノ開發ハ非常ニ進ムノデハナイカト思フ居ル次第デアリマス、又最近言ハレテ居リマス例ノ陝西省ノ黃河ノ「カーブ」シタ所ニ油田ガアルト云フコトデアリマスガ、斯ウ云フモノハ今調査シテ居ラシヤイマスカ

○竹内政府委員 北支ニ於ケル天然石油ノ探査ニ付キマシテハ、今朝陸軍當局カラモ御答申上ゲタノデアリマスガ、マダ陸軍省ヘモ向フデ石油資源ノ新シイモノヲ發見シタト云フ報告ハナイト云フ答辯ヲ、私ハ聽イテ居リマシタガ、吾々ノ承知致シテ居リマス所モサウ云フコトデアリマス、併シハ事變安定ト相俟チマシテ、大ニ探鑛ヲ

シナケレバナラスコトデアリマシテ、折角軍當局ト連絡シツ、アルノデゴザイマス

○道家委員 次ニ御伺シタイノハ、例ノ「ニューギニヤ」ノ問題デスカ、「ニューギニヤ」ノ油田ハ調査ガ十分デアリマセヌガ、非常ニ有望ナモノデアツテ、「スタンダード・オイル」其他ガ合同シテ投資シテ居ル二ツノ會社ガアルト云フコトデアリマスガ、和蘭デハアレニ對シテ非常ニ神經過敏ニナツテ、サウシテ巡洋艦五六隻モ増シ、其他國防ノ準備ヲ盛ニヤリ、最近ハ「デモンストレーション」マデヤツテ居リマス、是ハマア石油バカリデハナイガ、アレニ對シテ何カ積極的ニ御活躍ニナツテ居ラナイノデアリマスカ

○竹内政府委員 海外ノ資源ニ付キマシテ、政府ガ直接ヤリマスコトハ色々ノ點カラ考慮ヲ要スルモノガアルコト思フノデアリマス、御承知ノ如ク海外ニ於ケル資源ノ調査ヲ致スコトラ目的トシテ居リマス會社ガアリマスノデ、其會社ニ對シテサウ大キナ金額デモアリマセヌガ、本年度海外資源ノ調査助成費トシテ要求シテアリマスモノノ中ノ一部分ガ、アノ方面ノ調査ニモ利用サレルコトト思ヒマス

○道家委員 私ハ希望トシテ述べテ置キマ

スガ、アノ「ニューギニヤ」ハ全體トシテ最モ吾々ガ關心ヲ持ツテ居ル、サウシテ重點ハアスコニ置イテ政策ヲ樹テナケレバナラス、先ニ進メバ進ム程困難ニナルト思ヒマス、ソコデ和蘭政府ニモ異論モアリマセウガ、アレヲ開發スルコトニ付テハ何カ交換條件デモ出シテ積極的ニ、今言ハレルヤウナ南洋開發ヲ利用サレテモ良ク、又團體ヲ民間ニ設ケルカシテ、石油政策ヲ進メル意味ニ於テ積極的ニ是非今ノ中ニ早ク御活動サレルコトヲ切望致シマス、私ハ天然石油デ十分ニ計畫ガ樹ツモノト思ヒマス、色々細カク述べマス時間ガ掛リマスカラ申上ゲマセヌガ、此ヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス、ドウカサウ云フコトヲ御願致シタ

イト思ヒマス、ソレカラ此石油資源開發法案ヲ見マス、是ハ中小以下ノ企業者ヲ盛ニシテオヤリニナル御積リナンデセウカ、大會社ヲ中心トシテノ法案デアリマセウカ、言ヒ換ヘレバ大會社ノ方ガ石油開發ニハ適當デアル、可能性ガ多イト云フコトデ、大會社ニ便利ナノデアリマセウカソレトモサウ云フ區別ハシテナイノデアリマスカ

○竹内政府委員 サウ云フ區別ハ全然シテ居リマセヌ、相當良イ鑛區デハナイカ、有

望ナ鑛區デハナイカト云フヤウナ所デモ、資力ガナイ爲ニ開發サレナイト云フヤウナモノヲ考慮致シマシテ、全額補助ヲスルヤウナ場合マデ考ヘテ居ルコトガゴザイマスケレドモ、大會社、小會社ト云フヤウナコトニ付テ施設ヲドウスウ考ヘタト云フコトハゴザイマセヌ

○道家委員 此第三條ニアル開發ヲ開始後五年間毎年採油價額ノ百分ノ二以內ノ金額ヲ納付セシメル、斯ウ云フヤウナ規定ハ、大會社ナラバ苦痛ハナイト思ヒマスガ、小會社ニ取ツテハ相當苦痛ナモノデハナイカ、而モ開始後ト云フノデスカラ、是ハサウ云ツテハ失禮デスカ、ドウモ官廳ハ實際ノ事業ヲ爲サツテ居ラレナイ爲ニ、事情ガ能ク御分リガナイ、例ヘバ文部省ナドデモ私等ノ仕事ガ助成金トカ或ハ基金トカ言ハレルノデスカ、全ク事業其モノト、少シ縁ガ遠ウ過ギルモノデスカラ、机ノ上デ御考ニナルンデスカ、是ハ無理ナ規定デハアリマセヌデセウカ

○竹内政府委員 第三條ノ規定ニ付キマシテモ根本ノ趣旨ハ度々御答申上ゲマシタカラ、只今ノ御尋ノ點ダケニ付テ御答致シマスト、此條文ハ百分ノ二以內ト云フコトニナツテ居リマシテ、百分ノ二ト云フノハ大體

ニ於キマシテ全額補助ヲシタヤウナ場合ニ、百分ノ二ト云フヤウナモノガ稀ニ適用サレルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレカラ御承知ノ如ク講釋メイタコトヲ申上ゲル譯デハアリマセヌケレドモ、一本ノ

ガ本當ノ獎勵ニナルノデハナイデセウカ、其點ヲ御伺致シマス

○竹内政府委員 實ハ此法律ハドン／＼油ヲ採ラセルト云フ所ニ主眼ガ置イテナイノ

油ガ油層ニ當リマシタ場合ニハ此程度ノ負擔ト云フモノハ決シテ業者ノ事業經營ノ上カラ見テ負擔ニナルモノデハナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此運用ニ

ト云フ所ニ主眼ガアル、是ガ此法律ガ前ニ此委員會ニ付託セラレマシタ重要礦物増産法ト狙ヒ所ガ少シ違フ點ナノデアリマス、天然ノ油ヲドン／＼採ラセルノモ結構デア

於キマシテハ政府ガ金ヲ取返シタイト云フ氣持デハナイノデアリマス、油ガ出テソレ位ノモノヲ苦痛ナク負擔シ得ルモノナラ

リマセウガ、實ハ是モ非常ニ専門的ニナリマスケレドモ、油ノ掘リ方ニ依リマシテ、井戸ト井戸トノ間隔ノ如何ニ依リマシテハ、

モ適合シ、同時ニ尙ホ廣ク、又井戸ノ數モ次年度、更ニ其次ノ年度ト云フ風ニ増シテ

折角地下ニ在リマスル油ノ全部ドコロカ半分モ採レナイ、斯ウ云フヤウナ技術上ノ問題ガアリマスノデ、ソレデ或ル一定ノ限度

行ッデ、税金ヲ多クシテ行クト云フ上ニ於キマシテモ、是ハ大變都合ガ好ク、開發促

内ニ於テハ濫掘ヲ防止シテ、天然ノ資源ト云フモノヲ有效ニ利用シタイト云フ趣旨ニ、

進ニモ資スルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナ意味デ設ケテアルノデアリマシテ、其運

是ハ出テ居ルモノデゴザイマス

用ニ付キマシテハ、十分是ハ氣ヲ付ケル積リデ居リマス

○道家委員 本案ニ對スル御尋ハ是デ打切リマスガ、今問題ニナッテ居リマス交通事業

調整法ノ一部ニ「ガソリン」統制ト云フモノガ含マレテ居ルノデアリマスガ、アレニ依ッ

テ「ガソリン」ヲ節約シ得ルト云フ御見込ノ數量デモ大體オアリニナルノデアリマセウ

カ

○竹内政府委員 交通事業調整法ニ依リマシテ、油ノ節約ヲスルト云フソコニ直接ノ

關聯ハ只今考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯昨日既ニ商工省令ヲ公布致シマシテ、油ノ

節約ヲ五月カラ更ニ一段ト強化スルコトトナリマシタガ、是ハ餘リ細カイ數字ハ申上

ゲラレマセヌガ、大體揮發油ガ二割、重油ガ一割五分ト云フ所ヲ見當ニ、是ハ平均デ

スガ、大體此位ノ節約ヲシナケレバナラナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○道家委員 今ノ御説明ニ依ルト、交通調整法デノ節約ハ期待シテ居ラレナイノデ、

例ノ切符制度ニ依ッテ節約ヲセラレヨウトセラレルノデスカ

○竹内政府委員 ナント申シマスガ、常時ノ液體燃料ノ浪費ト申シマセウカ、詰リ無

駄ヲ省イテ行クト云フ目的ヲ達成シマス爲ニハ、交通事業ニ於キマシテモ相當ナ施設

改善ヲセラレルコトヲ吾々非常ニ期待シテ居ル譯デアリマス、此意味ニ於キマシテ、

アノ法案ニ非常ナ關心ヲ燃料問題ノ見地カラモ持ッテ居ル譯デアリマス、併シ五月一日

カヲ行ヒマス所ノ消費節約ハ、昨年ノ夏御協賛ヲ經テ居リマスル臨時措置法ニ基キマシテ、商工省令ニ依ッテ之ヲ實施スルコトニナッテ居リマス

○道家委員 私ノ質問ハ是デ終リマス

○栗山委員 私最後ニ一ツ御伺シタイトデスガ……

○森田委員長 簡單ニ願ヒマス

○栗山委員 私ハ最後ニ一點御伺致シタイ

ノデゴザイマスガ、竹内長官ハ貴族院ニ於テ、北樺太石油會社ニ對シテ輸血ノ必要アリト

云フ御意思ヲ明ニサレテ居リマス、現在ノ北樺太石油會社ノ狀態ヲ見マス、ソノ聯ノ

不當ナル壓迫、暴戾極マル會社事業ノ妨害等ニ依リマシテ、事業ノ計畫ニ思ハザル支障

ヲ來シテ居ルコトハ明白ナル事實デアリマス、會社ガ其豫定セル年次計畫モ遂行スル

コトガ出來ズ、洵ニ見ルニ見兼ねルヤウナ窮狀ニアルコトヲ深く認識セラレテ、左様

ナ御意思ヲ發表セラレタモノト承知致スノデアリマスガ、其輸血ト云フコトハドウ云

フ方法ニ依ッテ、ドウ云フ程度ノコトヲ御考ニナッテ居ラレルノデアルカ、此機會ニ

承ルコトガ出來マスレバ洵ニ仕合セデアリマス

○竹内政府委員 實ハ大臣ノ出席ノ間ニ御尋下サルト大變宜カッタと思ヒマス、一事

務官ガ御答スルコトデアリマスカラ御満足ガ行カナイカト思ヒマスガ、アソコデ輸血ト云フ言葉ヲ使ヒマシタノハ、質問サレタ方ガサウ云フ言葉ヲ使ハレマシタノデ斯ウ云フ意味

デアラウト解シテ輸血ト云フ言葉ヲ私モ使ッ
タノデアリマス、今具體的ニ政府デドウ云フコ
トヲヤル積リデアルト云フコトヲ御答ヲスル
所マデマダ政府ノ議ガ熟シテ居リマセヌ、
併ナガラ要ハ結局資金難ニ陥ルノデハナイ
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスノデ、其方面ニ
輸血ヲスルコトガ一番宜イノデハナイカ、
斯ウ云フ意味デゴザイマシタ

○栗山委員 私ハ其御説明ニ付テ更ニ御伺
シタイノデアリマス、長官ノ仰シヤル通り、
此問題ハ極メテ重要ナ問題デアリマシテ特
ニ適當ナ機會ニ於テ爲スコトガ然ルベキカ
トモ考ヘマスケレドモ、私ハ所謂増産増量
關係ヲ主トシテ先般來御尋シテ居リマスノ
デ、其本旨ニ基イテ御伺シヨウト思フノデ
アリマス、蓋シ大臣モ長官モ度々此處デ言
明セラレテ居リマスル當局ノ増産増量ノ御
方針ハ、今後五箇年ノ間ニ我ガ日本ノ全需
要ノ半額ニ達セシメルト云フ御見込、御豫
定ニ依ッテ各種ノ法案ガ實施サレテ居ル譯
デアリマス、其間ニ於キマシテ、北樺太石
油會社ノ採油致シマスル其年次計畫ノ豫定
數量ノ如キハ最重要ナル部分ヲ占メテ居
ルモノデハナイカト考ヘマスガ、如何デゴ
ザイマスカ

○竹内政府委員 此間中御答シテ居リマス
ガ、自給スルト云フ數字ノ中ニハ、北樺太
カラ參リマスモノハ入レナイデ計算シテアッ
タト記憶シテ居リマスガ、尙ホ調ベマシテ、
違ッテ居リマシタラ訂正致シマス

○栗山委員 此北樺太石油會社ガ採油致シ
マスモノガ悉ク我ガ海軍ニ於テ收用サレテ
居ル、何レニ致シマシテモ油ノ需用ハ其
大部分ガ外國カラ買ハナケレバナラヌヤウ
ナ狀況ニアッテ、而モ不確定ナル我ガ天然資
源ノ採油ノ中カラ最モ確實性ヲ多ク期待シ
得ル北樺太ノ油田ノ採油量ハ洵ニ我ガ國ニ
取ッテ極メテ重要ナル分量ヲ占メテ居ルト
見ナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ國
防上カラ考ヘマシテモ、産業方面ニ要スル
需要關係ノ上カラ考ヘマシテモ、北樺太ノ
油田ト云フモノハ我ガ日本ニ取ッテハ國策
上極メテ重要ナモノデアルコトハ敢テ言フ
俟タナイノデアリマス、私思フニ此問題ノ
解決ハ、一ツハ根本的ニ考ヘルコト、他ノ
一ツハ應急的ニ考ヘルコト、此二様ニ分ケ
テ取扱ハナケレバナラヌモノト思フモノデア
リマス、其第一ノ觀點ハ申ス迄モナク北樺
太ノ油田其モノハ我ガ日本ノ條約上ニ得タ
ル所ノ權利デアリ、其條約ニ依ッテ得タル權
利ト云フモノハ、一面ニ於テハ我ガ日本ノ
名譽ト權威ニ關スル問題デアル、現在ノヤ

ウナ國際條約ヲ無視シ、人道ヲ無視シテ、
全ク殘虐極マル振舞ヲシテ會社ノ企業ヲ妨
害シ、寧ロ會社ノ營業ヲ閉鎖セシメントス
ル陰謀ヲ藏シ不法ノ壓迫ヲ重ネテ居ル狀況
ハ聞ケバ聞ク程憤慨ニ堪ヘナイノミナラズ
又其従業員ノ身上ニ關シマシテハ、涙ナク
シテ聞キ得ナイヤウナ迫害ヲ加ヘテ居ルノ
デアリマス、會社ヲシテ徒ラニ斯様ナ不安
ナ狀態ニ曝シテ置クナラバ寧ロ進ンデ、増
量増産計畫ノ上カラ言ヒマシテモ、本質上
カラ考ヘマシテ、國家ガ思切ッテ事業一切
ヲ引取ッテヤルベキモノダト思フ、敢然國家
經營ニスルガ宜シイト信ズル、併シ直チニ
國家經營ニ移スコトガ困難ナリトセバ、其
應急施設トシテ營利會社ガ國策ニ奉公スル
本質ニ鑑ミ其特異性ヲ御認めニナッテ、之ニ
一種ノ既定計畫ヲ推進セシムルニ足ル助成
ヲ加ヘテ會社ガ營利會社トシテ會社ノ權益
ガ保タレルヤウニ保障シテヤルダケノ充分
ナ援助救済ヲナサルコトガ、當局トシテ當
然ナコトデハナイカ、其意味ニ於テ所謂輸
血ト云フ御言葉ヲ用ヒラレタコトト思フノ
デアリマス、北樺太ノ狀態ガ輸血ヲシナケレ
バナラナイ瀕死ノ重病人デアリヤ否ヤト云
フコト迄ニハ、色々見方モアリマセウケレ
ドモ、兎ニ角輸血ヲシナケレバナラヌヤウ

ナ窮況ニアルコトハ、抑々ソノ聯ノ不法ナル壓
迫、暴戾ナル迫害ニ依ッテ甚大ナル被害ヲ蒙ッ
テ居ルコトヲ物語ッテ居ルノデアリマス、
而シテ事實上ニ我ガ日本ノ重要ナル國防、
産業上ニ支障ヲ來シツ、アルノデアル、特
ニ此點モ當局ニ於テ御考ニナッテ戴カナケ
レバナラヌノデアリマス、元來本法ノ如キモ
要スルニ五年後ニ於テハ國內ノ全需要ノ數
量ヲドノ程度ニ滿サウト云フ豫想ヲ定メ其
御見込ノ下ニ提出サレタモノデナケレバナ
ラヌノデアル、而モ其間ニアッテ北樺太ノ油
田ハ最モ採油ノ推定ニ確實性ヲ持ッテ油井ナ
ノデアリマスカラ、サウ云フ點カラ考ヘマ
シタナラバ、此際非常ナ御決心デ是ガ善處
ニ斷乎タル處置ヲ取ラル、必要ガアラウト
思フ、私ハ不敏ニシテ燃料委員ノ一人ニ推
薦サレテ居リマスガ、燃料委員會ノ如キモ
ノモ、年ニ一遍カ二遍開クカ開カヌカト云
フヤウナ狀態ニアルコトハ、其使命ヲ遂行
スル上ニ果シテ如何ナモノカト考ヘテ居
ル、燃料委員中ニハ各、其身分、職業、經
驗、學識等ニ於テ多方面ノ人材ヲ集メテ居
ルガ夫等ノ人ラバ、植民地デモ内地デモ或
ハ外地ニ或ハ占據地ニ各方面ニ實地視察ヲ
爲サシメテ、サウシテ其委員タル職分ヲ充
分發揮セシムルヤウニ誘導セラル、コトモ

國策ニ貢獻スル一ノ方法デアルト考ヘル、委員ノミデハナク、議員中ニ篤志ノ人ガアラバソレ等ノ人々モ其蒐集セル材料ヲ持チ寄ッテ、政府ノ御力添ヘニナルヤウニ仕向ケテ、國策樹立遂行ニ資セラルルコトガ然ルベキコトダト私ハ思フ、ソコデ本委員會ノ如キモ大臣ノ御顔が見エルコトハ極メテ稀デアツタケレドモ、而モ委員ハ熱烈ナル抱負ト希望トヲ以テ本會ニ臨ンデ居ルコトハ、他ノ委員會ト又趣キヲ異ニシテ居ル、他ノ委員會デモ議論ハ随分ヤカマシイケレドモ、或ル意味ニ於テハ消極的ナ議論ガ少ナクナイ、此委員會ハ眞劍ニ非常時國家ノ國策ヲ樹立シヨウ、國ノ産業、國防上ニ對スル重大問題ヲ徹底的ニ解決シヨウト云フ積極的經綸ヲ以テ一貫シテ居ルノデアアル即チ此液體ヲバ自足自給ニ持ッテ行カウト云フ大キナ問題ヲ論議シテ居ル、委員諸君ノ熱烈ナル考モ蓋シ増量増産ト云フコトニアルノデアリマスルカラ、其點カラ考ヘマシテ北樺太油田ノ如キハ、先ヅ本法案ヲ御提出ニナツタ意義ヲ特ニ有意義ナラシメル上カラ言ッテモ、北樺太ノ油井ニ依ル所ノ採油ニ關スル問題ハ、此際十分ニ御研究ニ相成リ斷乎一定ノ方針ヲ確立シ以テ時艱打開ニ臨マルコトヲ熱望スルモノデアリマ

ス、是ハ殊更大臣ニ御話申上ゲナクテモ、政務官ト長官トデ結構デアリマス、議論ガ良クテソレ自體ガ意義アルコトデアルナラバ、國策トシテ國民全體ガ支援スルノデアリマスカラ、大臣ガ居ラウト居ルマイト、私ノ言フコトヲ御聽キ下サルノハ、政務次官、長官ダケデ結構デス、唯斯ウ云フ重大問題ヲアナタ方ガ御取扱ニナツテ、主務大臣ニ判ヲ押サセ、外務大臣モ陸軍大臣モ海軍大臣モアナタ方ノ企畫ニ贊同ヲ表シ、總理大臣ニモ承認ヲサセデアナタ方ガ此仕事ヲ進メテ戴ケバ宜イノデアアル、私ハ此點ニ於テ北樺太ノ問題ノ如キハ、明日ノ問題トシテ遷延スベキモノニアラズシテ、今日現下ノ問題トシテ十分御研究ノ上ニ、緊急對策ヲ講ズベキデアル、一定ノ方針ヲ確立シ斷乎トシテ、提唱サルルニ於テハ商工省ニ於ケルアナタ方ノ領分ノ仕事ノ立前カラ云ツテ、陸軍大臣モ海軍大臣モ外務大臣モ總理大臣モ、アナタ方ノ言フコトヲ聽カナケレバナラスコトニナルベキモノデアリマス、私ハ左様確信スルモノデアリマス、其ヤウナ權威アル鐵案ヲ立テラレンコトヲ私ハ切ニ望ム次第デアリマス

○竹内政府委員 先程北樺太石油會社ノ石油ガ、計畫ノ内容ガドウデアアルカト云フ御

尋ニ對シマシテ、私ノ申上ゲマシタ言葉ガ少シ適切デナイト思ヒマスカラ、斯ウ云フヤウニ訂正シタイト思ヒマス、自給スル數量ノ中ニハ、アレハ入ッテ居ラナイ、斯ウ云フ風ニ訂正シテ置キタイト思ヒマス、併シサウ云フコトハ何レニシマシテモ、アノ油田ト云フモノハ是ハ自給計畫ノ如何ニ拘ラズ、必ズ非常ニ大切ナ重要ナモノデアリマシテ、隨テ私ガ大臣ノ出席中ニト申上ゲマシタノハ、非常ニ重要ナ問題ニ付テノ御發言デアリマスルカラ、大臣ニモ來テ居テ欲シカッタ、斯ウ云フ意味デアリマシテ、商工省ニ於キマシテハ、商工省ダケデ出來ル問題デモアリマセヌノデ、折角關係省ト連絡ヲシテヤッテ居リマス、斯ウ云フ意味デゴザイマス

○栗山委員 私ハモウ政府委員ノ御誠意ノアル所ハ能ク分ッテ居リマス、ドウカ其御誠意ト熱心トヲ以テ、此際斷乎トシテ立案ヲナサレテ、閣議ニ於テ閣僚ガ何レモ其竹内長官ヤ事務當局ノ成案ニ頭ヲ下ゲルヤウナ名案ヲ得ラレンコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス

○森田委員長 此際申上ゲマス、質疑ノ通告ヲセラレテ居ル方ハ、是デ大體終リマシタ、質疑ヲ通告シテ置イテ其順ガ參リマシ

タ時ニ席ニ居ラレマセヌ方々ハ、既ニ御棄權ニナツタモノデアルト思ハレマスカラ、大體ノ質問ハ是デ終了シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○森田委員長 デハ左様ニ決定致シマス、但シ討論前ニ簡單ナル質問ナラ御許致シマス、明日ハ午前十時カラ此處デ委員全員ノ懇談會ヲ開キタイト存ジマス、尙ホ其際ニハ政府ニモ御苦勞ヲ願フカモ分リマセヌカラ、其御積リニ願ヒタイト思ヒマス、委員會ハ午後ノ二時カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時三十分散會